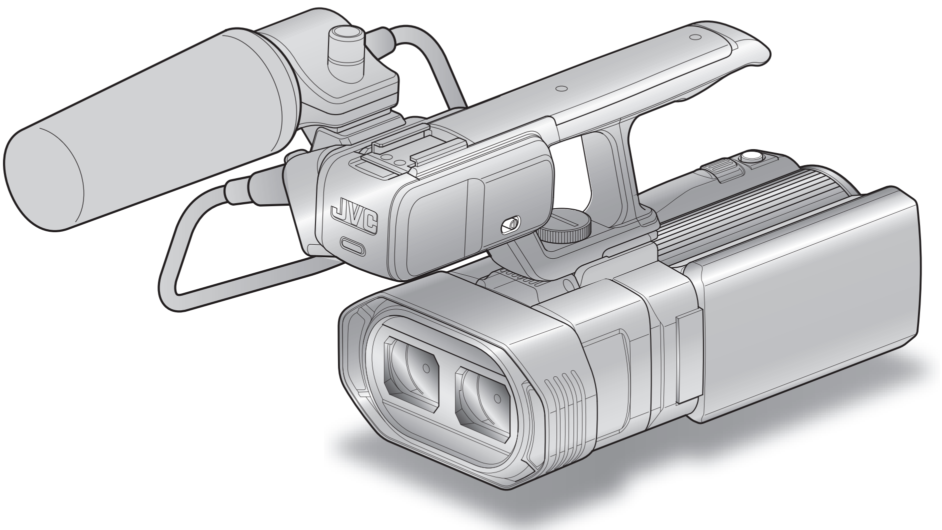
JVC

3D メモリーカードカメラレコーダー

ユーザーガイド

GY-HMZ1



※イラストはGY-HMZ1に付属のオーディオユニットを取り付けた例です。(マイクは別売)

LYT2384-001A

もくじ

準備する

撮影する

再生する

編集する

保存する

設定メニュー

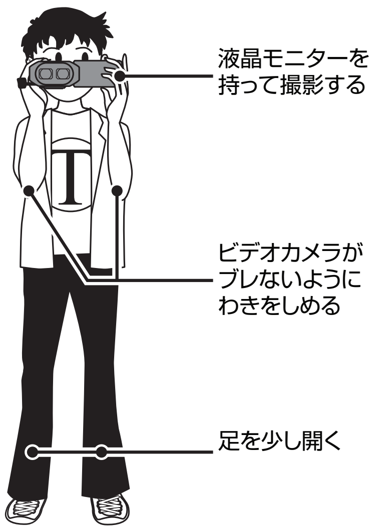
3D映像の撮影や視聴のご注意

本機は3D映像の撮影･視聴ができます。本機で撮影した3D映像を3D対応テレビで視聴すると、臨場感ある迫力の3D映像をお楽しみいただけます。
3D映像を安全･快適にご覧いただくため、以下の注意事項を確認のうえ、正しくお使いください。

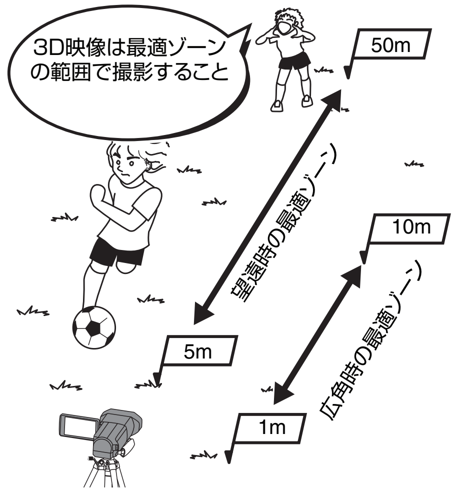
3D映像の撮影について

本機で撮影した3D映像は、左右の目に入ってくる映像のずれを利用して立体感を感じるようになっています。
左右の目に入る映像に違いがあるため、人によっては疲労を感じることがあります。また、見る映像によっては自分が動いているような錯覚を起こし、映像酔いを起こしやすくなります。
3D映像の撮影時には以下の点にご注意ください。

■ 3D撮影時の基本的な構えかた ～安定した映像を撮影するために～



■ 3D撮影時の撮影距離について ～快適な3D映像のために～



メモ :
- 撮影時には、足場が安定していることを確認してください。
- 撮影中は、カメラ本体を横や縦に揺らさないようにしてください。
- 推奨距離範囲外の被写体を撮影した場合、立体に見えにくいことがあります。
- 遠景や夜景などを撮影する場合、立体に見えにくい被写体があります。
- 画面の端にある被写体は、立体に見えにくいことがあります。
- ズームを使うときは、ゆっくりと操作してください。
- アップしすぎると、立体に見えにくいことがあります。
- 三脚の使用をおすすめします。

3D液晶モニターについて

液晶モニターは撮影･再生ともに3D映像に対応しています。タッチパネルの「3D/2D」ボタンで液晶モニターの表示を3D映像と2D映像に切り換えられます。
- 3Dモードで撮影時、液晶モニターの表示を2Dに切り換えても、記録される映像は3Dです。
- 正面から30cm程度離れて見ると、立体に見えやすくなります。
- 正面以外から見ると、立体に見えないことがあります。
- 3D映像に見せる方式上、3D映像のときは液晶モニターが暗くなります。屋外などで見づらいときは、2D映像に切り換えてください。

ご注意：

- **光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人、睡眠不足の人、疲れた状態の人、酒気を帯びた人は 3D 映像を撮影・視聴しない**

病状悪化の原因になることがあります。

- **最短撮像距離より近い被写体を撮影しない**

3D 効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。
ビデオカメラの最短撮像距離は約 80 cm（広角時）です。

- **撮影の際、ビデオカメラの揺れに注意する**

車や電車に乗車中および歩行中などの大きな揺れは、疲労感や不快感の原因になることがあります。
ビデオカメラを動かして撮影するときは、ゆっくりと一定の速さで動かしてください。
できるだけビデオカメラを水平にして撮影してください。

- **近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は、視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する**
  ３Ｄ映像の撮影中や視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら使用を中止する

3D 映像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで 3D 映像をご覧ください。

- **３Ｄ映像の撮影中や視聴中に、疲労感・不快感など異常を感じた場合には、撮影・視聴を中止する**

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
適度な休憩をおとりください。
車や電車に乗車中および歩行中など、画面のゆれが想定される環境での 3D 映像の撮影・視聴は、疲労感や不快感などの原因となることがあります。

- **液晶モニターを 3D 表示にして、撮影中や視聴中に疲労感・不快感など異常を感じた場合には、表示を 2D 映像にする**

そのまま撮影・視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- **3D 映像を撮影・視聴したあとは、十分な休憩をとる**

撮影・視聴後に車などを運転するときは、疲労感や不快感がないことを確認してください。

- **3D 映像を撮影・視聴する場合は、30～60 分を目安に適度な休憩をとる**

長時間の撮影・視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

- **3D 映像を 3D 対応テレビで視聴する場合は、画面の有効高さの 3 倍以上離れて見る**

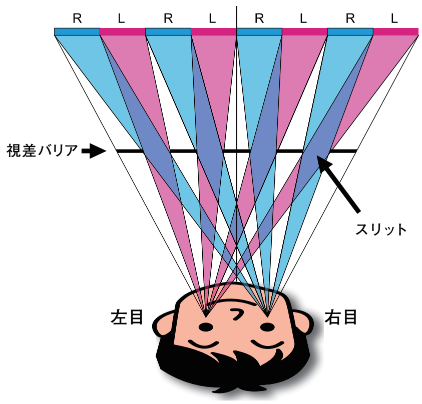
推奨距離より近い場合、視覚疲労の原因になることがあります。

テレビのサイズ	推奨距離
54 型	約 2.0 m 程度
50 型	約 1.9 m 程度
46 型	約 1.7 m 程度
42 型	約 1.6 m 程度

- **3D 映像の撮影・視聴年齢については、およそ 5～6 歳以上を目安にする**

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。保護者の方が十分にご注意ください。

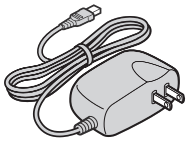
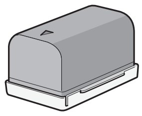
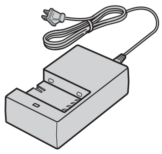
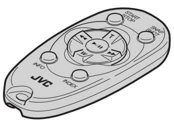
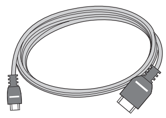
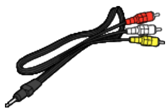
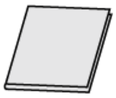
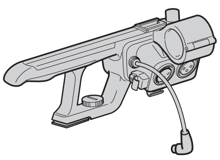
３Ｄで飛び出して見える仕組み



本機の液晶モニターでの 3D 映像は、視差バリア方式（パララックスバリア方式）で表示しています。視差バリア方式は右目用と左目用の視差付画像を短冊状に切って交互に並べ、その画像の手前に視差バリアを置き、映像をある距離から見ると左右の目に別々の画像が分離して表示されることによって立体に見えます。このため見る角度によっては、立体に見えなくなります。

付属品を確かめる

万が一、不足品や不良品がございましたら、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

イラスト	説明
	AC アダプター AP-V20 (1.9 m) • 本機と接続して、バッテリーの充電をするときに使用します。室内で撮影、再生するときにもご使用できます。
	バッテリーパック BN-VF823 • 本機に取り付けて電源を供給します。
	バッテリーチャージャー AA-VF8 (1.9 m) • 本機を使わずに、バッテリーを充電できます。
	ワイヤレスリモコン RM-V760U • 本機を離れた場所から操作するときに使用します。
	HDMI ミニケーブル (1.5 m) • 撮影した映像をテレビで高画質で再生するとき、本機とテレビを接続するために使用します。
	AV ケーブル (1 m) • 撮影した映像をテレビで再生するとき、本機とテレビを接続するために使用します。
	USB ケーブル (A タイプ-ミニ B タイプ) (1 m) • 本機とパソコンを接続するときに使用します。
	CD-ROM • 付属ソフトをパソコンにインストールするときに使用します。
	基本取扱説明書 • よくお読みになり、必要なときに読めるよう大事に保管してください。
	オーディオユニット • 外部マイクを取り付けるときに使用します。

メモ :

SD カードは別売です。

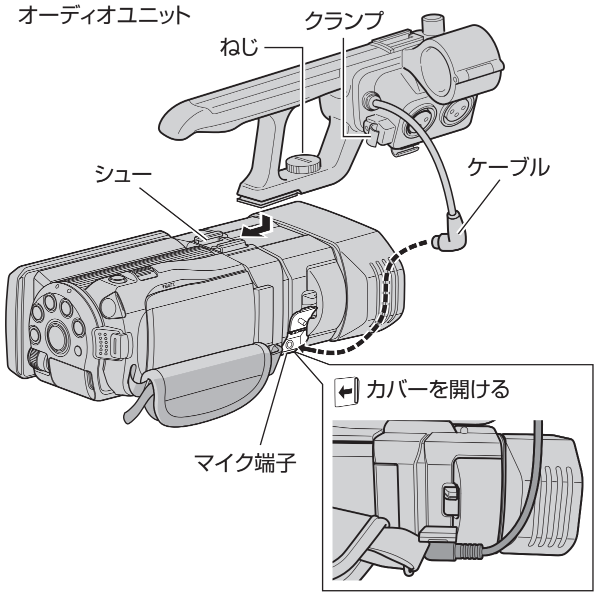
"本機で使える SD カードの種類" (☞ p. 11)

海外で AC アダプター／バッテリーチャージャーを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

"海外で充電するとき" (☞ p. 19)

オーディオユニットを取り付ける

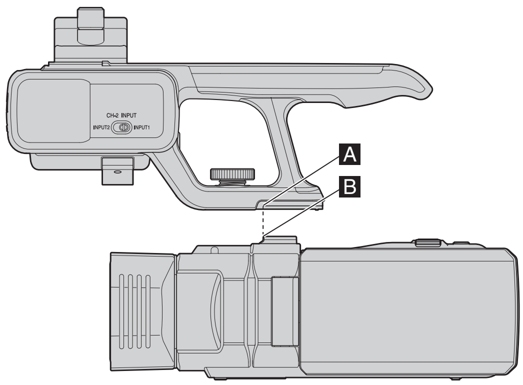
出荷時、オーディオユニット(ハンドル付き)は、本体から分離されています。
オーディオユニットを下記の手順で本体に取り付けてください。



1 本体上部のシューにオーディオユニットを突き当たるまでスライドして取り付ける

- スライドさせ過ぎると、ねじが締まらなくなりますので、ご注意ください。

2 A と B が合っている位置で、オーディオユニットに付いているねじを時計方向に回して最後まで確実に締め込んで本体に固定する



- オーディオユニットを完全に固定するには、コインなどを使ってねじを確実に締め込んでください。
- 締め付けがゆるいと、オーディオユニットがグラついたり、使用中に本体からはずれる恐れがあります。

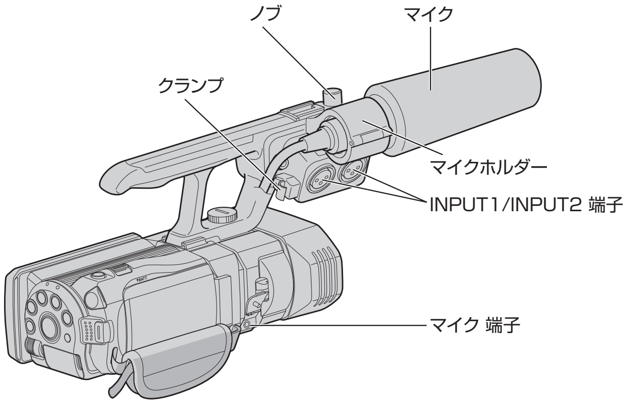
3 オーディオユニットのケーブルを本体のマイク端子に接続する

メモ :

- オーディオユニットのケーブルはクランプでの固定はできません。クランプはマイクのケーブルを固定するためのものです。

外部マイクを取り付ける

マイクホルダーにマイク(別売)を取り付けます。



1 マイクホルダーのノブを反時計方向に回してゆるめ、マイクホルダーを開く

2 マイクをマイクホルダーにセットする

3 マイクホルダーのノブを時計方向に回してマイクを固定する

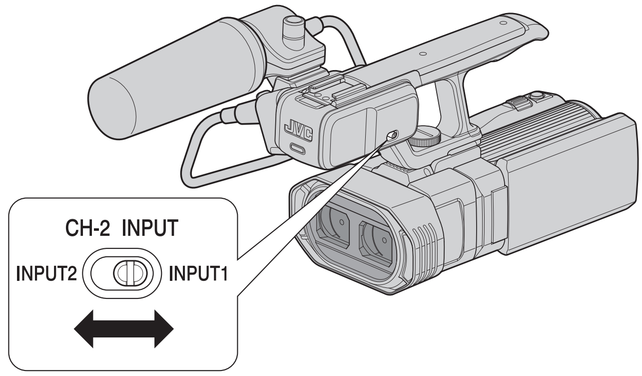
4 マイクケーブル端子の形式に応じて、マイクを INPUT1、INPUT2 入力端子またはマイク端子に接続する

- INPUT1/INPUT2 端子:XLR 端子
- マイク端子:ミニジャック端子(ステレオ)

5 マイクケーブルをクランプに取り付ける

6 CH-2 INPUT スイッチを設定する

- INPUT1 : INPUT1 端子の音声を CH-2 に入力します。
- INPUT2 : INPUT2 端子の音声を CH-2 に入力します。



メモ :

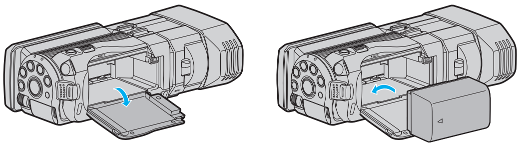
- INPUT1 端子の音声は、設定に関係なく "CH-1"にも入力します。
- ファントムマイクは対応していません。プラグインパワー対応のマイクをお使いください。

バッテリーを充電する

お買い上げ直後やバッテリーの残量が少なくなってきたら、バッテリーを充電しましょう。
ご購入時のバッテリーは、充電されていません。

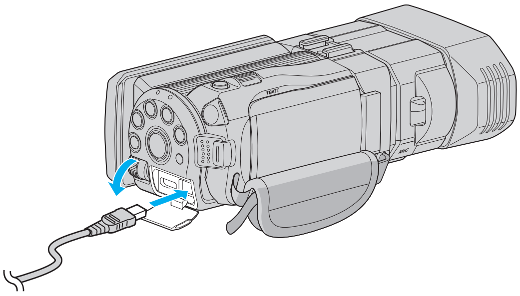
本体で充電する

1 バッテリーを取り付ける

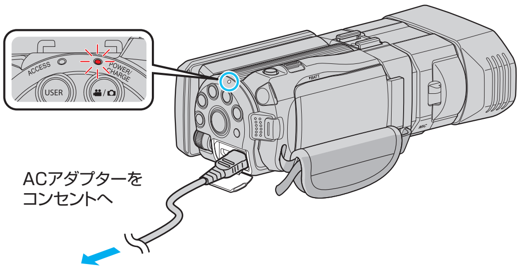


- 本体の印とバッテリー上部を合わせて、「カチッ」と音がするまでスライドします。

2 DC 端子に AC アダプターをつなぐ



3 コンセントにつなぐ

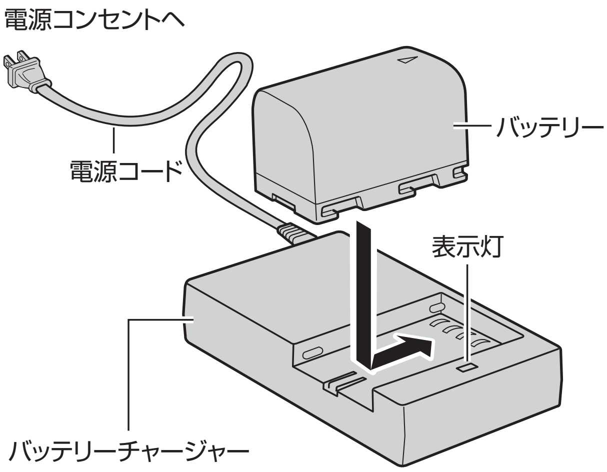


- 充電中は充電ランプが点滅します。
  充電が終わると消灯します。

メモ：

- 液晶モニターを閉じた状態で AC アダプターまたはバッテリーをつなぐと、一時的に電源が入ることがありますが、故障ではありません。この場合、約５秒後に電源は切れます。

付属のバッテリーチャージャーで充電する



1 バッテリーチャージャーの電源コードを電源コンセントにつなぐ

2 付属のバッテリーを押しながら矢印方向にずらし、バッテリーチャージャーに取り付ける

- 充電が始まり、表示灯が点滅します。
- 充電が終わると、表示灯が点灯します。

3 充電が完了したら、バッテリー取り付け時とは反対方向にバッテリーをずらし、はずす

バッテリーの充電時間の目安

■ AC アダプター使用時

バッテリー	充電時間
BN-VF815	2 時間 40 分
BN-VF823 （付属品）	3 時間 40 分

■ バッテリーチャージャー使用時

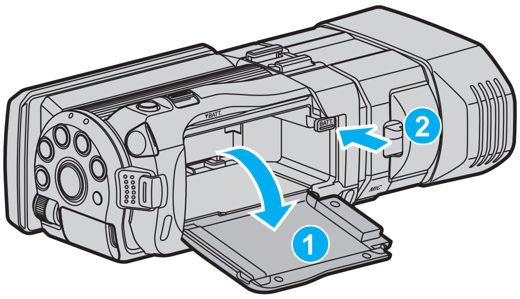
バッテリー	充電時間
BN-VF815	1 時間 50 分
BN-VF823 （付属品）	2 時間 30 分

- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。
  （新しいものに交換してください）

※ 25℃で使用したときの時間です。室温 10℃～ 35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。低温など、使用状態によって撮影･再生可能時間は短くなります。

"撮影時間の目安（バッテリー使用時）" (☞ p. 56)

バッテリーの取りはずしかた



バッテリー取りはずしレバーを押して、バッテリーを取りはずしてください。

ご注意 :

必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

- ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。

付属の AC アダプター／バッテリーチャージャーを使用してください。

- 付属品以外の AC アダプター／バッテリーチャージャーを使用すると、故障の原因となります。

バッテリー(充電式電池)について :

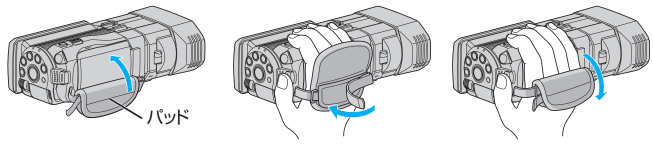
- 低温(10℃以下)での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。
  (カイロなどには直接ふれさせないでください)
- 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
- 取りはずしたバッテリーは、約 15～25℃の乾燥したところで保管してください。
- 長期間使わないときは、30%程度充電された状態(▮)で保存してください。また、半年に 1 度程度は、満充電→使い切るの操作をし、30%程度充電された状態(▮)で保存してください。

メモ :

- 室内で長時間撮影するときには、AC アダプターをつないで撮影することもできます。
  (画面を閉じるとバッテリーを充電します)

グリップベルトを調節する

1 2 3



1 パッドをめくる
2 長さを調節する
3 パッドをしめる

ご注意 :

- グリップベルトはしっかりとしめてください。
  ゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。

タッチパネルの使いかた

選択しているモードで使用できる操作ボタン、サムネイル、メニューがタッチパネルに表示されます。

- パネル上に表示される操作ボタン、サムネイル、メニューを軽くタッチして選択します。
- タッチパネルには「タッチ」と「なぞる」の２つの操作があります。以下は操作例です。

- A タッチパネル上のボタン(アイコン)やファイル(映像)をタッチして、選択します。
- B タッチパネル上のファイル(映像)をなぞって、見たい映像を探します。



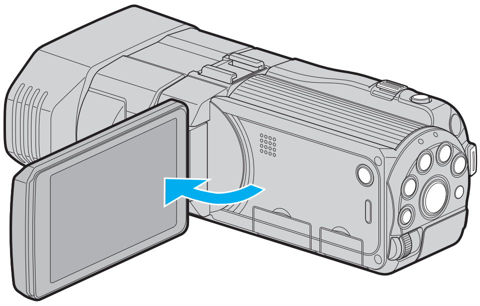
- 本機のタッチパネルは圧力を検出するタイプです。スムーズに動かないときは、少し強めに指を押し当てながら操作してください。
- 必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 先の鋭い物やかたい物で操作しないでください。
- 2 箇所以上同時に押すと、誤動作の原因になります。
- タッチパネル上のボタン(アイコン)は正確にタッチしてください。タッチする場所によっては正しく反応しないことがあります。
- 画面をタッチしたとき、タッチパネルの反応する位置がずれている場合は、"タッチパネル調整"を行ってください。(SD カードの角などで軽くタッチして調整してください。先の鋭い物で押したり、強く押したりしなでください。)

" タッチパネル調整 " (☞ p. 114)

SD カードを入れる

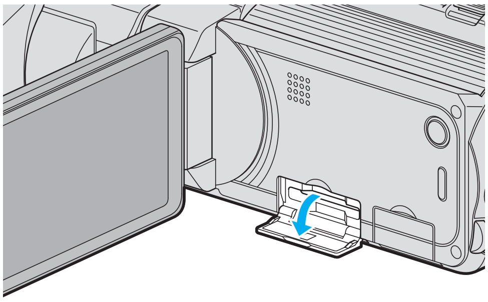
市販の SD カードを入れておくと、内蔵メモリーと SD カードで記録先を使い分けて、撮影できます。
"本機で使える SD カードの種類" (☞ p. 11)
"動画の撮影可能時間の目安" (☞ p. 55)

1 液晶モニターを開く

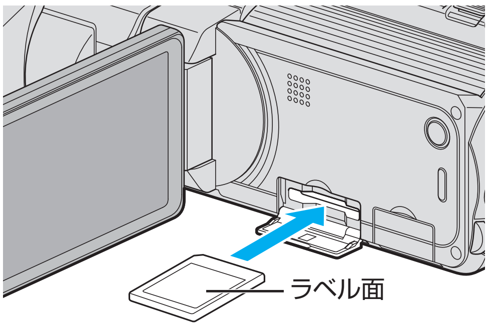


2 ⏻ ボタンを 2 秒以上押して、電源を切る

3 カバーを開ける



4 SD カードを入れる



- ラベル面が上側になるように入れてください。

警告
• カードの入れる向きを間違えないようにしてください。本機やカードが破損する原因になります。 • カードの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。 • カード挿入時、端子の金属部分に触れないように注意してください。

メモ :

- カードに記録するには、メディアの設定が必要です。カードがない場合は、メディア設定を "内蔵メモリー"にして撮影してください。

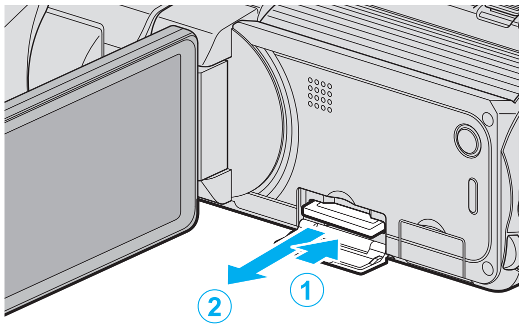
" 動画記録メディア " (☞ p. 111)
" 静止画記録メディア " (☞ p. 111)

- ほかの機器で使っていたカードをはじめて使うときは、メディア設定の "ＳＤフォーマット"でカードをフォーマット(初期化)する必要があります。

" ＳＤフォーマット " (☞ p. 120)

カードの取り出しかた

SD カードを一度押し込んでから、まっすぐに引き抜いてください。



本機で使える SD カードの種類

以下の SD カードがご利用可能です。
下記の推奨メーカー製の SD カードで動作確認しています。

- パナソニック(Panasonic)
- 東芝(TOSHIBA)
- サンディスク(Sandisk)
- ATP※

※SD/SDHC カードのみ確認済みです。

SD カード



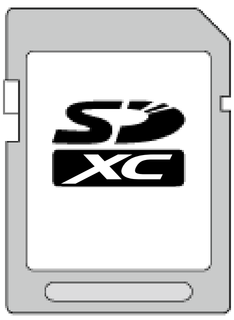
- 256 MB～2 GB に対応しています。
- 動画撮影するときは、Class4 以上対応の SD カード(2 GB)をお使いください。

SDHC カード



- 動画撮影するときは、Class4 以上対応の SDHC カード(4～32 GB)をお使いください。

SDXC カード



- 動画撮影するときは、Class 4 以上の SDXC カード(最大 64 GB)を使用してください。

メモ :

- 上記以外のメーカーの SD カード(SDHC/SDXC カードを含む)では、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- "動画画質"を "ＴＨＲ"にして撮影するときは、Class10 の使用をおすすめします。(Class 6 以上の SDHC/SDXC カードが必要です。)
- "動画画質"を "ＵＸＰ"にして撮影するときは、Class 6 対応の SDHC/SDXC カードの使用をおすすめします。
- Class4、Class6 とは、それぞれ読み書き時のデータ転送速度が最低で 4 MB/s、6 MB/s であることを保証するものです。
- Class 10 対応の SDHC/SDXC カードも使用できます。
- SD カードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- １枚の SD カードで動画と静止画を記録できます。

パソコンが SDXC カードを認識しないとき

パソコンの OS(基本ソフト)をアップデートしてください。

Windows XP / Windows XP SP1	SP2 以上にアップデートが必要です。
Windows XP SP2 / Windows XP SP3	更新されたバージョンのダウンロードが必要です。(KB955704) http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=1CBE3906-DDD1-4CA2-B727-C2DFF5E30F61&displaylang=ja
Windows Vista	SP1 以上にアップデートが必要です。
Windows Vista SP1 / Windows Vista SP2	更新されたバージョンのダウンロードが必要です。(KB975823) ● 32bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=2d1abe01-0942-4f8a-abb2-2ad529de00a1 ● 64bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=7d54c53f-017c-4ea5-ae08-34c3452ba315
Windows 7	更新されたバージョンのダウンロードが必要です。(KB976422) ● 32bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=3ee91fc2-a9bc-4ee1-aca3-2a9aff5915ea ● 64bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=73f766dd-7127-4445-b860-47084587155f

液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき

動画モードと静止画モードで、以下の画面が表示され、タッチパネルとして使用できます。

撮影画面(動画/静止画)



1 視差調整ボタン

- 液晶モニターが 3D 表示または LR MIX 表示の時に、見え方を調節します。

"撮影時の視差調整をする" (☞ p. 32)

2 ズームボタン

"ズームを使う" (☞ p. 28)

3 撮影/再生切換ボタン

- 撮影/再生モードに切り換えます。

4 撮影開始/停止ボタン

- REC:動画撮影開始ボタン
- ●II:動画撮影停止ボタン
- ◌:静止画撮影ボタン

5 液晶モニター表示の 3D/2D 切換ボタン

- 液晶モニター表示を 3D 映像と 2D 映像に切り換えます。
- ボタンを押すたびに表示が切り換わります。
  3D → LR MIX → 3D(L) → 3D(R) → 3D
- 液晶モニター表示を 2D 映像に切り換えても、3D で撮影されます。

6 メニューボタン

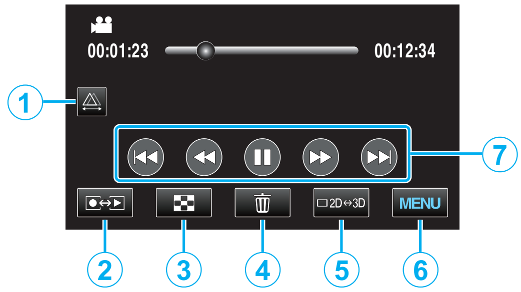
"メニュー操作のしかた" (☞ p. 83)

7 画面表示切換ボタン

一部の表示は約3秒間で消えます。**D** ボタンを使って、以下のように表示を切り換えられます。

- **D** ボタンをタッチする
  タッチするたびに、約3秒間表示されます。
- **D** ボタンをタッチし続ける
  表示が消えないように設定できます。設定すると、画面表示切換ボタンが **D** から **D** に変わります。
  D ボタンをタッチすると、表示設定が解除されて元に戻ります。

再生画面(動画)



1 視差調整ボタン

- 液晶モニターが 3D 表示または LR MIX 表示の時に、見え方を調節します。

"再生時の視差調整をする" (☞ p. 62)

2 撮影/再生切換ボタン

- 撮影/再生モードに切り換えます。

3 インデックス画面(一覧表示)ボタン

"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 58)

4 削除ボタン

"表示(再生)しているファイルを削除する" (☞ p. 70)

5 液晶モニター表示の 3D/2D 切換ボタン

- 液晶モニター表示を 3D 映像と 2D 映像に切り換えます。

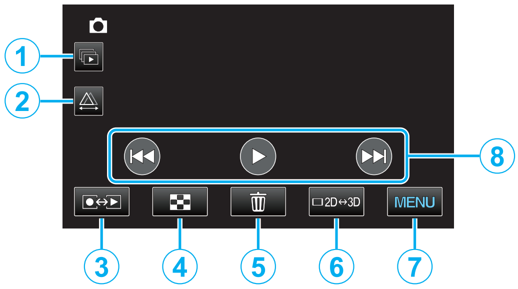
6 メニューボタン

"メニュー操作のしかた" (☞ p. 83)

7 操作ボタン

"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 58)

再生画面(静止画)



1 グループ再生ボタン
- グループ化されたファイル(連写した静止画など)を連続再生します。

"静止画を再生する" (☞ p. 61)

2 視差調整ボタン
- 液晶モニターが 3D 表示または LR MIX 表示の時に、見え方を調節します。

"再生時の視差調整をする" (☞ p. 62)

3 撮影/再生切換ボタン
- 撮影/再生モードに切り換えます。

4 インデックス画面(一覧表示)ボタン

"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 61)

5 削除ボタン

"表示(再生)しているファイルを削除する" (☞ p. 70)

6 液晶モニター表示の 3D/2D 切換ボタン
- 液晶モニター表示を 3D 映像と 2D 映像に切り換えます。

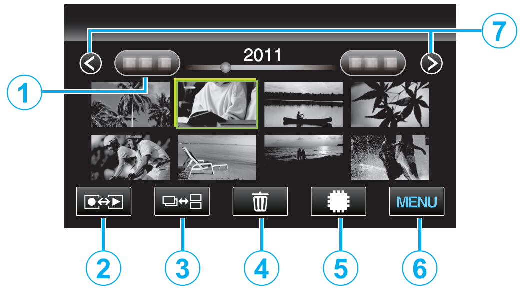
7 メニューボタン

"メニュー操作のしかた" (☞ p. 83)

8 操作ボタン

"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 61)

インデックス画面(一覧表示)



1 日付ボタン

"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 58)
"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 61)

2 撮影/再生切換ボタン
- 撮影/再生モードに切り換えます。

3 一覧表示切換ボタン(静止画のみ)
- サムネイル表示をグループ表示と一覧表示に切り換えます。

4 削除ボタン

"選んで削除する" (☞ p. 71)

5 再生メディアボタン
- SD カードと内蔵メモリーを切り換えます。

6 メニューボタン

"メニュー操作のしかた" (☞ p. 83)

7 ページ送り/戻しボタン

"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 58)
"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 61)

メニュー画面



1 ヘルプボタン

2 メニュー項目

3 戻るボタン

4 共通メニューボタン

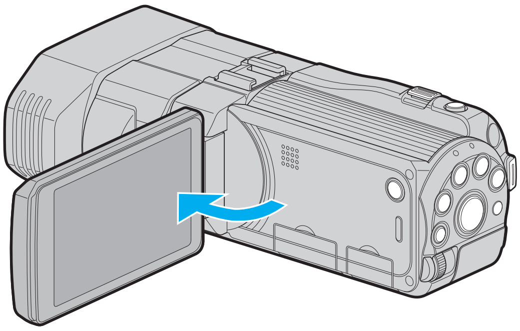
5 終了ボタン

"メニュー操作のしかた" (☞ p. 83)

時計を合わせる

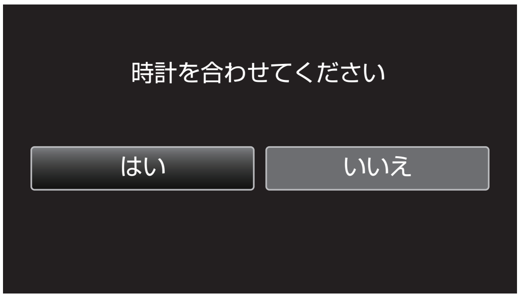
ご購入後初めて電源を入れた時や、長期間使用しなかった時、または時計を合わせていないときに電源を入れると "時計を合わせてください"と表示されます。
撮影前に時計を合わせておきましょう。

1 液晶モニターを開く



- 本体の電源が入ります。
- 液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

2 "時計を合わせてください"が表示されたら、"はい"をタッチする



3 日時を設定する

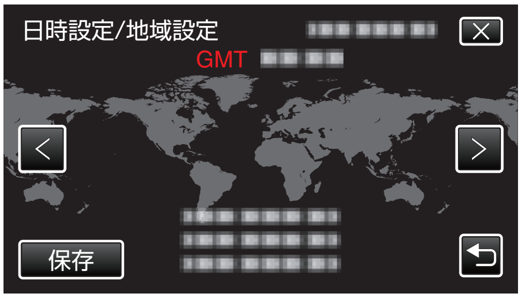


- 年、月、日、時、分の項目をタッチすると、"∧"と "∨"が表示されます。
- ∧ または ∨ をタッチして、年、月、日、時、分を合わせます。

4 日時設定が終わったら、"決定"をタッチする



5 お住まいの地域を選び、"保存"をタッチする



- 都市名と時差が表示されます。
- "<" または ">" をタッチして、都市名を選んでください。

メモ :

- 一度設定したあとに、時計を合わせ直すこともできます。

"時計を合わせ直すときは" (☞ p. 15)

- 海外で使うときは、その地域の時間に合わせて撮影できます。

"時差のある地域で使うとき" (☞ p. 20)

- 長期間使用しないと "時計を合わせてください"が表示されます。
  本機内蔵の時計用電池を充電するために、ＡＣアダプターなどの電源を 24 時間以上接続してから、時計を設定してください。

"バッテリーを充電する" (☞ p. 8)

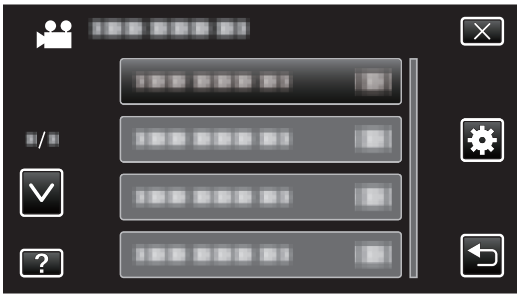
時計を合わせ直すときは

メニューの "時計合わせ"から時計を合わせてください。

1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "時計合わせ"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。

4 "日時設定"をタッチする



5 日時を設定する

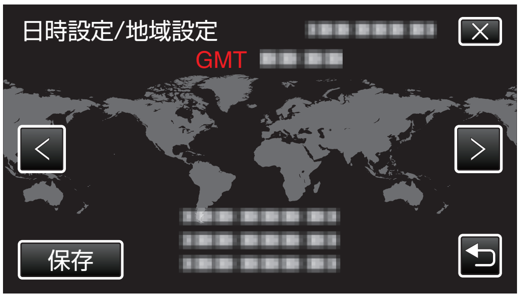


- 年、月、日、時、分の項目をタッチすると、"∧"と "∨"が表示されます。
- ∧ または ∨ をタッチして、年、月、日、時、分を合わせます。

6 日時設定が終わったら、"決定"をタッチする



7 お住まいの地域を選び、"保存"をタッチする



- 都市名と時差が表示されます。
- ＜または＞をタッチして、都市名を選んでください。

例）日本の場合、都市名は「東京ソウル」

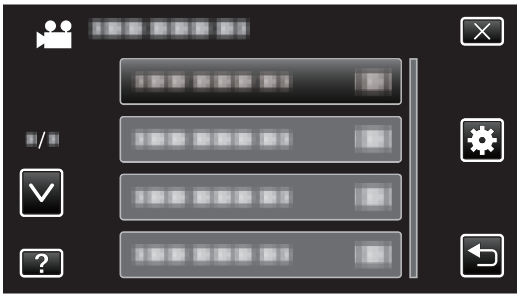
表示言語を変更する

メニューなどで表示する言語を設定します。

1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "ＬＡＮＧ.／言語"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。

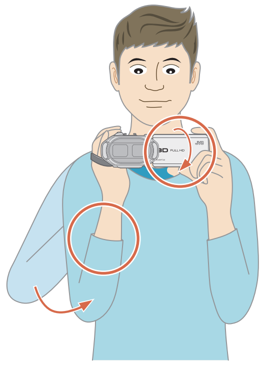
4 変更する言語をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。

本機の構えかた

手ぶれしないように、しっかりと脇をしめて構えましょう。



- 左手で液晶モニターを持ち、見やすい角度に調整してください。左手で液晶モニターを持つと、カメラを安定させて撮影できます。

ご注意 :

- 持ち運びの際は、本機を落とさぬよう十分にご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が十分にご注意ください。

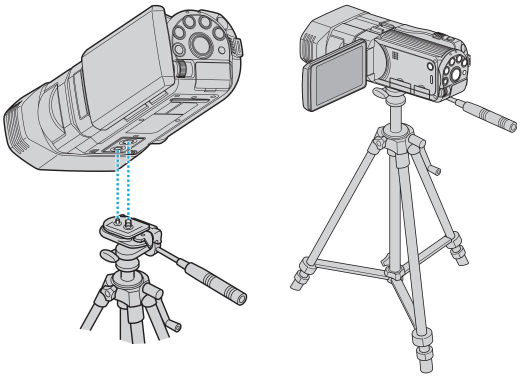
メモ :

- 手ぶれがひどい時は、手ぶれ補正を使用しましょう。

"手ぶれを補正して撮影する" (☞ p. 46)

三脚の取り付けかた

本機に三脚(または一脚)を取り付けできます。手ぶれを防ぎたいときに便利です。



- 落下を防ぐために、取り付け前に本機側の三脚取り付け用のネジ穴と、位置決め穴の位置をよく確認し、ネジを回してしっかりと取り付けてください。

ご注意 :

- 落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚(または一脚)の説明書をご覧になり、確実に取り付けてください。

メモ :

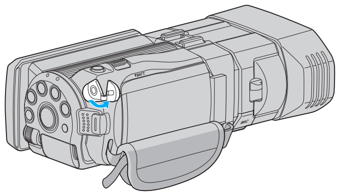
- 手ぶれしやすい状況(暗いところやズームが望遠側のとき)で撮影するときは、三脚や一脚を使って撮影することをおすすめします。
- 三脚を使って撮影するときは、「手ぶれ補正」を (切)にしてください。

"手ぶれを補正して撮影する" (☞ p. 46)

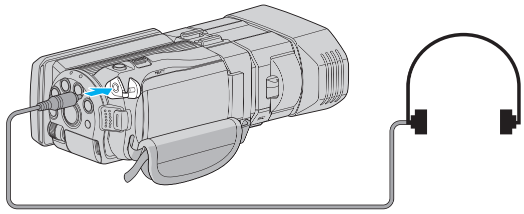
ヘッドホンの取り付けかた

別売のヘッドホンを取り付けることができます。

1 ヘッドホンのカバーを開ける



2 ヘッドホンをヘッドホン端子につなぐ



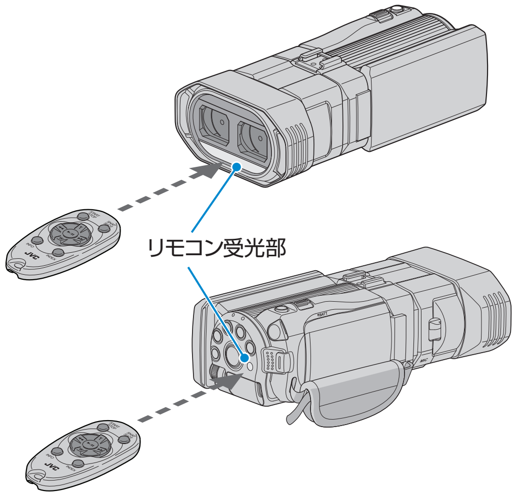
メモ :

- 設定メニューのヘッドホン音量調整で、ヘッドホンの音量を調節できます。

" ヘッドホン音量調整 " (☞ p. 97)

リモコンの使いかた

付属のリモコンを使えば、離れた場所から本機を操作できます。

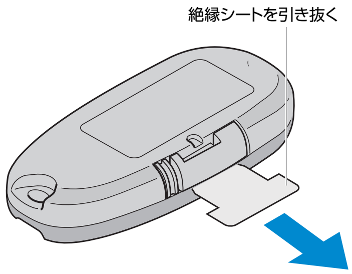


メモ：

- リモコンは受光部に正面から向け、約 5 m 以内でご使用ください。
- 屋外やリモコン受光部に強い光が当たるところで使用すると、正常に操作できないことがあります。

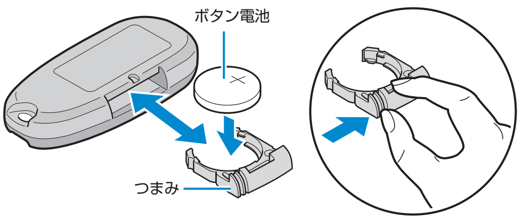
リモコンの電池を用意する

初めてリモコンを使うとき



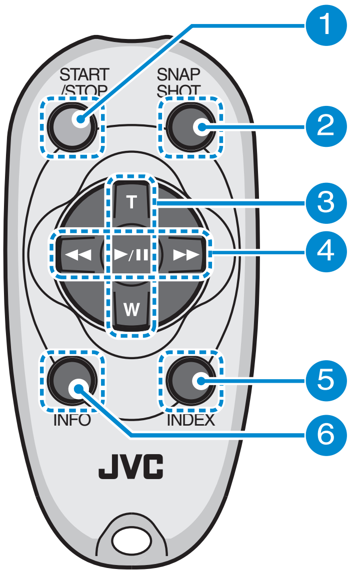
- ボタン電池（CR2025）があらかじめ取り付けられています。
  初めて使うときは、絶縁シートを引き抜いてお使いください。

電池を入れ替えるとき



- つまみを押しながら、電池トレイを引き抜いてください。
- ボタン電池の+側を上にして入れてください。

リモコンボタンの働き



1 録画スタート/ストップボタン

- 動画の撮影を開始/停止します。

2 静止画ボタン

- 静止画を撮影します。

3 ズームボタン

- T ： 拡大する
- W ： 縮小する

4 再生の基本操作

操作ボタン	説明
再生/一時停止ボタン ▶/❚❚	• 動画やスライドショーの再生/一時停止をします。
左ボタン ◀◀	• カーソルを左へ移動します。 • 再生中は、早戻しをします。
右ボタン ▶▶	• カーソルを右へ移動します。 • 再生中は早送りをします。
T ボタン **T**	• 拡大します。(一時停止中) • 動画再生中に音量を上げます（+）。
W ボタン **W**	• 縮小します。(一時停止中) • 動画再生中に音量を下げます（–）。

5 インデックスボタン

- 再生を停止し、サムネイル表示に戻ります。

6 インフォボタン

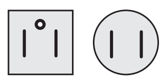
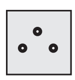
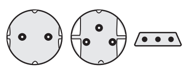
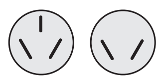
- 撮影：残量時間（動画のみ）やバッテリー残量を表示します。
- 再生：撮影日などのファイル情報を表示します。

海外で使うときは

訪問国や地域によって電源コンセントの形状が異なります。
充電するには、コンセントの形状に合った変換プラグが必要になります。
"海外で充電するとき" (☞ p. 19)
"時計合わせ"の "地域設定"で、旅行先を選ぶと、日時表示が現地時刻に変わります。
"時差のある地域で使うとき" (☞ p. 20)
"時計合わせ"の "サマータイム設定"で、サマータイムを "ON"にすると、時間が 1 時間進みます。
"旅行先がサマータイムのとき" (☞ p. 21)

海外で充電するとき

訪問国や地域によって電源コンセントの形状が異なります。
充電するには、コンセントの形状に合った変換プラグが必要になります。

A	B	BF	C	O
				

北米

アメリカ合衆国	A
カナダ	A
メキシコ	A

アジア

インド	B.C.BF
インドネシア	C
シンガポール	B.BF
スリランカ	B.C.BF
タイ	A.BF.C
大韓民国	A.C
中華人民共和国	A.B.BF.C.O
ネパール	C
パキスタン	B.C
バングラデシュ	C
フィリピン	A.BF.O
ベトナム	A.C
香港特別行政区	B.BF
マカオ特別行政区	B.C
マレーシア	B.BF.C

ヨーロッパ

アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B.BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
カナリア諸島	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A.C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B.C
ポルトガル	B.C
ルーマニア	C

オセアニア

オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

中南米

アルゼンチン	O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B.C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A.C
ベネズエラ	A
ペルー	A.C

中近東

イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B.C
ヨルダン	B.BF

アフリカ

アルジェリア	A.B.BF.C
エジプト	B.BF.C
ギニア	C
ケニア	B.C
ザンビア	B.BF
タンザニア	B.BF
南アフリカ共和国	B.C.BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

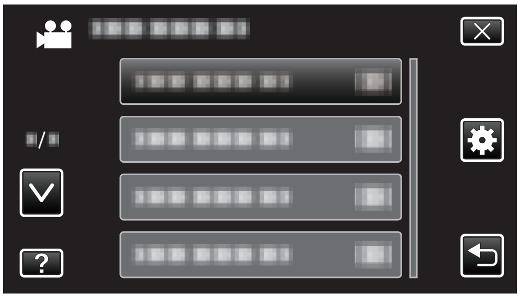
時差のある地域で使うとき

"時計合わせ"の "地域設定"で、旅行先を選ぶと、日時表示が現地時刻に変わります。
旅行などから戻ったときは、ご使用になる地域を元に戻してください。

1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "時計合わせ"をタッチする

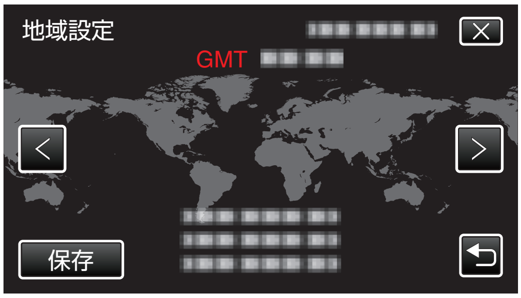


- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。

4 "地域設定"をタッチする



5 旅行先の地域を選び、"保存"をタッチする



- 都市名と時差が表示されます。
- <または>をタッチして、都市名を選んでください。

メモ：

- "地域設定"をすると、時差を補正した時刻に変更されます。
  自国へ戻ったときも、最初に設定した地域を選び直すことで、時計の設定が元に戻ります。

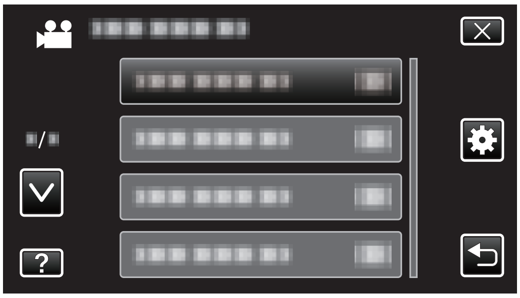
旅行先がサマータイムのとき

"時計合わせ"の "サマータイム設定"を "入"にすると、時間が1 時間進みます。

1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "時計合わせ"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。

4 "サマータイム設定"をタッチする



5 "ON"(入)をタッチする



メモ :

- サマータイムとは？
  夏の一定期間の時計を 1 時間進める制度をサマータイムと呼びます。
  日照時間を有効に使うため、主に欧米諸国で採用されています。
- 旅行から戻ったときは、サマータイム設定を元に戻してください。

別売アクセサリー

別売のバッテリーパックなどをお使いになれば、長時間の撮影も可能になります。

品名	説明
バッテリーパック • BN-VF815 • BN-VF823	• 予備のバッテリーとしてお使いいただけます。
HDMI ケーブル • VX-HD310 • VX-HD315 • VX-HD320 • VX-HD330	• テレビにつなぐと高画質でご覧になれます。 • 映像、音声および機器間での制御信号の伝送をします。

メモ：

- 付属品については、「付属品を確かめる」をご覧ください。

"付属品を確かめる" (☞ p. 6)

撮影時間の目安（バッテリー使用時）

■ 液晶モニターが 3D 表示の場合

バッテリー	実撮影時間		連続撮影時間	
	3D 撮影時 ＭＰ４（ＭＶＣ）	3D 撮影時 ＡＶＣＨＤ	3D 撮影時 ＭＰ４（ＭＶＣ）	3D 撮影時 ＡＶＣＨＤ
BN-VF815	55 分	1 時間	1 時間 45 分	2 時間
BN-VF823 （付属品）	1 時間 20 分	1 時間 35 分	2 時間 40 分	3 時間 5 分

■ 液晶モニターが 2D 表示の場合

バッテリー	実撮影時間		
	3D 撮影時 ＭＰ４（ＭＶＣ）	3D 撮影時 ＡＶＣＨＤ	2D 撮影時
BN-VF815	55 分	1 時間 5 分	1 時間 20 分
BN-VF823 （付属品）	1 時間 25 分	1 時間 40 分	1 時間 55 分

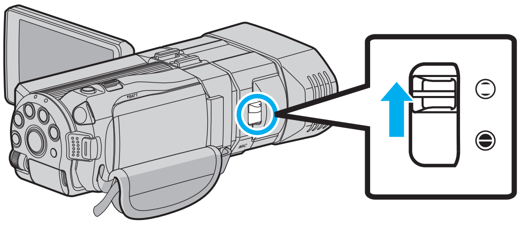
バッテリー	連続撮影時間		
	3D 撮影時 ＭＰ４（ＭＶＣ）	3D 撮影時 ＡＶＣＨＤ	2D 撮影時
BN-VF815	1 時間 50 分	2 時間 10 分	2 時間 35 分
BN-VF823 （付属品）	2 時間 45 分	3 時間 15 分	3 時間 50 分

- "モニター明るさ"が "標準"のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。
（撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします）
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。
（新しいものに交換してください）

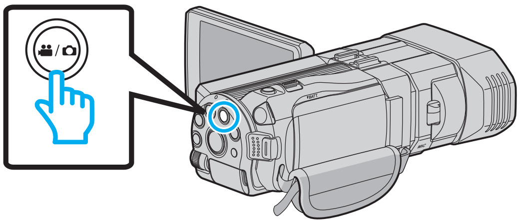
動画を 3D で撮影する

3D ボタンを押して 3D モードにすると、3D 映像を撮影できます。3D モード時は、液晶モニターに "３Ｄ"と表示されます。

1 レンズカバーを開ける

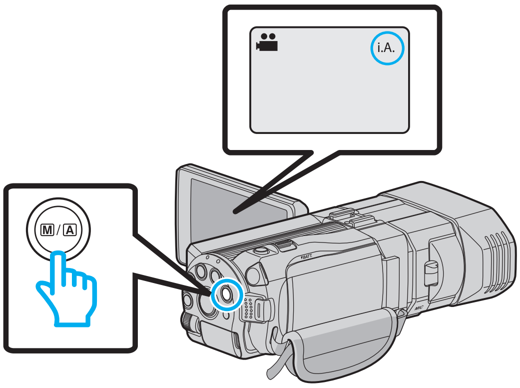


2 液晶モニターを開き、動画を選ぶ



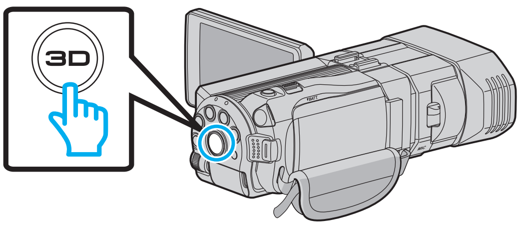
- アイコンが動画モード になります。

3 撮影モードがインテリジェントオート **i.A.** か確認する



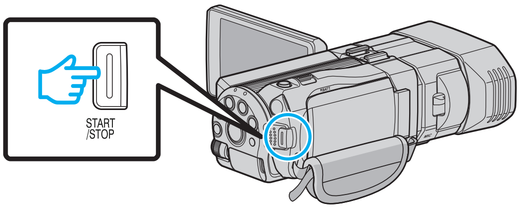
- マニュアル M になっているときは、M/A ボタンを押して、インテリジェントオート **i.A.** に切り換えてください。
押すたびに、インテリジェントオートとマニュアルに撮影モードが切り換わります。

4 3D ボタンを押して、3D モードにする



- 3D モードでは、液晶モニターに "３Ｄ"と表示されます。
- 3D ボタンが点灯しているときに、3D 映像が撮影できます。

5 撮影を開始する



- もう一度押すと撮影を停止します。

メモ :

- 3D 映像を撮影するときは、「"3D 映像の撮影や視聴のご注意" (☞ p. 4) 」もご覧ください。
- 近くの被写体が左右にずれて見えてしまう場合や遠景で立体感が弱くなる場合は、視差調整を行ってください。

"撮影時の視差調整をする" (☞ p. 32)

- ADJ ボタンに "視差調整"を設定しているときは、ADJ ボタンとコントロールダイヤルを使って、視差調整を手動で調節できます。

"コントロールダイヤルを使って撮影する" (☞ p. 45)

- 撮影中に 3D/2D アイコンをタッチすると、液晶モニターの表示を 3D 映像と 2D 映像に切り換えることができます。液晶モニター表示を 2D 映像に切り換えても、3D で撮影されます。2D で撮影したいときは、撮影前に 3D ボタンを押して 2D モードに切り換えてください。

"動画をインテリジェントオートで撮影する" (☞ p. 26)

- マイクレベル表示が頻繁に赤色になる場合は "マイクレベル設定"でマイクレベルを下げ、緑色にすることでより臨場感のある音で記録できます。

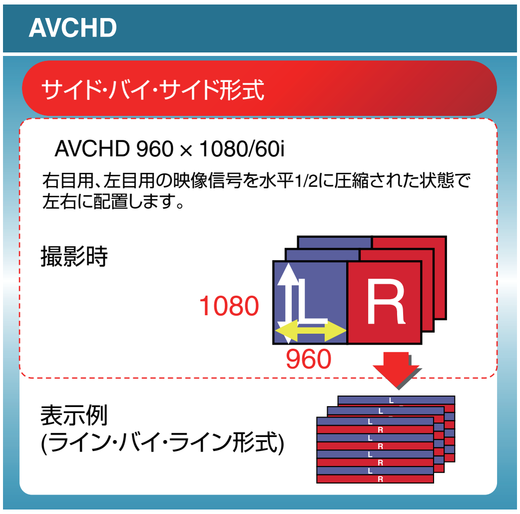
" マイクレベル設定 " (☞ p. 96)

3D 映像の記録形式について

3D 映像の記録方式は、"ＡＶＣＨＤ"と "ＭＰ４(ＭＶＣ)"の 2 種類あります。
お買い上げ時は、"３Ｄ動画記録形式"が "ＭＰ４(ＭＶＣ)"に設定されています。
"3D 動画の記録形式を設定します。" (☞ p. 92)

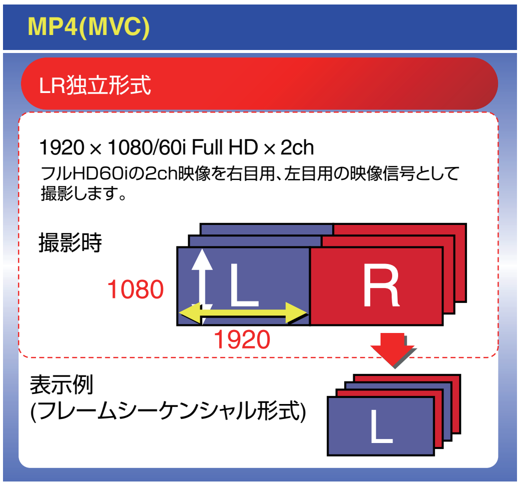
■ ＡＶＣＨＤ

互換性を優先した記録方式です。



■ ＭＰ４(ＭＶＣ)

画質を優先した記録方式です。



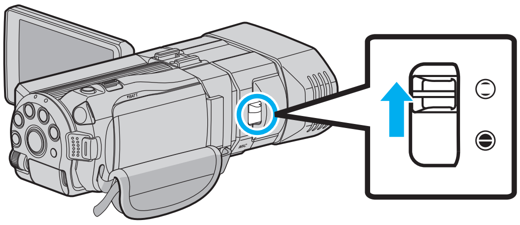
メモ：

- "ＭＰ４(ＭＶＣ)"で撮影された映像は、フルハイビジョンで記録され、本機でのみ再生できます。
- 3D 映像をブルーレイレコーダーでディスクに保存したい場合、またはパソコンでディスクに保存したい場合は、"ＡＶＣＨＤ"に設定してください。
- "ＡＶＣＨＤ"で撮影された映像をブルーレイレコーダーにダビングすると、左右分かれた映像が記録･再生され、3D 対応の TV に接続すると 3D 映像が楽しめます。
- "ＭＰ４(ＭＶＣ)"と "ＡＶＣＨＤ"で撮影した映像は、再生時には別々に一覧表示されます。

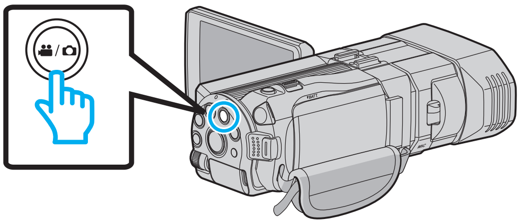
静止画を 3D で撮影する

3D ボタンを押して 3D モードにすると、3D 映像を撮影できます。3D モード時は、液晶モニターに "３Ｄ"と表示されます。

1 レンズカバーを開ける

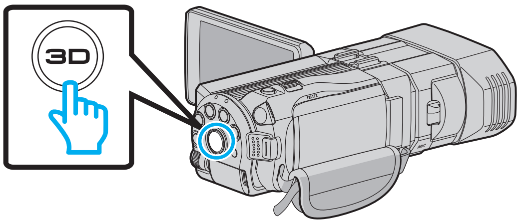


2 液晶モニターを開き、静止画を選ぶ



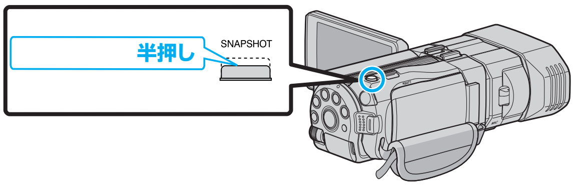
- アイコンが静止画 になります。

3 3D ボタンを押して、3D モードにする



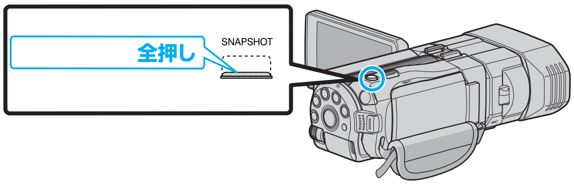
- 3D モードでは、液晶モニターに "３Ｄ"と表示されます。
- 3D ボタンが点灯しているときに、3D 映像が撮影できます。

4 被写体にピントを合わせる



- ピントが合うと、ピント合わせアイコンが緑色に点灯します。

5 シャッターを切る



- 静止画記録中は、PHOTO が点灯します。

メモ :

- 3D 撮影を行うと、3D の静止画と 2D の静止画を同時に保存します。
- 3D の静止画は MP ファイル(拡張子.mpo)で保存されます。
- 3D の静止画はプリントができません。同時に撮影している 2D の静止画をプリントしてください。
- 3D 映像を撮影するときは、「"3D 映像の撮影や視聴のご注意" (☞ p. 4) 」もご覧ください。
- 近くの被写体が左右にずれて見えてしまう場合や遠景で立体感が弱くなる場合は、視差調整を行ってください。

"撮影時の視差調整をする" (☞ p. 32)

- ADJ ボタンに "視差調整"を設定しているときは、ADJ ボタンとコントロールダイヤルを使って、視差調整を手動で調節できます。

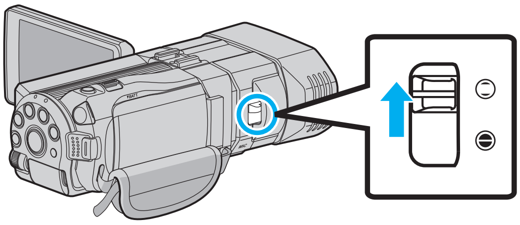
"コントロールダイヤルを使って撮影する" (☞ p. 45)

動画をインテリジェントオートで撮影する

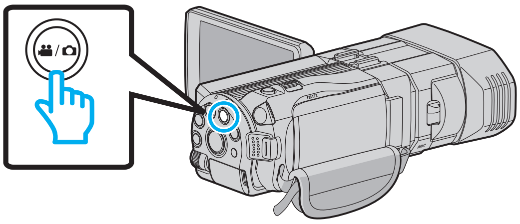
インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。

- 大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

1 レンズカバーを開ける

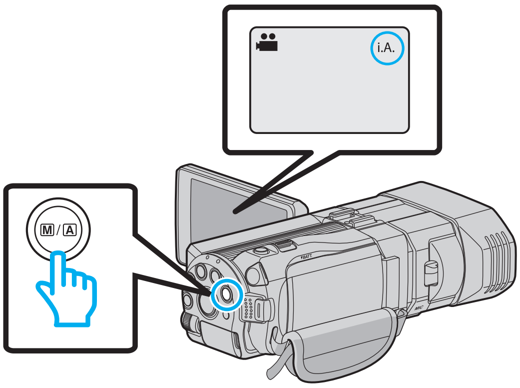


2 液晶モニターを開き、動画を選ぶ



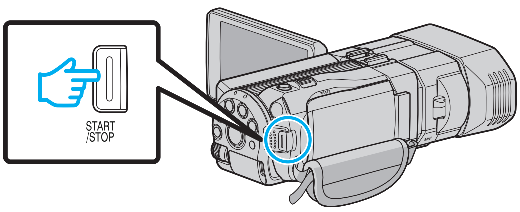
- アイコンが動画モード になります。

3 撮影モードがインテリジェントオート **i.A.** か確認する



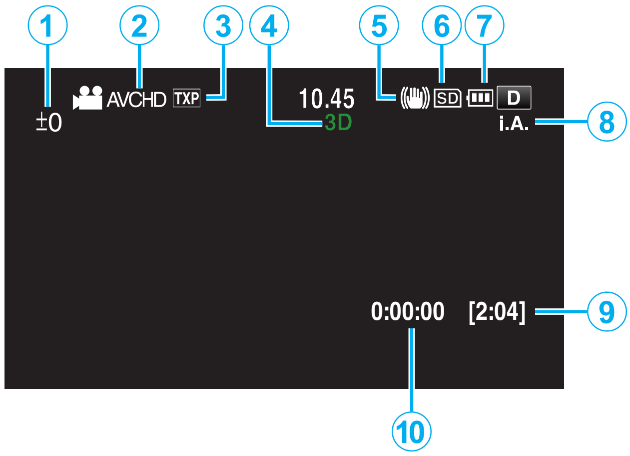
- マニュアル M になっているときは、M/A ボタンを押して、インテリジェントオート **i.A.** に切り換えてください。
  押すたびに、インテリジェントオートとマニュアルに撮影モードが切り換わります。

4 撮影を開始する



- もう一度押すと撮影を停止します。

動画撮影時の画面表示



	表示アイコン	説明
①	視差調整値（３Ｄモード時のみ）	視差調整を手動で行ったときに、調整した設定値が表示されます。 "撮影時の視差調整をする" (☞ p. 32)
②	３Ｄ動画記録形式（3D モード時のみ）	3D 録画の動画記録形式が表示されます。
③	動画画質	撮影メニューの "動画画質"で設定している画質のアイコンが表示されます。 " 動画画質 " (☞ p. 93) 24p モードで撮影しているときは、24P が表示されます。 " システムセレクト " (☞ p. 92)
④	3D/2D モード表示	3D 撮影と 2D 撮影で表示が切り換ります。3D 撮影時は 3D、2D 撮影時は 2D と表示されます。
⑤	手ぶれ補正	撮影メニューの "手ぶれ補正"で設定しているアイコンが表示されます。 "手ぶれを補正して撮影する" (☞ p. 46)
⑥	記録メディア	動画を記録するメディアのアイコンが表示されます。動画記録メディアで設定できます。 " 動画記録メディア " (☞ p. 111)
⑦	バッテリー残量	バッテリー残量の目安が表示されます。INFO ボタンを押すと、バッテリー残量の詳細を確認できます。 "残量時間/バッテリー残量" (☞ p. 54)

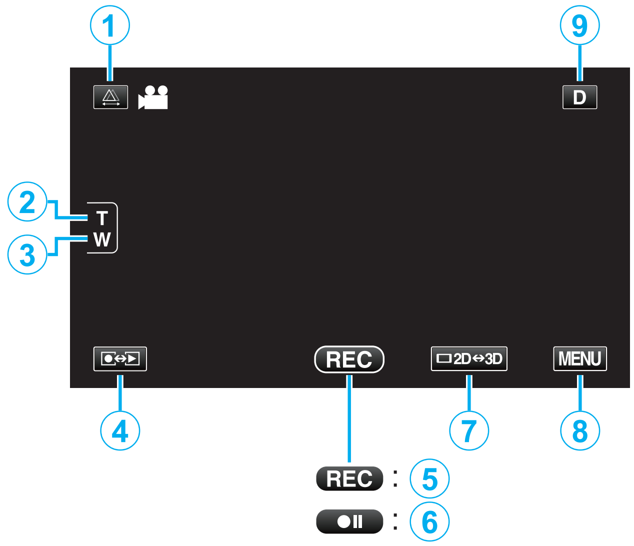
	表示アイコン	説明
⑧	撮影モード	現在の撮影モードが **i.A.**(インテリジェントオート)または M(マニュアル)で表示されます。 i.AUTO ボタンを押すたびに、撮影モードが切り換わります。
⑨	撮影可能時間	動画撮影が可能な残り時間が表示されます。
⑩	シーンカウンター (撮影した時間)	現在撮影している動画の撮影経過時間が表示されます。

■ インテリジェントオートのシーン

表示アイコン	説明
	肌を美しく撮影します。
	人物を自然に表現できるように撮影します。
	遠景にピントが合い、シャープで色鮮やかな映像になります。
	全体的にノイズを抑えて撮影します。
	全体的にノイズを抑え、夜景を忠実に表現するように撮影します。
	かなり明るい環境においても、なるべく色飛びせずに撮影します。
	近接の被写体にピントを合わせて撮影します。
	木々の緑を鮮明に撮影します。
	夕暮れの様子を自然な色で撮影します。
	逆光で被写体が暗く写ることを防ぎます。
	全体的にノイズを抑えつつ、人物を自然に表現できるように撮影します。
	暗い環境においても、近接の被写体にピントを合わせて撮影します。

メモ :
- シーンは撮影条件によって選択され、インテリジェントオートでは自動的に調整が行われます。
- 撮影状況によっては、正しく動作しないことがあります。

動画撮影時の操作ボタン



	操作ボタン	説明
①	視差調整	液晶モニターが 3D 表示または LR MIX 表示の時に、見え方を調節します。 "撮影時の視差調整をする" (☞ p. 32)
② / ③	T/W ズーム	ズームレバーと同様の操作ができます。 ズームレバーを操作するときに起こりがちな手ぶれを抑えてズーム操作ができます。 "ズームを使う" (☞ p. 28)
④	撮影/再生切換	撮影/再生モードに切り換えます。
⑤ / ⑥	撮影開始 REC 撮影停止 ●II	START/STOP ボタンと同じ動作をします。
⑦	液晶モニター表示の 3D/2D 切換	液晶モニター表示を 3D 映像と 2D 映像に切り換えます。
⑧	MENU	撮影メニュー(動画)が表示されます。 "メニュー操作のしかた" (☞ p. 83)
⑨	画面表示切換 **D**	一部の表示は約3秒間で消えます。**D** ボタンを使って、以下のように表示を切り換えられます。 • **D** ボタンをタッチする タッチするたびに、約3秒間表示されます。 • **D** ボタンをタッチし続ける 表示が消えないように設定できます。設定すると、画面表示切換ボタンが **D** から **D?** に変わります。 **D?** ボタンをタッチすると、表示設定が解除されて元に戻ります。

撮影するときの便利な設定

- "オートパワーオフ"が "入"のときは、何も操作せずに 5 分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。(バッテリー使用時のみ)

" オートパワーオフ " (☞ p. 112)

- "タッチ優先ＡＥ／ＡＦ"が "顔追尾"のときは、被写体の顔を検出して、ピントや明るさを自動的に合わせてきれいに撮影できます。

"被写体をきれいに撮影する(タッチ優先ＡＥ／ＡＦ)" (☞ p. 47)

ご注意 :

- レンズを直射日光などに向けないでください。
- 雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所では、使わないでください。
- 湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使わないでください。
- アクセスランプ点灯中は、バッテリーや AC アダプター、SD カードを取りはずさないでください。記録したデータが読み取れなくなることがあります。

"管理情報が壊れた動画を再生する" (☞ p. 59)

- 重要な記録内容(データ)はバックアップしてください。
  重要な記録内容(データ)を DVD や他の記録メディアに保存用としてコピーするのをおすすめします。
  万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。

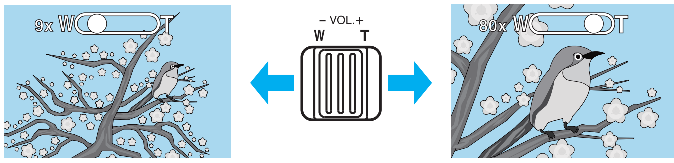
メモ :

- 大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。
- 記録メディアの残量を確認してから撮影を開始しましょう。記録容量が十分でなければ、パソコンやディスクにデータを移動(保存)しておいてください。
- 撮影終了後は、こまめに保存することをおすすめします。
- 仕様上、12 時間以上の連続撮影ができませんので、自動的に撮影が停止します。
  (撮影の再開には、多少時間がかかる場合があります。)
- 長時間の撮影では、自動的に最大 4 GB のファイルに分割されます。
- 室内で長時間録画するときには、AC アダプターをつないで撮影することもできます。
- 同一の記録メディアには、MP4 と静止画についてそれぞれ 9999 までファイルを保存できます。

ズームを使う

ズームを使うと、画角を調整できます。

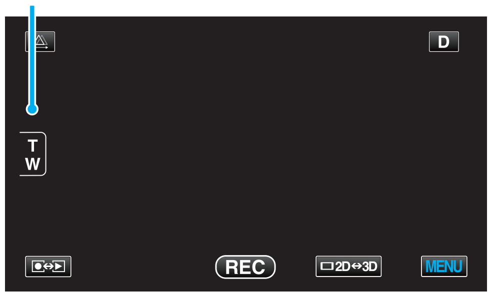
- 視野を広く撮影するときは、W 側(広角側)にしてください。
- 被写体を大きく撮影するときは、T 側(望遠側)にしてください。



広角側　　望遠側

- 以下のズーム倍率が使用できます:
  - 光学ズーム(1〜5 倍)　※３Ｄ撮影時
  - 光学ズーム(1〜10 倍)　※２Ｄ撮影時
  - デジタルズーム(11〜200 倍)　※２Ｄ撮影時のみ
- タッチパネルのズームボタン(Ｔ/W)でも、ズーム操作できます。

ズームボタン(T/W)



メモ :

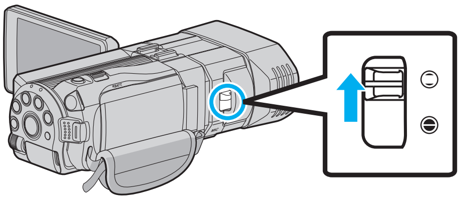
- デジタルズームでは映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。
- ズーム倍率の範囲は変更できます。

"ズーム倍率 (2D モードのみ)" (☞ p. 94)

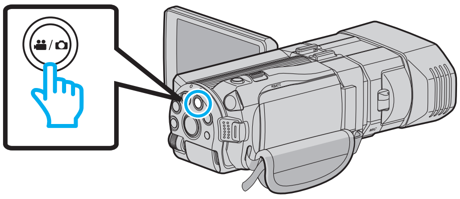
静止画をインテリジェントオートで撮影する

インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。

1 レンズカバーを開ける

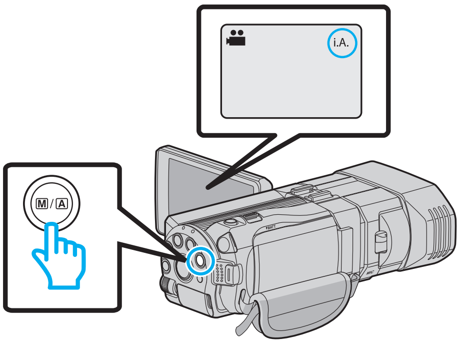


2 液晶モニターを開き、静止画を選ぶ



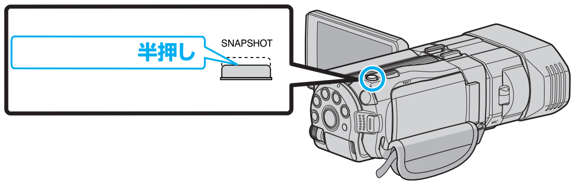
- アイコンが静止画 になります。

3 撮影モードがインテリジェントオート **i.A.** か確認する



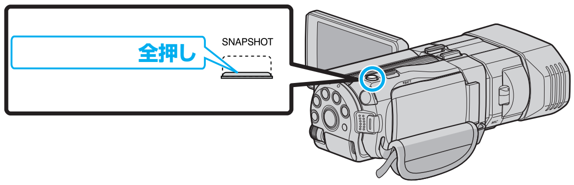
- マニュアル M になっているときは、M/A ボタンを押して、インテリジェントオート **i.A.** に切り換えてください。
  押すたびに、インテリジェントオートとマニュアルに撮影モードが切り換わります。

4 被写体にピントを合わせる



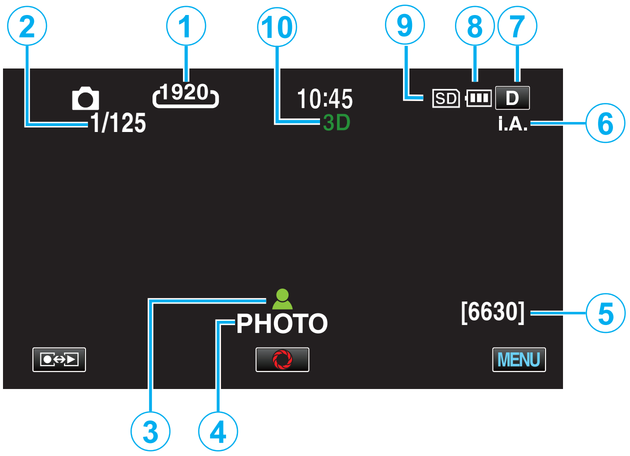
- ピントが合うと、ピント合わせアイコンが緑色に点灯します。

5 シャッターを切る



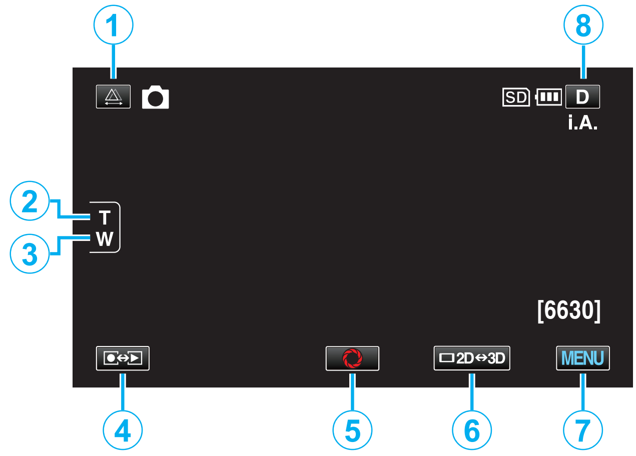
- 静止画記録中は、PHOTO が点灯します。

静止画撮影時の画面表示



	表示アイコン	説明
①	静止画サイズ	静止画サイズのアイコンを表示します。 • 静止画サイズは変更できます。 " 静止画サイズ " (☞ p. 104)
②	シャッタースピード	シャッタースピードを表示します。
③	ピント合わせ	ピントが合うと緑色に点灯します。
④	静止画記録中	静止画の記録中に表示します。
⑤	撮影可能枚数	静止画撮影が可能な残り枚数を表示します。
⑥	撮影モード	i.AUTO ボタンを押すと、**i.A.**(インテリジェントオート)と M(マニュアル)が切り換わります。
⑦	画面表示切換 **D**	一部の表示は約３秒間で消えます。**D** ボタンを使って、以下のように表示を切り換えられます。 • **D** ボタンをタッチする タッチするたびに、約３秒間表示されます。 • **D** ボタンをタッチし続ける 表示が消えないように設定できます。設定すると、画面表示切換ボタンが **D** から **D** に変わります。 **D** ボタンをタッチすると、表示設定が解除されて元に戻ります。
⑧	バッテリー残量	バッテリー残量の目安を表示します。 INFO ボタンを押すと、バッテリー残量の詳細を表示します。 "残量時間/バッテリー残量" (☞ p. 54)
⑨	記録メディア	静止画を記録するメディアのアイコンを表示します。 記録メディアは変更できます。 " 静止画記録メディア " (☞ p. 111)
⑩	3D/2D モード表示	3D 撮影と 2D 撮影で表示が切り換ります。3D 撮影時は 3D、2D 撮影時は 2D と表示されます。

静止画撮影時の操作ボタン



	操作ボタン	説明
①	視差調整	液晶モニターが 3D 表示または LR MIX 表示の時に、見え方を調節します。 "撮影時の視差調整をする" (☞ p. 32)
② / ③	T/W ズーム	ズームレバーと同様の操作ができます。 ズームレバーを操作するときに起こりがちな手ぶれを抑えてズーム操作ができます。 "ズームを使う" (☞ p. 28)
④	撮影/再生切換	撮影/再生モードに切り換えます。
⑤	静止画撮影	SNAPSHOT ボタンと同じ動作をします。ただし、半押しでのピント合わせはできません。
⑥	液晶モニター表示の 3D/2D 切換	液晶モニター表示を 3D 映像と 2D 映像に切り換えます。
⑦	MENU	撮影メニュー(静止画)が表示されます。 "メニュー操作のしかた" (☞ p. 83)
⑧	画面表示切換 **D**	一部の表示は約３秒間で消えます。**D** ボタンを使って、以下のように表示を切り換えられます。 • **D** ボタンをタッチする タッチするたびに、約３秒間表示されます。 • **D** ボタンをタッチし続ける 表示が消えないように設定できます。設定すると、画面表示切換ボタンが **D** から **D** に変わります。 **D** ボタンをタッチすると、表示設定が解除されて元に戻ります。

撮影するときの便利な設定

- "高速起動"が "入"のときは、液晶モニターを閉じて電源を切っても、5 分以内に液晶モニターを開けば、すぐに電源が入ります。

" 高速起動 " (☞ p. 113)

- "オートパワーオフ"が "入"のときは、何も操作せずに 5 分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。(バッテリー使用時のみ)

" オートパワーオフ " (☞ p. 112)

- "タッチ優先ＡＥ／ＡＦ"が "顔追尾"のときは、被写体の顔を検出して、ピントや明るさを自動的に合わせてきれいに撮影できます。

"被写体をきれいに撮影する(タッチ優先ＡＥ／ＡＦ)" (☞ p. 47)

- 画像の解像度を変更することができます。

" 静止画サイズ " (☞ p. 104)

ご注意 :

- レンズを直射日光などに向けないでください。
- 雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所では、使わないでください。
- 湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使わないでください。
- アクセスランプ点灯中は、バッテリーや AC アダプター、SD カードを取りはずさないでください。記録したデータが読み取れなくなることがあります。

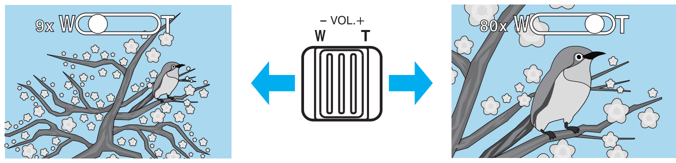
メモ :

- 大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。
- 静止画の撮影時は、手ぶれ補正が働きません。

ズームを使う

ズームを使うと、画角を調整できます。

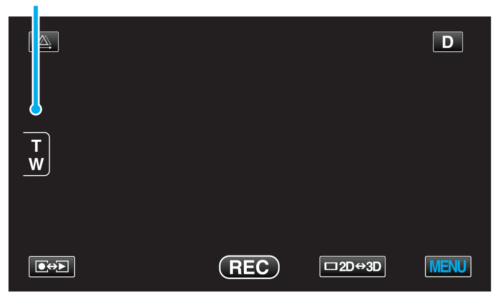
- 視野を広く撮影するときは、W 側(広角側)にしてください。
- 被写体を大きく撮影するときは、T 側(望遠側)にしてください。



広角側　望遠側

- 以下のズーム倍率が使用できます:
  - 光学ズーム(1〜5 倍)　※３Ｄ撮影時
  - 光学ズーム(1〜10 倍)　※２Ｄ撮影時
- タッチパネルのズームボタン(Ｔ/W)でも、ズーム操作できます。

ズームボタン(T/W)



メモ :

- 静止画の撮影では、光学ズームのみ使えます。

撮影時の視差調整をする

３Ｄ映像を撮影するときに、視差は自動で調整されます。近くの被写体が左右にずれて見えてしまう場合や、遠景で立体感が弱くなる場合に、左右の画像を寄せて調整できます。

- 視差調整は、本体 LCD が 3D 表示または LR MIX 表示のときに調整できます。

"３Ｄ動画記録形式（3D モードのみ）" (☞ p. 92)

1 をタッチする



2 "マニュアル"をタッチする



- 視差調整の画面が表示されます。
- 視差調整を自動調整（デフォルト）にしたい場合は、"オート"をタッチしてください。

3 視差調整をする



- 調整量を増やしたい場合は、"+"をタッチしてください。視差量表示の値が増えます。
- 調整量を減らしたい場合は、"-"をタッチしてください。視差量表示の値が減ります。

4 "決定"をタッチして、確定する



ご注意 :

- 視差をつけすぎると、3D に見えない場合があります。
- 視差調整を行っても二重に見える場合には、直ちに液晶モニターの表示を 2D 映像にしてご使用ください。

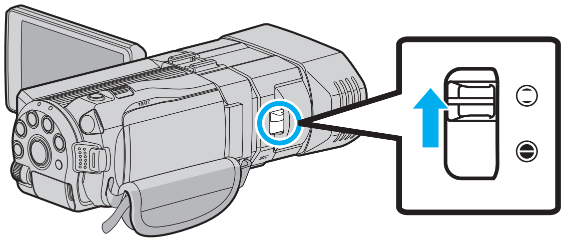
メモ :

- 本機は自動で視差を調整する機能を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、自動での視差調整が正しく動作しないことがあります。
  ・推奨距離範囲外の被写体（特に近距離の被写体）
  ・ビルの窓などの、形状の似たものが並んでいる被写体
  ・電線などのまっすぐな被写体
  このようなときに、マニュアルでの視差調整を行ってください。
- 手動で視差調整をした場合、本機の電源を切る、または再生モードに切り換えると "視差調整"の設定が "オート"に戻ります。

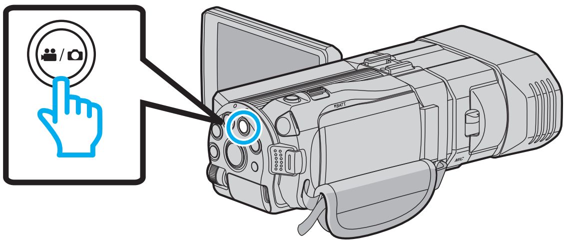
マニュアルで設定を変えて撮影する

マニュアル撮影では、明るさやシャッタースピードなどを設定することができます。
マニュアル撮影は、動画でも、静止画でも設定できます。

1 レンズカバーを開ける

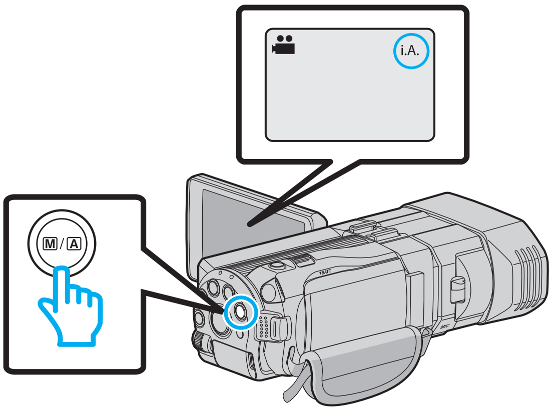


2 液晶モニターを開き、動画または静止画を選ぶ



- アイコンが動画 または静止画 になります。

3 マニュアル撮影モードにする

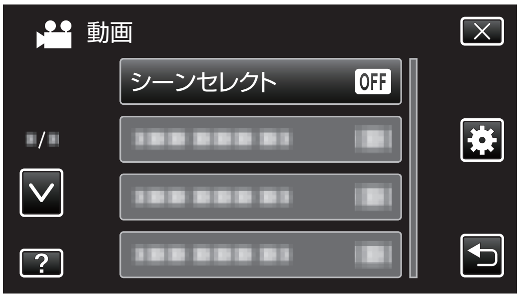


- インテリジェントオート i.A. になっているときは、M/A ボタンを押して、マニュアル M に切り換えます。
  押すたびに、インテリジェントオートとマニュアルに撮影モードが切り換わります。

4 "MENU"をタッチする



5 マニュアル設定の項目をタッチする



- マニュアル設定の各項目について、「マニュアル撮影メニュー一覧」をご覧ください。

メモ :

- マニュアル設定は、マニュアル撮影時のみ設定することができます。

マニュアル撮影メニュー一覧

以下の項目を設定できます。

設定名	説明
シーンセレクト	● 撮影状況に合わせた撮影が簡単にできます。 "シーンを選んで撮影する" (☞ p. 35)
フォーカス	● 自動でピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使ってみましょう。 "手動でピントを合わせる" (☞ p. 36)
フォーカスアシスト	● ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。 "フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (☞ p. 37)
アシストカラー	●「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定します。 " アシストカラー " (☞ p. 100)
明るさ補正	● 画面全体の明るさを調節できます。 ● 撮影場所が暗いときや明るいときに調節しましょう。 "明るさ補正を設定する" (☞ p. 38)
シャッタースピード	● シャッタースピードを調節できます。 ● 動きの早い被写体を撮影するときや被写体の動きを強調したいときに設定します。 "シャッタースピードを設定する" (☞ p. 39)
絞り優先ＡＥ	● 絞りを調整すると、被写体のみにピントを合わせて撮影でき、周辺のぼかし具合を調節できます。 "絞りを設定する" (☞ p. 40)
ホワイトバランス	● 画面全体の色合いを設定できます。 ● 目で見た色合いと画面上の色合いが違うときに設定します。 "ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 41)
逆光補正	● 逆光で被写体が暗くなるのを補正します。 ● 逆光状態で撮影するときに設定します。 "逆光補正を設定する" (☞ p. 42)
ゼブラ	● 被写体の明るい部分にゼブラ模様を表示するかどうかを選択します。 "ゼブラパターンを表示する" (☞ p. 42) ※動画撮影時のみ表示されます。
テレマクロ	● 被写体に近づいて撮影（接写）したいときに設定します。 "接写で撮影する" (☞ p. 43) ※2D モードで撮影時のみ表示されます。

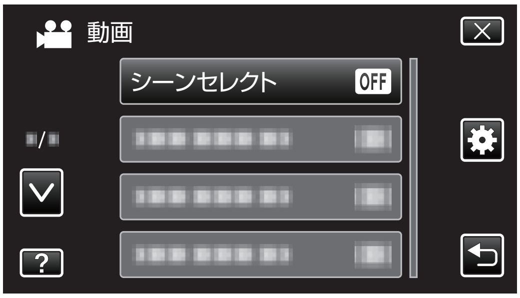
シーンを選んで撮影する

代表的なシーンを最適な設定で撮影できます。

1 "MENU"をタッチする



2 "シーンセレクト"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

3 シーンを選んでタッチする



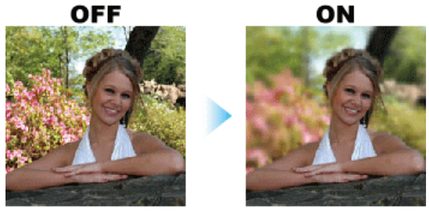
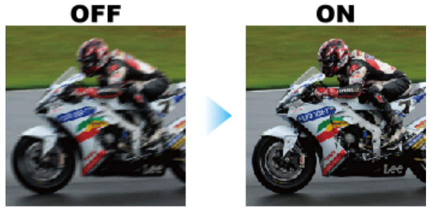
- 設定すると、選択したシーンがすぐに表示されます。
- 選択したシーンを取り消す場合は、"切"をタッチしてください。
- ∧や∨をタッチするか、上や下になぞると画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。

メモ：

- "シネマ" を設定しているときは、シーンセレクトを使用できません。

" シネマ " (☞ p. 89)

※画像はイメージです。

設定	エフェクト
ナイトアイ	周囲が薄暗いときは、スローシャッターになり、自動的に感度を上げて明るくします。 手ぶれしないように三脚を使用してください。 OFF ON 
夜景	夜景などを自然な感じに撮影できます。 OFF ON 
ポートレート	背景をぼかして、人物を浮かび上がらせます。 OFF ON 
スポーツ	動きの速いものを 1 コマ 1 コマ鮮明に撮影できます。 OFF ON 
スノー	晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぎます。 OFF ON 
スポットライト	ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。 OFF ON 

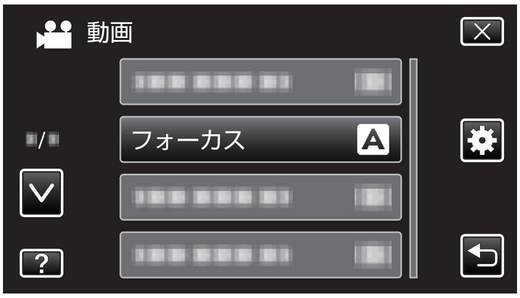
手動でピントを合わせる

インテリジェントオートでピントが合わないときや、手動でピントを合わせたいときに設定します。

1 "MENU"をタッチする

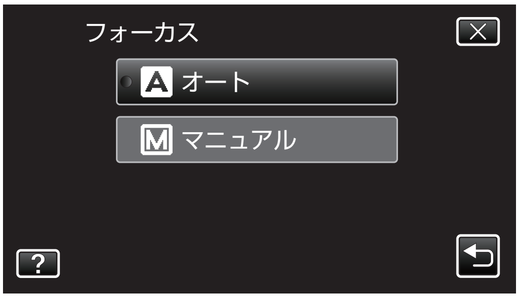


2 "フォーカス"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

3 "マニュアル"をタッチする



4 ピントを調整する



- ▲ をタッチすると、遠くの被写体にピントが合います。
- 人物アイコン をタッチすると、近くの被写体にピントが合います。

5 "決定"をタッチして、確定する



- ピントを確定するとピント枠が消え、▲ と 人物アイコン が表示されます。(アイコンは点滅している場合があります。)

メモ :

- 望遠(T)側でピントを合わせてから広角(W)にすると、ピントがずれません。
- 限界距離を越えた遠景や近景にはピントが合いません。∧ や ∨が点滅します。
- コントロールダイヤルでもピントを調整することができます。

"コントロールダイヤルを使って撮影する" (☞ p. 45)

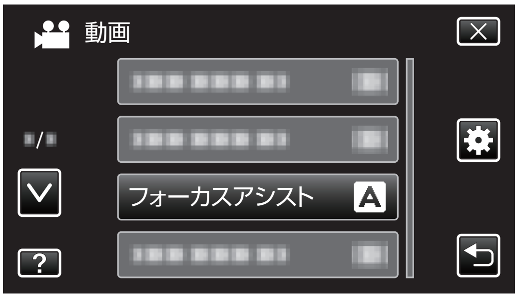
フォーカスアシストを使ってピントを合わせる

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。

1 "MENU"をタッチする



2 "フォーカスアシスト"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- ✕ をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

3 ピントを調整する



- ▲ をタッチすると、遠くの被写体にピントが合います。
- ♟ をタッチすると、近くの被写体にピントが合います。

4 "決定"をタッチして、確定する



メモ :

- フォーカスアシスト設定時は、画面が白黒になり、ピントが合っている部分の輪郭に選んだ色が付きます。輪郭線が見にくくなったときは色を変えてください。

" アシストカラー " (☞ p. 100)

- コントロールダイヤルでもピントを調整することができます。

"コントロールダイヤルを使って撮影する" (☞ p. 45)

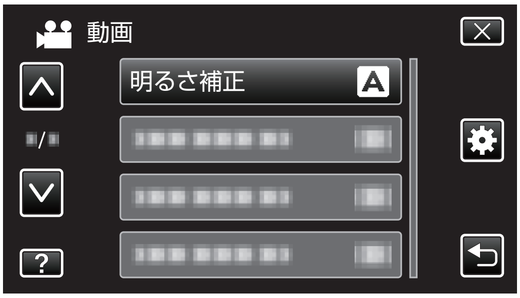
明るさ補正を設定する

お好みの明るさに調整できます。

1 "MENU"をタッチする



2 "明るさ補正"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

3 "マニュアル"をタッチする



4 お好みの明るさに調整する



- 動画撮影時の補正範囲：−6～＋ 6
- 静止画撮影時の補正範囲：−2.0～＋ 2.0
- 明るくする場合は、∧をタッチしてください。
- 暗くする場合は、∨をタッチしてください。

5 "決定"をタッチして、確定する



メモ :

- 動画と静止画で別々に設定できます。
- コントロールダイヤルでも明るさを調整することができます。

"コントロールダイヤルを使って撮影する" (☞ p. 45)

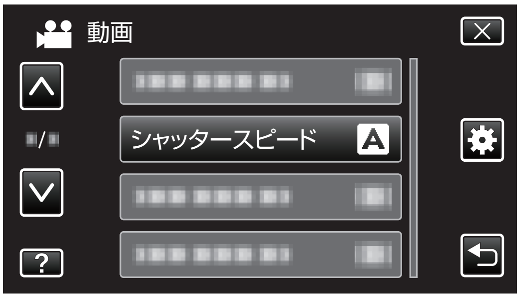
シャッタースピードを設定する

被写体に合わせてシャッタースピードを設定しましょう。

1 "MENU"をタッチする

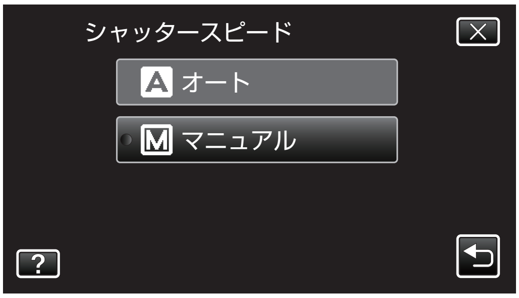


2 "シャッタースピード"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

3 "マニュアル"をタッチする



4 シャッタースピードを調整する



- シャッタースピードを 1/2 から 1/4000 まで設定できます。
（静止画は 1/500 まで設定できます。）
- スピードを速くする場合は、∧をタッチしてください。
- スピードを遅くする場合は、∨をタッチしてください。

5 "決定"をタッチして、確定する



- 設定スピードを確定すると、シャッタースピード調整表示が消えます。

メモ :

- 動画と静止画で別々に設定できます。
- "シャッタースピード"を上げると、速い動きの撮影が綺麗に取れますが、画面が暗くなります。室内など暗い場所での撮影時には、液晶画面で画面の明るさを確認しながら"シャッタースピード"を設定してください。
- コントロールダイヤルでもシャッタースピードを調整することができます。

"コントロールダイヤルを使って撮影する" (☞ p. 45)

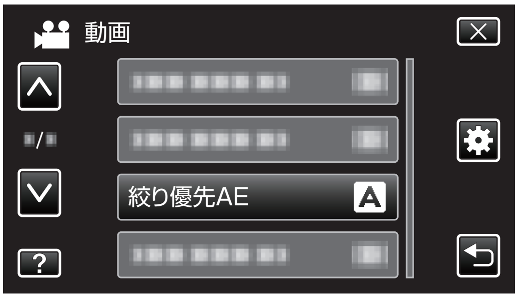
絞りを設定する

絞りを調整すると、被写体のみにピントを合わせて撮影できます。

1 "MENU"をタッチする

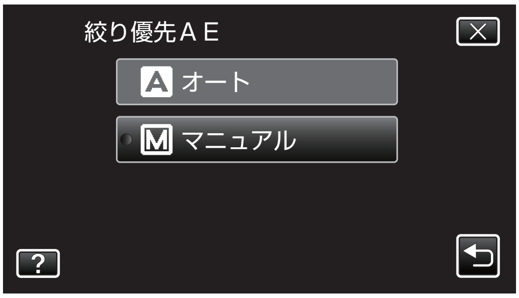


2 "絞り優先ＡＥ"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- ✕ をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

3 "マニュアル"をタッチする



4 絞りを調整する



- 絞りは F1.2 から F5.6 まで設定できます。
- 背景にもピントを合わせたい(絞り値を大きくする)場合は、∧をタッチしてください。
- 背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)場合は、∨をタッチしてください。

5 "決定"をタッチして、確定する



- 絞りを確定すると、絞りの設定表示が消えます。

メモ：

- 動画と静止画で別々に設定できます。
- ズームが望遠にした場合は、絞り値を最小値(F1.2)に設定しても、最小になりません。ズームに応じた絞り値が設定され、黄色で表示されます。ズームを広角にすると最小値が設定できるようになります。
- 絞り値を大きくするほど、被写体が暗くなります。
- コントロールダイヤルでも絞りを調整することができます。

"コントロールダイヤルを使って撮影する" (☞ p. 45)

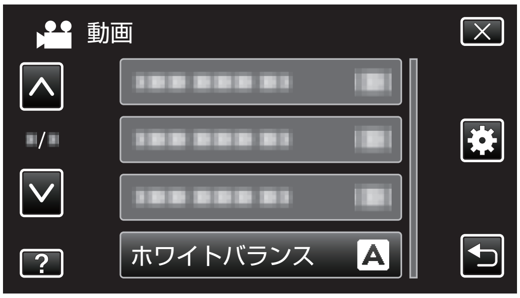
ホワイトバランスを設定する

光源に合わせて、色合いの設定ができます。

1 "MENU"をタッチする



2 "ホワイトバランス"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

3 撮影条件を選んでタッチする



- ∧や∨をタッチし、上下にスクロールして選んでください。

設定	内容
オート	自動的に自然な色合いになるように調節します。
ワンタッチ	色の不自然さが解消されないときに使います。
5200K	晴れた日の屋外で撮影するときに設定します。
6000K	曇りの日や日陰で撮影するときに設定します。
3200K	撮影ライトなど照明の下で撮影するときに設定します。
水中1	水深が深い(水が青色)水中で撮影するときに設定します。
水中2	水深が浅い(水が緑色)水中で撮影するときに設定します。

ワンタッチを使うときは

1 白い紙をレンズの前に置き、画面一杯に表示する

2 "ワンタッチ"をタッチし、アイコンが点滅して表示されている間は、触れたままにする

3 メニューが消え [icon] が点灯してから、指を画面から離す

メモ：

- "ワンタッチ"をタッチし続けている時間が短いと(1 秒未満)、設定は変更されません。
- インテリジェントオートモードでは、マニュアルでの設定内容が一時的に無効になります。
- コントロールダイヤル、ADJ ボタンでもホワイトバランスを調整することができます。

"コントロールダイヤルを使って撮影する" (☞ p. 45)

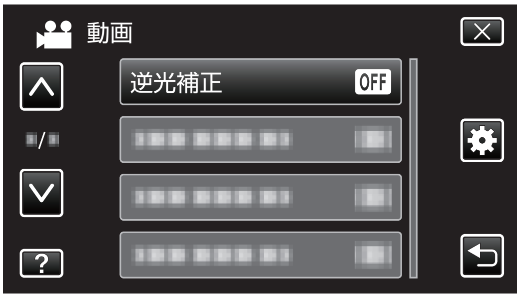
逆光補正を設定する

逆光によって、被写体が暗くなるのを補正します。

1 "MENU"をタッチする



2 "逆光補正"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

3 "入"をタッチする

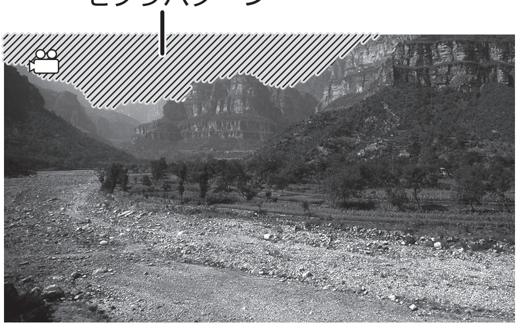


- 設定すると、アイコン が表示されます。

ゼブラパターンを表示する

動画撮影時、指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様（ゼブラパターン）を表示します。

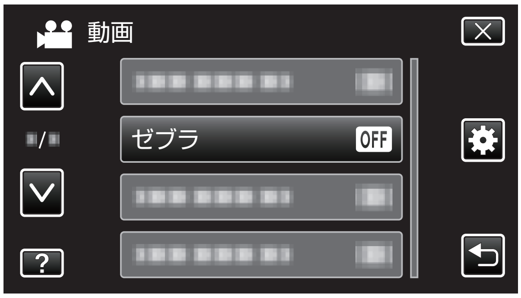
ゼブラパターン



1 "MENU"をタッチする



2 "ゼブラ"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

3 "７０－８０%"または "ＯＶＥＲ１００%"をタッチする



画面表示	設定
切	ゼブラ機能を使いません。
７０－８０%	白とびに近い（明るい）場所を、しま模様で表示します。
ＯＶＥＲ１００%	白とびした（明るすぎる）場所を、しま模様で表示します。

メモ：

- ゼブラパターンを表示しているときは、液晶モニター表示が２Ｄになります。
- HDMI 接続でテレビに３Ｄ出力しているときは、ゼブラパターンはテレビに表示されません。

接写で撮影する

テレマクロ機能を設定すれば、被写体に接近して接写することができます。

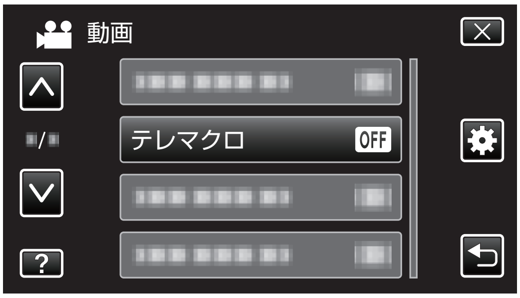


※画像はイメージです。

1 "MENU"をタッチする



2 "テレマクロ"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

3 "入"をタッチする



- 設定すると、アイコン が表示されます。

設定	内容
切	望遠(T)側では約 1 m まで近づけます。 広角(W)側では約 5 cm まで近づけます。
入	望遠(T)側では約 40 cm まで近づけます。 広角(W)側では約 5 cm まで近づけます。

ご注意 :

- 接写しないときは、"テレマクロ"を "切"にしてください。"入"のままだと、画像がぼけることがあります。

USER ボタンを設定する

よく利用するマニュアル調整機能を USER ボタンに設定しておくと、機能の設定画面を早く表示できます。

機能を USER ボタンに設定する

1 "MENU"をタッチする

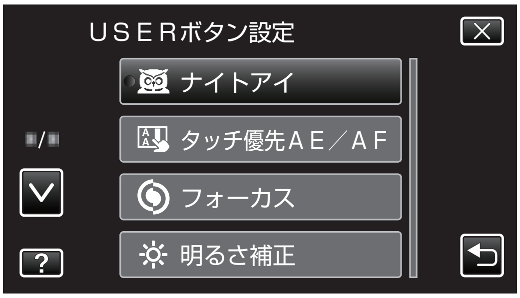


2 "ＵＳＥＲボタン設定"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- ✕ をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

3 設定したい機能を選択する



- 以下の機能から一つだけ選択することができます。
- 動画モードの場合：
  - ナイトアイ
  - タッチ優先ＡＥ／ＡＦ
  - フォーカス
  - 明るさ補正
  - シャッタースピード
  - 絞り優先ＡＥ
  - 逆光補正
  - ホワイトバランス
  - フォーカスアシスト
  - 手ぶれ補正
- 静止画モードの場合：
  - ナイトアイ
  - タッチ優先ＡＥ／ＡＦ
  - フォーカス
  - 明るさ補正
  - シャッタースピード
  - 絞り優先ＡＥ
  - 逆光補正
  - ホワイトバランス
  - フォーカスアシスト
  - セルフタイマー

USER ボタンで調整する

調整は以下の手順で行ってください。

- ON/OFF 切り換えがある機能の場合（ナイトアイ、明るさ補正、シャッタースピード、絞り優先ＡＥ、逆光補正、手ぶれ補正、フォーカスアシストおよびセルフタイマー）

USER ボタンを押すと、機能の ON/OFF が切り換わります。

- フォーカスの場合

USER ボタンを押すと、フォーカスがオートとマニュアルに切り換わります。マニュアルでのピント合わせについては、"手動でピントを合わせる" (☞ p. 36) をご覧ください。

- 選択する設定項目がある機能の場合（タッチ優先ＡＥ／ＡＦ、ホワイトバランス）

1）USER ボタンを押す
2）選択する機能をタッチして設定する

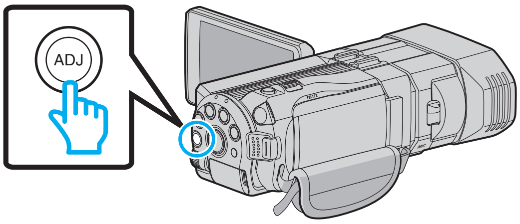
メモ：

- メニュー表示中は、USER ボタンで操作できません。

コントロールダイヤルを使って撮影する

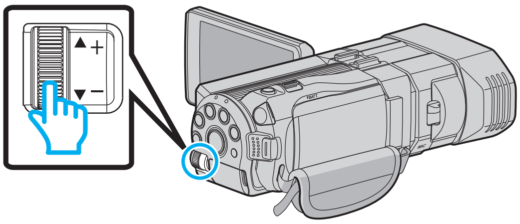
コントロールダイヤルを使って、"フォーカス"・"明るさ補正"・"シャッタースピード"・"絞り優先ＡＥ"・"ホワイトバランス"および "視差調整"の設定が変更できます。

1 ADJ ボタンを約 3 秒間押し、コントロールメニューを表示する



- コントロールダイヤルで調整できる機能のメニュー画面が表示されます。

2 コントロールダイヤルで機能を選ぶ



- 各機能の設定項目や設定値については、下記をご覧ください。

1 明るさ補正
"明るさ補正を設定する" (☞ p. 38)

2 フォーカス
"手動でピントを合わせる" (☞ p. 36)

3 シャッタースピード
"シャッタースピードを設定する" (☞ p. 39)

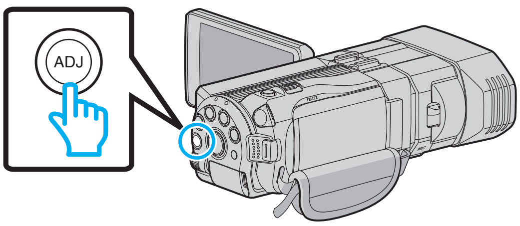
4 絞り優先ＡＥ
"絞りを設定する" (☞ p. 40)

5 ホワイトバランス
"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 41)

6 視差調整
"撮影時の視差調整をする" (☞ p. 32)

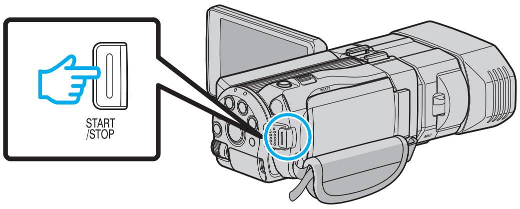
7 クリア
ADJ ボタンで設定した値をすべて「オート」にしたい場合に選んでください。

3 ADJ ボタンを押す



- 選んだ機能の設定画面が表示されます。

4 設定した機能を調整して撮影する



- コントロールダイヤルで設定を変更できます。
- ADJ ボタンを押すことで、設定を "オート"に戻したり、割り当てた機能を呼び出したりできます。
- 違う機能を調整したいときは、ADJ ボタンを約 3 秒間押してください。コントロールメニューが表示されます。手順 2 に戻って、機能を選びなおしてください。

メモ :

- コントロールダイヤルに "明るさ補正"、"フォーカス"、"シャッタースピード"および絞り優先ＡＥを設定すると、常に調整しながら撮影できます。
- コントロールダイヤルで操作可能な機能は一つのみです。操作してる他の機能は固定状態になります。(例:フォーカスの調整中は、明るさ調整とシャッタースピードが固定状態になります。)
- "クリア"を選んだ場合は、ADJ ボタンで設定した値がすべて「オート」になります。
  (コントロールメニューを解除します。)

ご注意 :

- コントロールダイヤルで設定を調整しているときは、画面をタッチしても設定を変更できません。コントロールダイヤルで設定を変更してください。(視差調整をのぞく)
- "３Ｄ動画記録形式"をＭＰ４(ＭＶＣ)に設定しているときに、HDMI に出力しながら撮影を行っている場合は、コントロールメニューが表示されません。

手ぶれを補正して撮影する

手ぶれ補正を設定すると、動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

1 "MENU"をタッチする



2 "手ぶれ補正"をタッチする



3 "通常モード"または "アクティブモード"をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- ✕ をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

画面表示	設定
(切)	手ぶれを補正しません。
(通常モード)	通常の撮影条件で手ぶれを補正します。
(アクティブモード)	明るいシーンを広角側で撮影する場合に、より手ぶれ補正の効果を発揮します。 ※光学ズーム（3D撮影時：～5 倍、2D撮影時：～10 倍）

メモ：

- 三脚などに固定して動きの少ない被写体を撮影したい場合は、"切"にすることをおすすめします。
- 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。
- 動画撮影時のみに効果があります。

USER ボタンに設定した場合について

USER ボタンに "手ぶれ補正"のシュートカットを設定した場合は、ボタンを押すたびに設定が切り換ります。

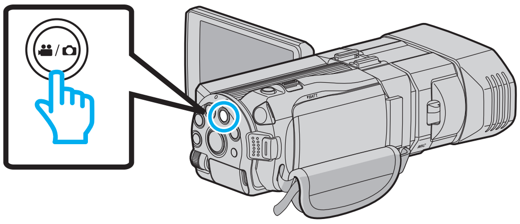
"USER ボタンを設定する" (☞ p. 44)

- "切"→ "通常モード"→ "アクティブモード"→ "切"→
USER ボタンを押すたびに、上記順番で切り換ります。

被写体をきれいに撮影する(タッチ優先ＡＥ／ＡＦ)

"タッチ優先ＡＥ／ＡＦ"はタッチした場所の情報を基にしてピントや明るさを調整する機能です。
この機能は、動画でも、静止画でも設定できます。

1 動画または静止画を選ぶ



- アイコンが動画または静止画になります。

2 "MENU"をタッチする



3 "タッチ優先ＡＥ／ＡＦ"をタッチする

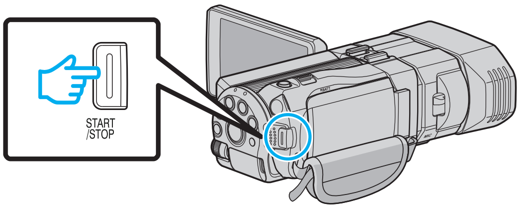


- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

4 設定したい項目をタッチする



5 撮影を開始し、設定したい場所をタッチする



- タッチした場所(顔･色･エリア)を基準にピントや明るさが自動的に調整されます。また、基準となっている被写体(顔･色)に青枠が表示され、基準となっているエリアには白枠が表示されます。
- 再設定したい場合は、設定したい場所(顔･色･エリア)を再度タッチしてください。
- "顔追尾"を解除したい場合は、青枠をタッチしてください。
- "色追尾"を解除したい場合は、青枠をタッチしてください。
- "タッチエリア"を解除したい場合は、白枠をタッチしてください。

設定	内容
切	設定しません。
顔追尾	画面に が表示されます。タッチした顔(被写体)を追尾し、その被写体にピントや明るさを自動的に合わせて撮影します。また、タッチした顔(被写体)には青枠がつきます。
色追尾	画面に COLOR が表示されます。タッチした色(被写体)を追尾し、その被写体にピントや明るさを自動的に合わせて撮影します。また、タッチした色(被写体)には青枠がつきます。
タッチエリア	画面に が表示されます。タッチしたエリア(固定位置)にピントや明るさを自動的に合わせて撮影します。また、タッチしたエリアには白枠がつきます。

メモ :

- "タッチ優先ＡＥ／ＡＦ"が設定されているときは、"フォーカス"が自動的に "オート"に設定されます。
- 被写体を追尾できなくなった場合は、再度被写体をタッチしてください。
- ズーム操作をすると、設定が解除されます。("タッチエリア"設定のみ)
- "色追尾"を設定している場合、似たような色を検出すると、対象の被写体(色)が変更されることがあります。このようなときは、被写体を再度タッチしてください。また、対象の被写体(色)を見失ったとき、画面中心に対象の被写体(色)が一定時間現れると、再追尾できます。
- 液晶モニターの表示を 3D(R) にしているときは、青枠と白枠が表示されません。

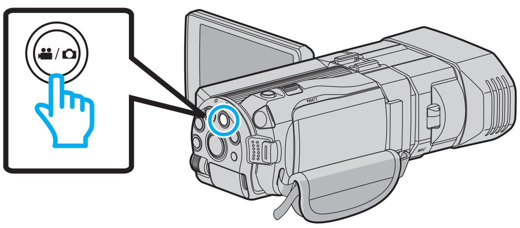
ご注意：

- 液晶モニターの端にいる被写体をタッチした場合、正しく反応（認識）しないことがあります。このようなときは、被写体を中央寄りにしてから、タッチしてください。
- 以下のような場合、"色追尾"が正しく動作しないことがあります。
  - コントラストがない被写体を撮影するとき
  - 高速で動く被写体を撮影するとき
  - 暗い室内などで撮影するとき
  - 周囲の明るさが変わったとき
- "顔追尾"を設定している場合、急速にビデオカメラを縦や横に動かすと被写体を見失うことがあります。再追尾するときは、再度被写体をタッチしてください。

笑顔を自動で撮影する（スマイルショット）

"スマイルショット"は笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影します。

1 静止画を選ぶ

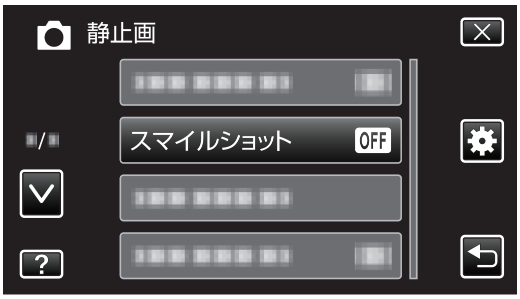


- アイコンが静止画になります。

2 "MENU"をタッチする



3 "スマイルショット"をタッチする



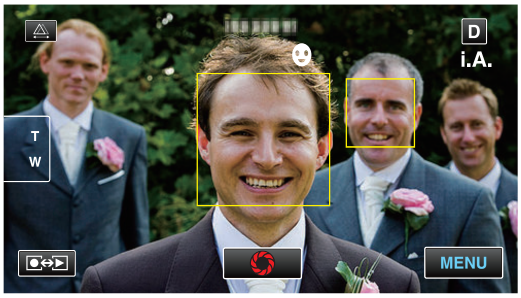
- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

4 "入"をタッチする



5 人物に本機を向ける

- 笑顔を検出すると、静止画が自動的に撮影されます。



- 静止画記録中は、PHOTO が点灯します。
- 撮影前にメニューで "スマイル%"を入に設定すると、顔枠とともにスマイル度（%）を表示できます。

"スマイル%表示を設定する（静止画のみ）" (☞ p. 49)

メモ：

- 人物の顔は最大 16 人まで検出します。スマイル度（%）の表示は、検出した顔の中で、画面内の顔サイズが大きい順に 3 つまで表示します。
- 撮影状況（距離、角度、明るさなど）や被写体の状態（顔の向き、笑顔の度合いなど）によって、正しく動作しないことがあります。また、逆光のときは笑顔の検出が難しくなります。
- 一度笑顔を撮影すると、次の撮影を行うまでに時間かかかります。

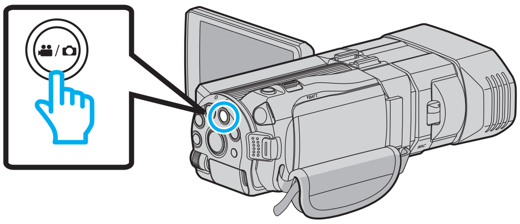
ご注意：

- "タッチ優先ＡＥ／ＡＦ"を "タッチエリア"または "色追尾"に設定しているときは、"スマイルショット"が動作しません。
- 正しい効果が得られない場合は、"スマイルショット"を "切"にしてお使いください。

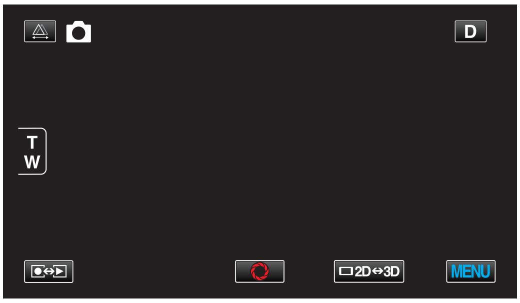
スマイル%表示を設定する（静止画のみ）

"スマイル%"では、人物の顔を検出するときに表示する項目を設定できます。
この項目は "タッチ優先ＡＥ／ＡＦ"を "顔追尾"に設定しているときに表示されます。

1 液晶モニターを開き、静止画を選ぶ



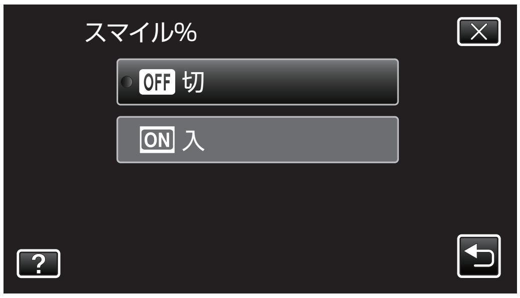
2 "MENU"をタッチする



3 "スマイル%"をタッチする



4 "入"をタッチする



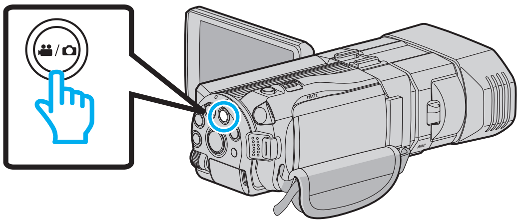
設定	内容
切	顔を検出すると顔枠のみを表示します。
入	顔を検出すると顔枠とスマイル度(%)を表示します。

- 顔枠:検出した顔の周辺に枠が表示されます。
  スマイル度:検出した笑顔について、その度合いを 0 ～100 %の範囲で表示します。

微速度撮影をする（タイムラプス撮影）

一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。
花のつぼみが開く様子を観察するときなどに便利です。

1 液晶モニターを開き、動画を選ぶ

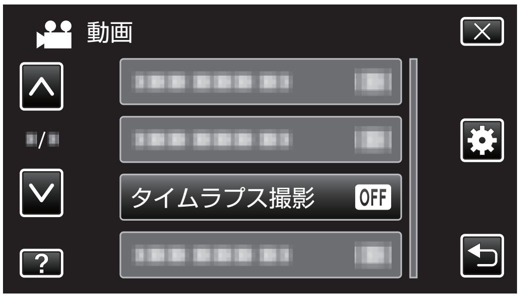


- アイコンが動画モード 🎥 になります。

2 "MENU"をタッチする



3 "タイムラプス撮影"をタッチする



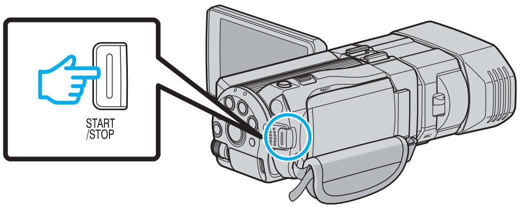
- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

4 撮影間隔（1〜80 秒）を選択してタッチする



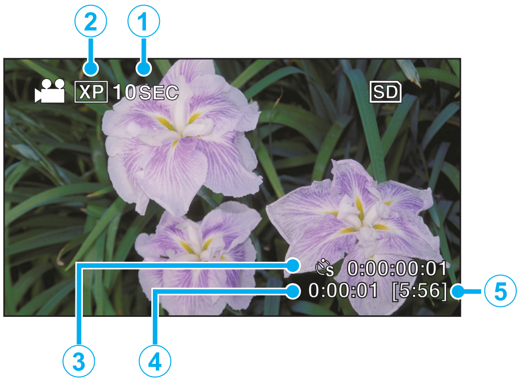
- 間隔秒数が大きいほど撮影間隔が長くなります。
- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

5 撮影を開始する



- 設定した撮影間隔で 1 コマ撮影をします。
- 撮影間隔を "８０秒間隔"に設定しているとき、撮影の合間は省電力状態になります。
  次の撮影時間になると、自動的に省電力を解除し、撮影をします。
- もう一度、START/STOP ボタンを押すと、撮影を停止します。

タイムラプス撮影中の画面表示



	画面表示	説明
①	微速度表示	設定している撮影間隔を表示します。
②	動画画質	動画画質設定で設定されている画質のアイコンを表示します。
③	実記録時間	実際に撮影した動画の記録時間を表示します。記録時間はフレーム単位で増加します。
④	撮影経過時間	撮影を開始してから実際の経過時間を表示します。
⑤	撮影可能時間	設定中の動画画質で録画可能な残り時間です。

タイムラプス撮影の設定内容

間隔秒数が大きいほど撮影間隔が長くなります。

設定	内容
切	タイムラプス撮影をしません。
１秒間隔	1 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。 撮影した動画は 30 倍速で再生されます。
１０秒間隔	10 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。 撮影した動画は 300 倍速で再生されます。
８０秒間隔	80 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。 撮影した動画は 2400 倍速で再生されます。

ご注意 :

- タイムラプス撮影で撮影した動画には、音声が記録されません。
- タイムラプス撮影中は、ズーム操作、写真同時撮影、および手ぶれ補正が使えません。
- 実記録時間の表示が "0:00:00:17"以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。

メモ :

- 電源を切るとタイムラプス撮影の設定がリセットされます。再度タイムプラス撮影をするときは、再設定が必要になります。
- 撮影開始から 99 時間を経過すると、自動的に撮影を停止します。
- 撮影間隔の長いタイムラプス撮影では、三脚および AC アダプターをご使用ください。
  また、フォーカスやホワイトバランスをマニュアルで固定して使うことをおすすめします。

"三脚の取り付けかた" (☞ p. 17)
"手動でピントを合わせる" (☞ p. 36)
"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 41)

記念写真を撮影する(セルフタイマー)

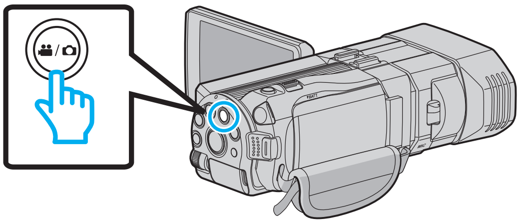
記念写真を撮影するときは、10 秒セルフタイマーや顔検出セルフタイマーを使うと便利です。
また、2 秒セルフタイマーを使えば、シャッターを切るときの手ぶれを防ぐことができます。

メモ :

セルフタイマーを設定したときは、三脚を使って撮影することをおすすめします。
"三脚の取り付けかた" (☞ p. 17)

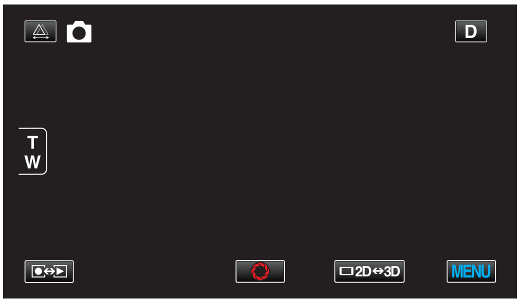
2 秒/10 秒セルフタイマーを使うとき

1 静止画を選ぶ

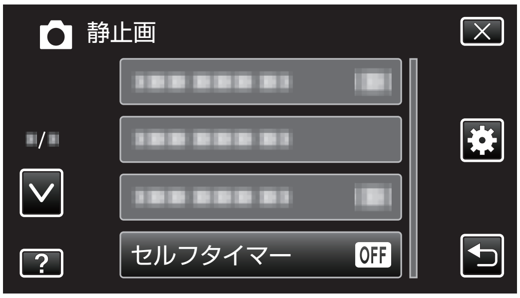


- アイコンが静止画 📷 になります。

2 "MENU"をタッチする



3 "セルフタイマー"をタッチする

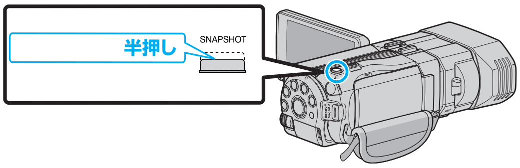


- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- ✕ をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

4 "2秒"または "10秒"をタッチする

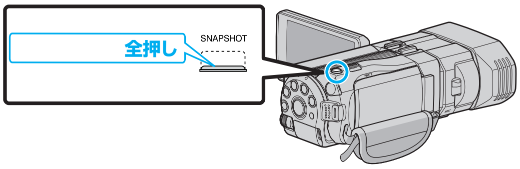


5 被写体にピントを合わせる



- ピントが合うと、ピント合わせアイコンが緑色に点灯します。

6 シャッターを切る

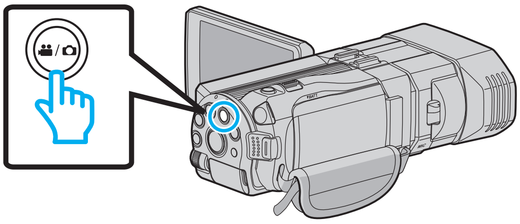


- 撮影までのカウントダウンが表示されます。
- 途中でセルフタイマー撮影を止めるには、もう一度 SNAPSHOT ボタンを押します。

顔検出セルフタイマーを使うとき

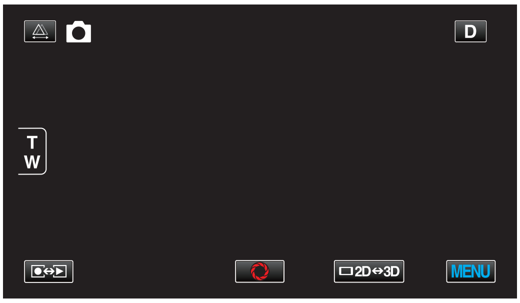
SNAPSHOT ボタンを押すと顔を検出し、画面内に 1 人加わると 3 秒後に撮影します。
撮影する人も一緒に写って撮影できます。

1 静止画を選ぶ

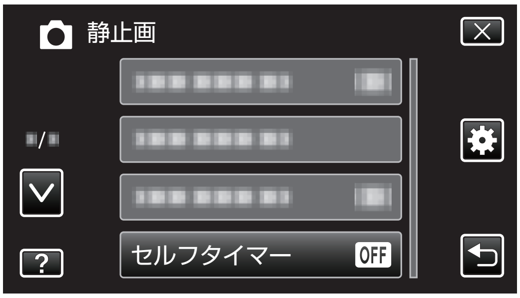


- アイコンが静止画 📷 になります。

2 "MENU"をタッチする



3 "セルフタイマー"をタッチする

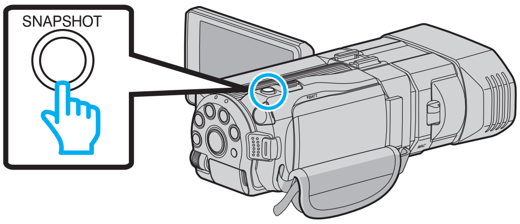


- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。

4 "顔検出"をタッチする



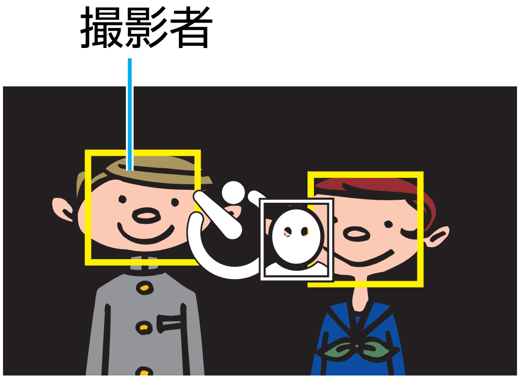
5 撮影する全員が本機側を向いていることを確認してから、SNAPSHOT ボタンを押す





- 人物の顔に枠が付きます。
- SNAPSHOT ボタンをもう一度押すと、10 秒カウントダウンが始まります。

6 撮影者が画面内に入る



- 撮影者を検出すると、顔枠が消えて、カウントダウン数字が拡大表示されます。
- 撮影者が画面内に入って 3 秒後にシャッターが切れます。
- 途中でセルフタイマー撮影を止めるには、もう一度 SNAPSHOT ボタンを押します。

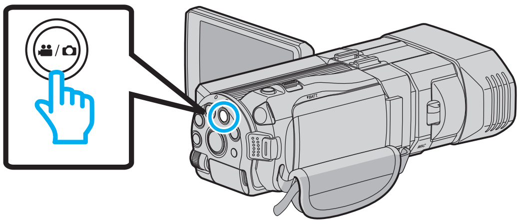
メモ :

- 撮影環境によっては "顔検出"で顔を検出できないことがあります。

残量時間/バッテリー残量

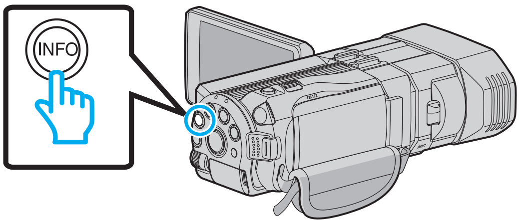
内蔵メモリーや SD カードに記録できる動画の残量時間やバッテリー残量を確認できます。

1 液晶モニターを開き、動画または静止画を選ぶ



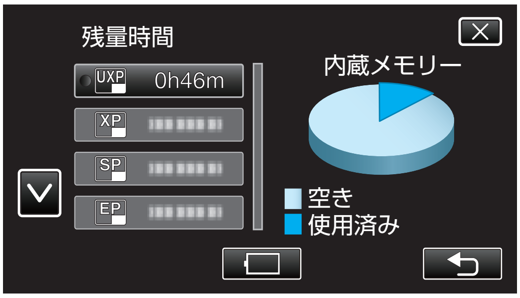
- アイコンが動画 🎥 または静止画 📷 になります。

2 INFO ボタンを押す



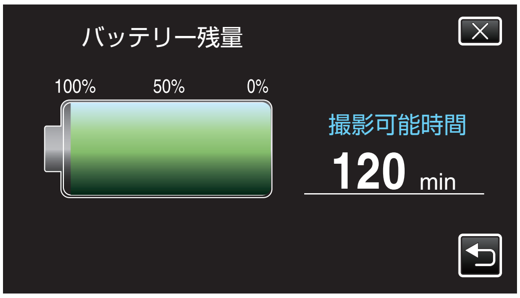
- 静止画を選んでいるときは、手順 4 へ進んでください。

3 残量時間を表示する



- 動画撮影モードのときのみ、残量時間が表示されます。
- INFO ボタンを押すと、残量時間表示する記録メディアが切り換わります。
- ▭ をタッチすると、バッテリー残量が表示されます。
- ⮌ をタッチすると撮影モードに戻ります。
- 表示を終了するには × をタッチします。

4 バッテリー残量を表示する



- ⮌ をタッチすると、動画撮影のときは、残量時間の表示画面に戻ります。静止画撮影の場合は、撮影モードに戻ります。
- INFO ボタンを押すか、× をタッチすると、表示を終了します。
- AC アダプターを接続しているときは、バッテリー残量が表示されません。

メモ :

- 残量時間表示からも動画画質を変更できます。動画画質を選んでタッチしてください。

動画の撮影可能時間の目安

■ 3D モード(ＭＰ４(ＭＶＣ)形式)の場合

画質	内蔵メモリー（**64 GB**）	**SDHC/SDXC** カード					
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
ＴＨＲ	4 時間	10 分	30 分	1 時間	2 時間	3 時間	4 時間 10 分
ＴＳＲ	6 時間 10 分	20 分	40 分	1 時間 30 分	3 時間 10 分	4 時間 40 分	6 時間 20 分

■ 3D モード(ＡＶＣＨＤ形式)の場合

画質	内蔵メモリー（**64 GB**）	**SDHC/SDXC** カード					
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
ＴＸＰ	8 時間 10 分	30 分	1 時間	2 時間	4 時間 10 分	6 時間 10 分	8 時間 20 分
ＴＳＰ	11 時間 40 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 50 分	8 時間 40 分	11 時間 50 分

■ 2D モードの場合

画質	内蔵メモリー（**64 GB**）	**SDHC/SDXC** カード					
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
ＵＸＰ	5 時間 50 分	20 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	4 時間 20 分	5 時間 50 分
ＸＰ	8 時間 10 分	30 分	1 時間	2 時間	4 時間 10 分	6 時間 10 分	8 時間 20 分
ＳＰ	11 時間 40 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 50 分	8 時間 40 分	11 時間 50 分
ＥＰ	29 時間 10 分	1 時間 40 分	3 時間 40 分	7 時間 10 分	14 時間 50 分	21 時間 50 分	29 時間 50 分

- 撮影するシーンによって短くなる場合があります。

静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)

■ 3D モードの場合

画像サイズ	**SDHC** カード				内蔵メモリー（**64 GB**）
	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	
1920X1080(2M)(16:9)	約 1000 枚	約 2200 枚	約 4400 枚	約 4999 枚	約 4999 枚

■ 2D モードの場合

画像サイズ	**SDHC** カード				内蔵メモリー（**64 GB**）
	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	
2304X1296(2.9M)(16:9)	約 2200 枚	約 4600 枚	約 9100 枚	約 9999 枚	約 9999 枚
1920X1080(2M)(16:9)	約 3200 枚	約 6700 枚	約 9999 枚	約 9999 枚	約 9999 枚
1728X1296(2.2M)(4:3)	約 3000 枚	約 6200 枚	約 9999 枚	約 9999 枚	約 9999 枚
640X480(0.3M)(4:3)	約 9999 枚	約 9999 枚	約 9999 枚	約 9999 枚	約 9999 枚

- 内蔵メモリー(2D モード時)、32GB 以上の SD カード(2304X1296(16:9)を除く)には(画像サイズや画質などに関わらず) 9999 枚まで撮影できます。

撮影時間の目安（バッテリー使用時）

■ 液晶モニターが 3D 表示の場合

バッテリー	実撮影時間		連続撮影時間	
	3D 撮影時 ＭＰ４（ＭＶＣ）	3D 撮影時 ＡＶＣＨＤ	3D 撮影時 ＭＰ４（ＭＶＣ）	3D 撮影時 ＡＶＣＨＤ
BN-VF815	55 分	1 時間	1 時間 45 分	2 時間
BN-VF823 （付属品）	1 時間 20 分	1 時間 35 分	2 時間 40 分	3 時間 5 分

■ 液晶モニターが 2D 表示の場合

バッテリー	実撮影時間		
	3D 撮影時 ＭＰ４（ＭＶＣ）	3D 撮影時 ＡＶＣＨＤ	2D 撮影時
BN-VF815	55 分	1 時間 5 分	1 時間 20 分
BN-VF823 （付属品）	1 時間 25 分	1 時間 40 分	1 時間 55 分

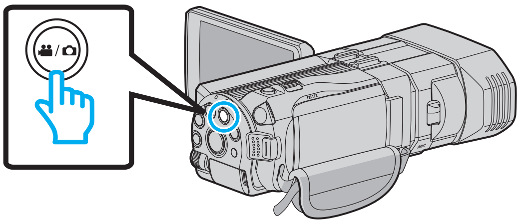
バッテリー	連続撮影時間		
	3D 撮影時 ＭＰ４（ＭＶＣ）	3D 撮影時 ＡＶＣＨＤ	2D 撮影時
BN-VF815	1 時間 50 分	2 時間 10 分	2 時間 35 分
BN-VF823 （付属品）	2 時間 45 分	3 時間 15 分	3 時間 50 分

- "モニター明るさ"が "標準"のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。
  （撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします）
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。（新しいものに交換してください）

動画を再生する

撮影した動画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生できます。

1 動画を選ぶ

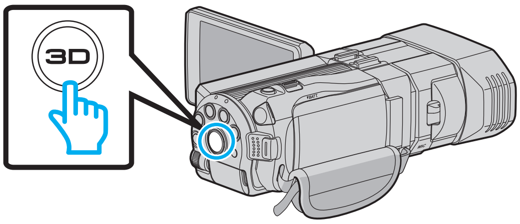


- アイコンが動画モード 🎥 になります。

2 ●↔▶ をタッチして、再生モードにする



3 3D ボタンを押して、3D モードまたは 2D モードを選ぶ



- 3D 撮影モードと 2D 撮影モードで記録した映像は、別々に一覧表示されます。3D ボタンを押して、再生したいモードに切り換えてください。
- 3D モードでは、液晶モニターに "３Ｄ"と表示されます。
- 2D モードでは、液晶モニターに "２Ｄ"と表示されます。

4 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



- ▦/SD をタッチすると再生するメディアが切り換り、一覧表示(サムネイル表示)が変更できます。
- 再生中に ❚❚ をタッチすると、一時停止します。
- 再生中に ▦ をタッチすると、一覧表示に戻ります。

メモ：

- 2D モードで撮影した映像は、3D 映像で視聴できません。
- 3D ボタンが点灯しているときに、3D 映像が視聴できます。
- 3D 撮影モードと 2D 撮影モードで記録した映像は、別々に一覧表示されます。3D ボタンを押して、再生したいモードに切り換えてください。
- 3D 撮影モードで記録した映像は、"ＭＰ４(ＭＶＣ)"形式と "ＡＶＣＨＤ"形式が別々に一覧表示されます。３Ｄ動画記録形式の設定を視聴したい形式に切り換えてください。

"３Ｄ動画記録形式 (3D モードのみ)" (☞ p. 92)

- 3D モードの再生では、映像酔いしそうな画面でストップモーション再生をします。

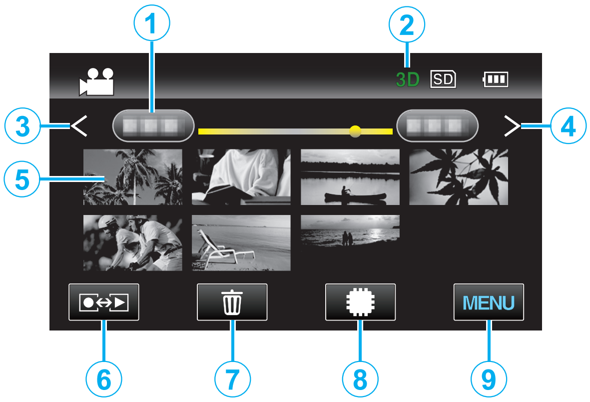
ご注意：

- 3D 映像をご覧になる際は、「3D 映像の撮影や視聴のご注意」もご覧ください。

"3D 映像の撮影や視聴のご注意" (☞ p. 4)

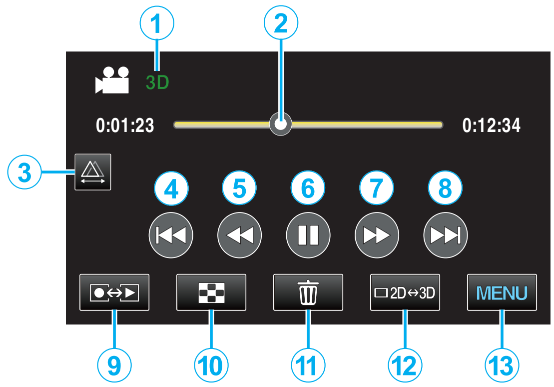
動画再生の操作ボタン

一覧表示中



	画面表示	説明
①	日付	前/次の撮影日に移動します。
②	3D/2D モード表示	3D 再生と 2D 再生で表示が切り換ります。3D 再生時は 3D、2D 再生時は 2D と表示されます。
③	<	前の一覧表示（サムネイル表示）を表示します。
④	>	次の一覧表示（サムネイル表示）を表示します。
⑤	ファイル（映像）	タッチすると、再生を開始します。 右になぞると一覧表示が右にスクロールし、前の一覧表示（サムネイル表示）が表示されます。 左になぞると一覧表示が左にスクロールし、次の一覧表示（サムネイル表示）が表示されます。
⑥	撮影/再生切換 ●↔▶	撮影/再生モードに切り換えます。
⑦	🗑	削除用の一覧表示（サムネイル表示）を表示します。
⑧	/SD	一覧表示が内蔵メモリー/ＳＤカードに切り換わります。
⑨	MENU	メニュー画面を表示します。

動画再生中



	画面表示	説明
①	3D/2D モード表示	3D 再生と 2D 再生で表示が切り換ります。3D 再生時は 3D、2D 再生時は 2D と表示されます。
②	再生位置表示	映像のおおよその再生位置を表示します。
③	△	手動で視差調整をします。
④	⏮	シーンの先頭に戻ります。
⑤	◀◀	早戻し
⑥	▶ / ❚❚	再生/一時停止します。
⑦	▶▶	早送り
⑧	⏭	次の動画に進みます。
⑨	撮影/再生切換 ●↔▶	撮影/再生モードに切り換えます。
⑩	▦	停止（一覧表示に戻ります）
⑪	🗑	削除用の一覧表示（サムネイル表示）を表示します。
⑫	□2D↔3D	3D モードと 2D モードに切り替わります。
⑬	MENU	メニュー画面を表示します。

メモ：

- 操作は、タッチパネルをタッチまたは、なぞることで行います。
- 本機の操作を約５秒間行わないと、タッチパネルの操作ボタンが消えます。タッチパネルの操作ボタンを再表示させるには、画面をタッチしてください。
- タッチパネルの操作ボタンに触れている間は、操作ボタンが表示され続けます。
- 撮影した日付から目的の映像を探せます。

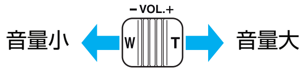
"撮影日から探す" (☞ p. 64)

ご注意：

- 重要な記録内容（データ）はバックアップしてください。重要な記録内容（データ）を DVD や他の記録メディアに保存用としてコピーするのをおすすめします。
  万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。

動画の音量を調節する

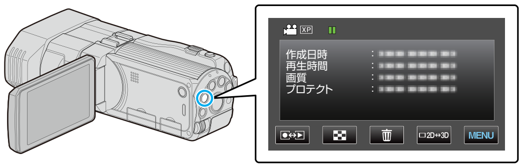
[1] 動画再生中にズームキーを押す



撮影日などの情報を見る

[1] 映像を選択して再生一時停止中に、INFO ボタンを押す

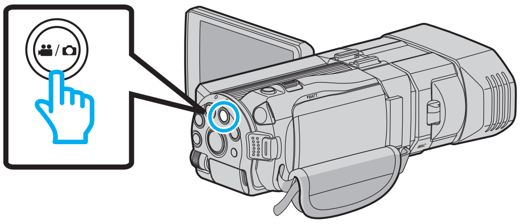
選んだ映像の撮影日や再生時間が表示されます。



管理情報が壊れた動画を再生する

管理情報の壊れた動画ファイルなどを再生します。

1 動画を選ぶ



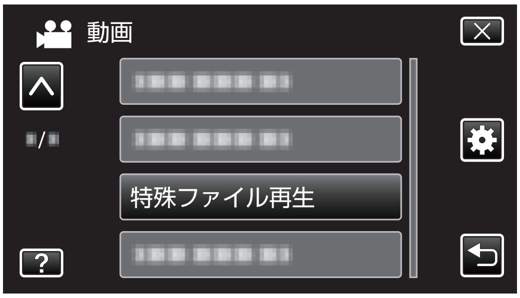
2 [●↔▶] をタッチして、再生モードにする



3 "MENU"をタッチする



4 "特殊ファイル再生"をタッチする



5 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



"動画を再生する" (☞ p. 58)

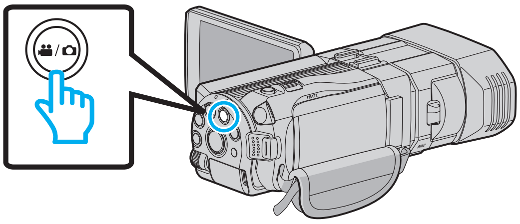
メモ :

- 管理情報が壊れたとき、EXTMOV フォルダーに MTS ファイルが作成されます。
- EXTMOV フォルダーにある 3D のファイルは、インデックス画面に表示されるサムネイルが左右に分かれた画像になりますが、これは不具合ではありません。
- 壊れたファイルの状況によって、再生できない場合やスムースに再生しない場合があります。

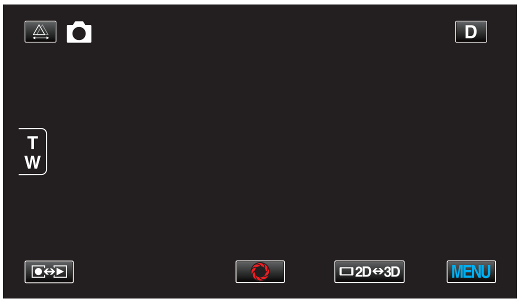
静止画を再生する

撮影した静止画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生できます。
設定しているメディアの内容が一覧表示されます。
" 静止画記録メディア " (☞ p. 111)

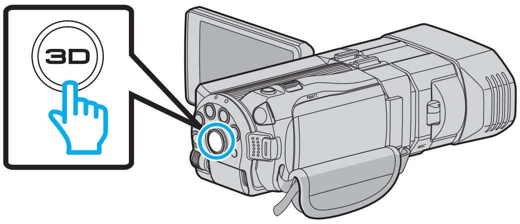
1 静止画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして、再生モードにする

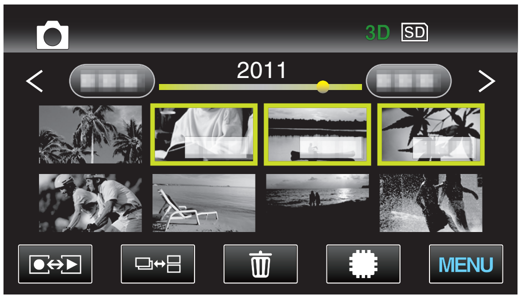


3 3D ボタンを押して、3D モードまたは 2D モードを選ぶ



- 3D 撮影モードと 2D 撮影モードで記録した映像は、別々に一覧表示されます。3D ボタンを押して、再生したいモードに切り換えてください。
- 3D モードでは、液晶モニターに "３Ｄ"と表示されます。
- 2D モードでは、液晶モニターに "２Ｄ"と表示されます。

4 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



- /SD をタッチすると再生するメディアが切り換り、一覧表示(サムネイル表示)が変更できます。
- 再生中に をタッチすると、一覧表示に戻ります。
- ⬚↔⬚ をタッチするとグルーピングされて表示しているサムネイルをすべて表示します。もう一度タッチするとグルーピングします。

メモ :

- 3D モードのときは、3D の画像のみ表示できます。2D モードのときは、2D の画像のみ表示できます。
- 3D ボタンが点灯しているときに、3D 映像が視聴できます。
- 撮影した日付から目的の映像を探せます。
  多くなってきた映像から探すのに便利です。

"撮影日から探す" (☞ p. 64)

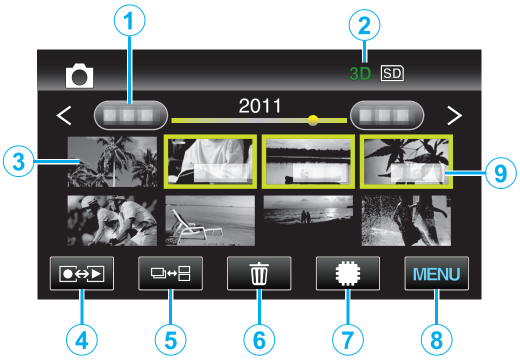
ご注意 :

- 3D 映像をご覧になる際は、「3D 映像の撮影や視聴のご注意」もご覧ください。

"3D 映像の撮影や視聴のご注意" (☞ p. 4)

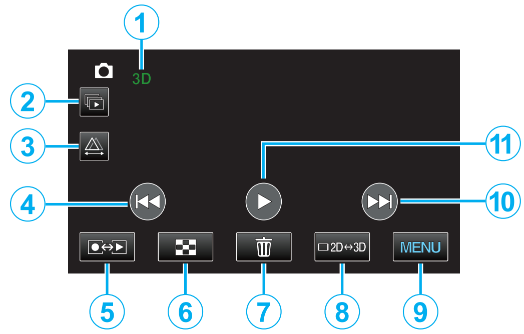
静止画再生の操作ボタン

一覧表示中



	画面表示	説明
①	日付	前/次の撮影日に移動します。
②	3D/2D モード表示	3D 再生と 2D 再生で表示が切り換ります。3D 再生時は 3D、2D 再生時は 2D と表示されます。
③	ファイル(映像)	タッチすると、再生を開始します。 右になぞると一覧表示が右にスクロールし、前の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。 左になぞると一覧表示が左にスクロールし、次の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。
④	撮影/再生切換 ●↔▶	撮影/再生モードに切り換えます。
⑤	▭↔⊟	サムネイル表示がグループ表示と一覧表示に切り替わります。
⑥	🗑	削除用の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。
⑦	▣/SD	一覧表示が内蔵メモリー/ＳＤカードに切り換わります。
⑧	MENU	メニュー画面を表示します。
⑨	撮影日	撮影日(それぞれの日付で最初に撮影した画像のファイルのみが表示されます)

静止画再生中



	画面表示	説明
①	3D/2D モード表示	3D 再生と 2D 再生で表示が切り換ります。3D 再生時は 3D、2D 再生時は 2D と表示されます。
②	⧉	グループ化されたファイル(連写した静止画など)を連続再生します。
③	△	手動で視差調整をします。
④	⏮	前の静止画に戻ります。
⑤	撮影/再生切換 ●↔▶	撮影/再生モードに切り換えます。
⑥	▦	一覧表示に戻ります。
⑦	🗑	削除用の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。
⑧	▭2D↔3D	3D モードと 2D モードに切り替わります。
⑨	MENU	メニュー画面を表示します。
⑩	⏭	次の静止画に進みます。
⑪	▶	スライドショーを開始/一時停止します。 "スライドショーで再生する" (☞ p. 63)

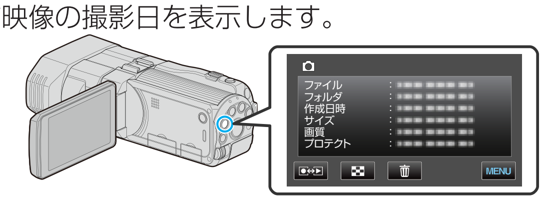
メモ :

- 操作は、タッチパネルをタッチまたは、なぞることで行います。
- 本機の操作を約５秒間行わないと、タッチパネルの操作ボタンが消えます。タッチパネルの操作ボタンを再表示させるには、画面をタッチしてください。
- タッチパネルの操作ボタンに触れている間は、操作ボタンが表示され続けます。

撮影日などの情報を見る

1 INFO ボタンを押す

選んだ映像の撮影日を表示します。



再生時の視差調整をする

３Ｄ映像の再生時に、複数の物体が画面の手前から奥に向かっていくつも並んでいるような風景や至近距離の物体の撮影で、見え方を変えることができます。

- 視差調整は、本体 LCD が 3D 表示または LR MIX 表示のときに調整できます。

1 をタッチする



2 "マニュアル"をタッチする



- 視差調整の画面が表示されます。
- 視差調整を自動調整（デフォルト）にしたい場合は、"オート"をタッチしてください。

3 視差調整をする



- 調整量を増やしたい場合は、"+"をタッチしてください。視差量表示の値が増えます。
- 調整量を減らしたい場合は、"-"をタッチしてください。視差量表示の値が減ります。

4 "決定"をタッチして、確定する



ご注意：

- 視差をつけすぎると、3D に見えない場合があります。
- 視差調整を行っても二重に見える場合には、直ちにテレビの表示を 2D 表示にしてください。また、必要に応じて液晶モニターの表示を 2D 映像にしてご使用ください。

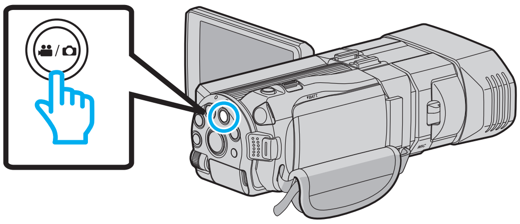
メモ：

- 本機は自動で視差を調整する機能を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、自動での視差調整が正しく動作しないことがあります。
  ・推奨距離範囲外の被写体（特に近距離の被写体）
  ・ビルの窓などの、形状の似たものが並んでいる被写体
  ・電線などのまっすぐな被写体
  このようなときに、マニュアルでの視差調整を行ってください。
- 手動で視差調整をした場合、本機の電源を切る、または撮影モードに切り換えると "視差調整"の設定が "オート"に戻ります。

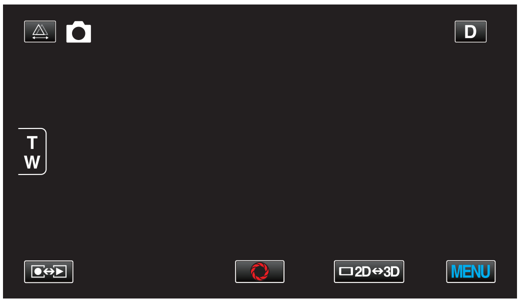
スライドショーで再生する

静止画はスライドショー機能を使って再生できます。

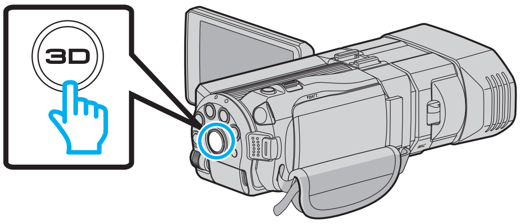
1 静止画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして、再生モードにする

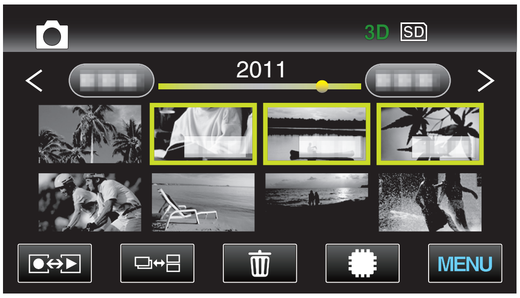


3 3D ボタンを押して、3D モードまたは 2D モードを選ぶ



- 3D 撮影モードと 2D 撮影モードで記録した映像は、別々に一覧表示されます。3D ボタンを押して、再生したいモードに切り換えてください。
- 3D モードでは、液晶モニターに "３Ｄ"と表示されます。
- 2D モードでは、液晶モニターに "２Ｄ"と表示されます。

4 サムネイルをタッチして、▶ をタッチする



"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 61)

目的の映像を探す

撮影した映像が多いと、見たい映像を一覧表示から探すのが大変です。
そんなときは、見たい映像を検索してみましょう。

- 動画/静止画は、"日付検索"(撮影日)の方法で検索できます。

撮影日から探す

撮影日から映像を検索して再生できます。

- "動画記録メディア"、または "静止画記録メディア"で設定しているメディアの内容を検索できます。

1 "MENU"をタッチする



- 動画モード、静止画モードのどちらでも検索することができます。
  ※画面は動画モードです。

2 "日付検索"をタッチする



3 撮影日を選択して、"次へ"をタッチする



- 選択した撮影日を取り消す場合は、その日付を再度タッチしてください。

4 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



- 動画モード時には動画を、静止画モード時には静止画を選ぶことができます。
- 選んだ日に撮影したファイル(映像)のみ表示されます。

選んだ日付の映像を削除するには:

一覧表示(サムネイル表示)で 🗑 をタッチすると、不要な映像を削除できます。
"不要な映像を削除する" (☞ p. 70)

テレビにつないで見る

本機をテレビとつないで見ることができます。見る映像（３Ｄ映像/２Ｄ映像）によって、テレビと最適な方法で接続してください。

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

"３Ｄ映像を見る" (☞ p. 66)
"２Ｄ映像を見る" (☞ p. 67)

テレビの表示が不自然なとき

症状	対処
テレビに正常に表示されない	• ケーブルを抜き差ししてください。 • 本機の電源を入れ直してください。
テレビに縦長に映る	• "共通"メニューの "ビデオ出力"を "４：３"に変更してください。 "ビデオ出力（2D モードのみ）" (☞ p. 115)
テレビに横長に映る	• テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	• "ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ"を "入"にして撮影したときは、テレビ側の「x.v.Color」の設定を「入」にしてください。 "ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ（2D モードのみ）" (☞ p. 95) • テレビ側で画面を調整してください。
HDMI CEC が正常に動作せずに、本機とテレビが連動しない	• HDMI CEC 規格に対応したテレビに接続した場合、テレビの仕様によっては、本機の動作に予期せぬ影響を及ぼすことがあります。すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。"ＨＤＭＩ機器制御"を "切"にしてください。 "ＨＤＭＩ機器制御" (☞ p. 117)
表示言語が変わった	• 違う言語に設定したテレビと HDMI ミニケーブルで接続するときに発生する場合があります。
3D 映像にならない	• "共通"メニューの "ＨＤＭＩ出力"を "一部のテレビ用"に変更してください "ＨＤＭＩ出力" (☞ p. 116)

メモ：

- 3D 映像を長時間視聴すると、疲労感や不快感などの異常を感じることがあります。本機は 3D 映像を視聴しているとき、30 分ごとにメッセージを表示します。メッセージを表示させないようにするには、"３Ｄ注意表示"を "切"に変更してください。

"３Ｄ注意表示（3D モードのみ）" (☞ p. 115)

- 3D 映像を撮影する際、視差は自動で調整されます。近くの被写体が左右にずれて見えてしまうときや遠景で立体感が弱くなる場合、視差を調整することにより、見えかたを変えることができます。

"再生時の視差調整をする" (☞ p. 62)

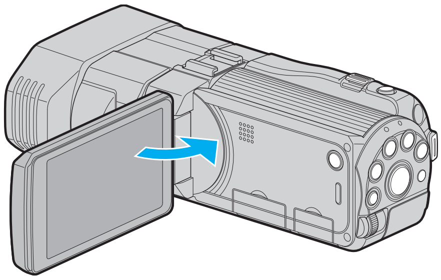
- TV の中央や左右スピーカーの中央で視聴いただくことで、より臨場感のある 3D サウンドがお楽しみいただけます。

３D映像を見る

３D 対応テレビをお使いの場合は、本機の HDMI 端子に接続すると３D で視聴することができます。

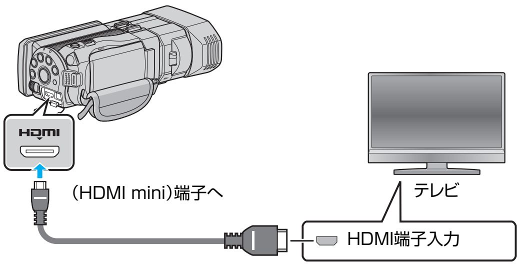
- 付属の HDMI ミニケーブル、または別売の High Speed HDMI ミニケーブルをお使いください。
- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

1 液晶モニターを閉じる

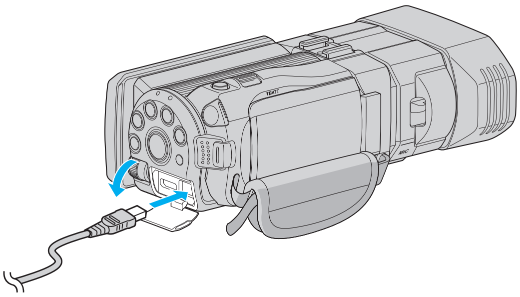


- テレビに接続する前に、液晶モニターを閉じてカメラの電源を切ってください。

2 テレビに接続する



3 本機に AC アダプターをつなぐ



- 液晶モニターを開くと自動で電源が入ります。

4 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える



5 映像を再生する



"動画を再生する" (☞ p. 57)
"静止画を再生する" (☞ p. 60)

ご注意 :

- 3D 映像をご覧になる際は、「3D 映像の撮影や視聴のご注意」もご覧ください。

"3D 映像の撮影や視聴のご注意" (☞ p. 4)

- 3D 映像を視聴中に疲労感や不快感などを感じたら、"共通"メニューの "ＨＤＭＩ出力"を "２Ｄ出力"に変更してください。また、必要に応じてテレビの設定も 2D 表示にしてください。

"ＨＤＭＩ出力" (☞ p. 116)

メモ :

- お使いのテレビの機種によっては、付属の HDMI ミニケーブルで接続したときに、映像や音声が正常に出力されない場合があります。
  このときは、以下の操作をしてください。
  １)HDMI ミニケーブルを抜き差ししてください。
  ２)本機の電源を入れ直してください。
- 正しく 3D に見えない場合は、"ＨＤＭＩ出力"の設定を変更してください。また、お使いのテレビの取扱説明書をあわせてご確認ください。

"ＨＤＭＩ出力" (☞ p. 116)

- 接続するテレビのサイズによって、3D の見え方が異なる場合があります。
- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

テレビとの HDMI 連動機能を使う

本機と HDMI CEC 規格に準拠したリンク連動機能対応テレビを HDMI ケーブルで接続すると、本機とテレビを連動させることができます。

- HDMI CEC（Consumer Electronics Control）は HDMI ケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

メモ :

- すべての HDMI 対応機器が HDMI CEC 規格に対応しているわけではありません。非対応機器を接続した場合、本機の HDMI 機器制御は働きません。
- すべての HDMI CEC 対応機器との動作を保証するものではありません。
- HDMI CEC 対応機器であっても各機器の仕様により搭載機能が異なる場合がありますので、本機との連動機能がすべて働くわけではありません。（お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください）
- 接続機器によっては、意図しない動作をする場合があります。このようなときは、"ＨＤＭＩ機器制御"を "切"にしてください。

" ＨＤＭＩ機器制御 " (☞ p. 117)

準備

- テレビに接続する前に、液晶モニターを閉じてカメラの電源を切ってください。
- HDMI ケーブルで本機とテレビを接続する

"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 68)

- テレビの電源を入れ、HDMI CEC に関する設定を "入"にする（お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください）
- 本機の電源を入れ、"共通"メニューの "ＨＤＭＩ機器制御"を "入"にする

" ＨＤＭＩ機器制御 " (☞ p. 117)

操作方法 1

1 本機の電源を入れる

2 再生モードにする

3 HDMI ケーブルで接続する

- 自動的に、テレビの入力が HDMI 入力に切り換わります。

操作方法 2

1 テレビの電源を切る

- 自動的に、本機の電源が切れます。

メモ :

- 接続したテレビによって、本機の電源を入れると、自動的にテレビで選択した表示言語に換わります。
（本機がテレビで選択した表示言語を対応できるときのみ）
テレビと違う表示言語を使いたいときは、"ＨＤＭＩ機器制御"を "切"にしてください。
- 本機の表示言語を換えても、テレビの表示言語は自動的に換わりません。
- アンプやセレクターなどを接続したときに正常に動作しないことがあります。"ＨＤＭＩ機器制御"を "切"にしてください。
- HDMI CEC が正常に動作しない場合、本機の電源を入れ直してください。

ご注意 :

- ファイルにアクセスしているときは、記録メディアを出したり、電源を消したりしないでください。動作中にバッテリーの残量がなくなったら、データが破損する原因になりますので、必ず付属の AC アダプターを使用してください。記録メディアのデータが壊れた場合、メディアをフォーマットしてください。

２Ｄ映像を見る

テレビの種類や接続するケーブルによって、テレビに映る画質が変わります。お使いのテレビで最適な方法で接続してください。

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

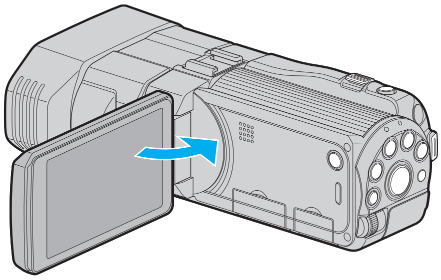
"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 68)
"AV 端子とつないで見る" (☞ p. 69)

HDMI 端子とつないで見る

ハイビジョンテレビをお使い場合は、本機の HDMI 端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

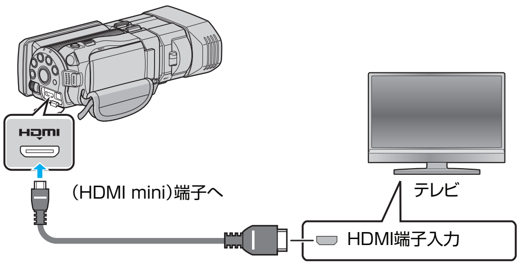
- High Speed HDMI ケーブルをお使いください。
- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

1 液晶モニターを閉じる

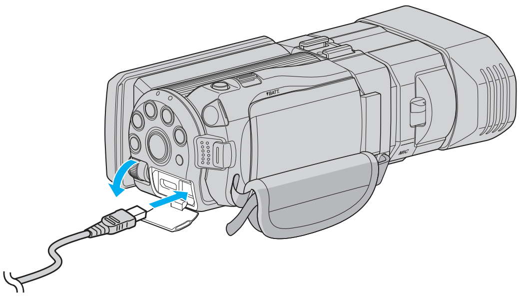


- テレビに接続する前に、液晶モニターを閉じてカメラの電源を切ってください。

2 テレビに接続する



3 本機に AC アダプターをつなぐ



- 液晶モニターを開くと自動で電源が入ります。

4 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える



5 映像を再生する



"動画を再生する" (☞ p. 57)
"静止画を再生する" (☞ p. 60)

メモ :

- 接続に応じて、"ＨＤＭＩ出力"の設定を変更してください。

" ＨＤＭＩ出力 " (☞ p. 116)

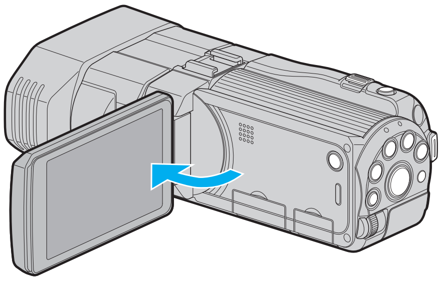
- お使いのテレビの機種によっては、HDMI ミニケーブルで接続したときに、映像や音声が正常に出力されない場合があります。
  このときは、以下の操作をしてください。
  1)HDMI ミニケーブルを抜き差ししてください。
  2)本機の電源を入れ直してください。
- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

AV 端子とつないで見る

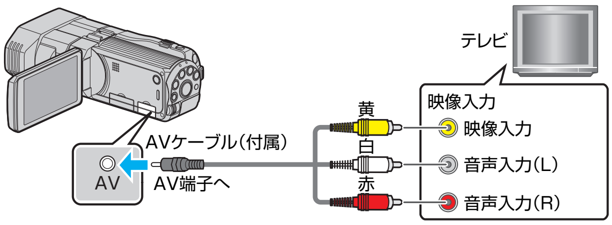
AV 端子に付属の AV ケーブルで接続すると、テレビで再生できます。

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

1 液晶モニターを開き、電源ボタンを 2 秒以上押して、電源を切る



2 テレビに接続する



1 付属のＡＶケーブルでつなぐ
2 本機に AC アダプターをつなぐ

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

3 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える



4 映像を再生する



"動画を再生する" (☞ p. 57)
"静止画を再生する" (☞ p. 60)

メモ :

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

不要な映像を削除する

記録メディアの残量が少なくなってきたら、不要な動画や静止画を削除しましょう。
映像を削除すると、記録メディアの残量を増やすことができます。

"表示(再生)しているファイルを削除する" (☞ p. 70)
"選んで削除する" (☞ p. 71)

メモ :

- 一度削除した映像は、元に戻せません。
- 保護(プロテクト)されている映像は削除できません。
  プロテクトを解除してから、削除してください。

"映像を保護する" (☞ p. 72)

- 重要なファイルは必ずパソコンにバックアップしてください。

ご注意 :

- ファイルにアクセスしているときは、記録メディアを出したり、電源を切ったりしないでください。
- 付属の AC アダプターを使用してください。
- 記録メディアのデータが壊れた場合、メディアをフォーマットしてください。

" ＳＤフォーマット " (☞ p. 120)

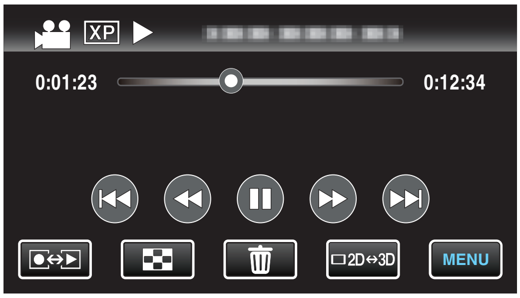
表示(再生)しているファイルを削除する

表示(再生)しているファイルを削除します。

ご注意 :

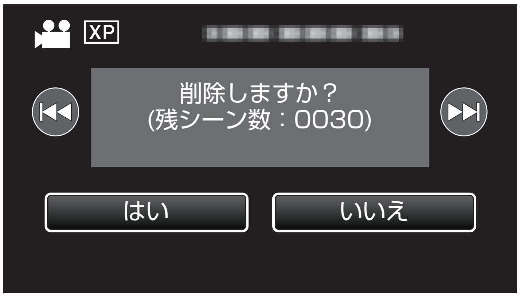
- 一度削除した映像は、元に戻せません。

1 🗑 をタッチする



- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。

2 "はい"をタッチする



- ⏮ / ⏭ をタッチすると、前後のファイルが選べます。
- 全てのファイルが削除されると、一覧表示の画面に戻ります。

メモ :

- 保護(プロテクト)されている映像は削除できません。
  プロテクトを解除してから、削除してください。

"映像を保護する" (☞ p. 72)

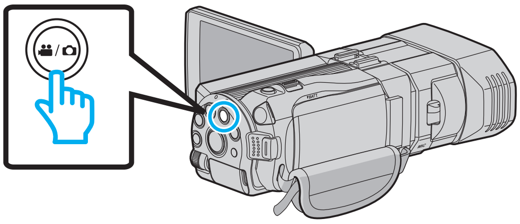
選んで削除する

削除する映像を選んで、まとめて削除します。

ご注意：

- 一度削除した映像は、元に戻せません。

1 動画または静止画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして、再生モードにする



- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。

3 🗑 をタッチする



4 削除したいファイル（映像）をタッチする



- タッチしたファイルに ✓ が表示されます。
  ✓ 表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。
- 2 秒以内に連続して撮影された静止画、または連写モードで撮影された静止画はグループ化されます。また、最初に撮影されたファイル（映像）のみ表示され、緑色の枠がつきます。このファイルをタッチすると、グループ化されたファイルの一覧画面が表示されます。削除したいファイルをタッチしてから、"⮌"をタッチしてください。

5 "決定"をタッチする



6 "実行する"をタッチして、削除する



- 削除が終了したら、"ＯＫ"をタッチしてください。
- 削除を取り消したい場合は、"中止"をタッチしてください。

メモ：

- 保護（プロテクト）されている映像は削除できません。
  プロテクトを解除してから、削除してください。

"映像を保護する" (☞ p. 72)

映像を保護する

大切な動画/静止画を誤って削除してしまうことのないように、大事な映像は保護しておきましょう。

"表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する" (☞ p. 72)

"選んで保護する/選んで保護を解除する" (☞ p. 73)

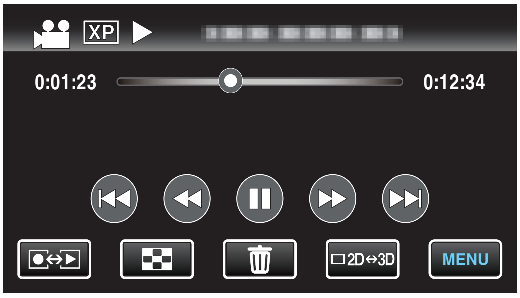
ご注意：

- 記録メディアをフォーマットをした場合は、保護している映像も削除されてしまいますのでご注意ください。

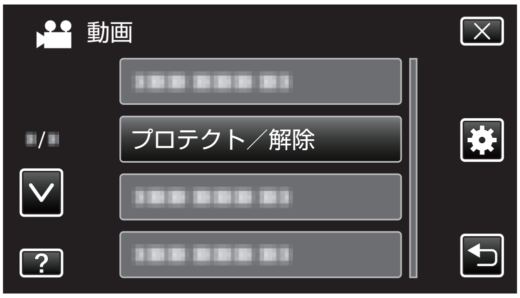
表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する

表示(再生)しているファイルを保護、または保護されているファイルを解除します。

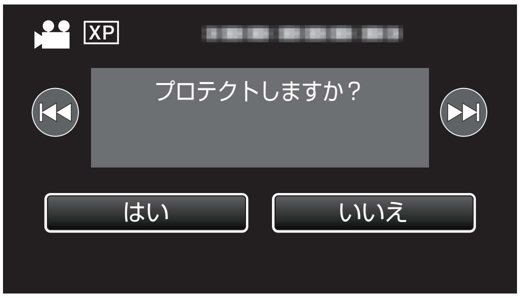
1 "MENU"をタッチする



2 "プロテクト／解除"をタッチする



3 "はい"をタッチする

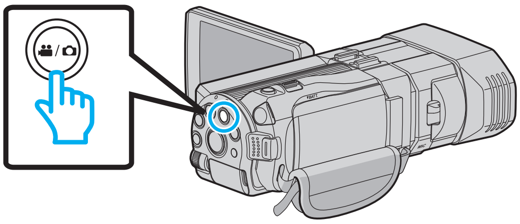


- |◀◀/▶▶| をタッチすると、前後のファイルが選べます。
- 設定が終わったら、"ＯＫ"をタッチしてください。

選んで保護する/選んで保護を解除する

映像を選んでまとめて保護、または解除します。

1 動画または静止画を選ぶ



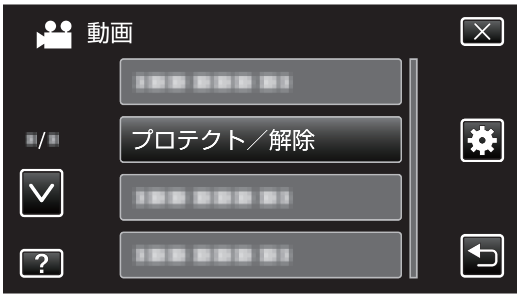
2 ●↔▶ をタッチして、再生モードにする



3 "MENU"をタッチする



4 "プロテクト／解除"をタッチする



5 保護したい、または保護を解除したいファイル（映像）をタッチする



- 既に保護されているファイルは と ✓ が表示されます。
  保護を解除するには、解除したいファイルをタッチし、✓ を消してください。
- タッチしたファイルに ✓ が表示されます。
  ✓ 表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。
- 2 秒以内に連続して撮影された静止画、または連写モードで撮影された静止画はグループ化されます。また、最初に撮影されたファイル（映像）のみ表示され、緑色の枠がつきます。このファイルをタッチすると、グループ化されたファイルの一覧画面が表示されます。保護したい、または保護を解除したいファイルをタッチしてから、"⮌"をタッチしてください。

6 "決定"をタッチする

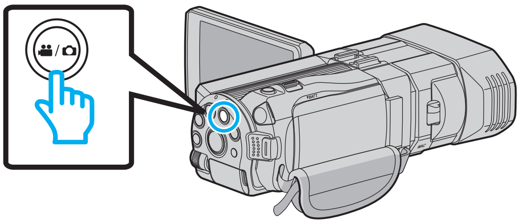


- 選択したファイルに、保護を意味する が表示されます。
  保護を解除したファイルからは、 の表示が消えます。

再生中の動画を静止画にする

撮影した動画のお気に入りの場面を静止画に切り出して保存できます。

1 動画を選ぶ



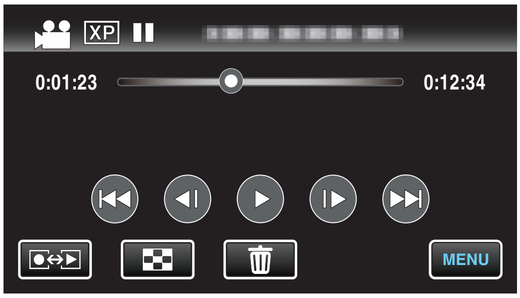
2 ●↔▶ をタッチして、再生モードにする



3 動画を選択してタッチする

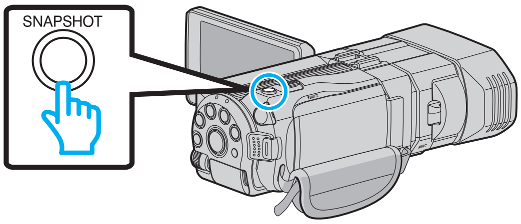


4 お望みの場面で一時停止 ❚❚ をタッチする



- 一時停止したあとに、操作ボタンのコマ送り ❚▶ とコマ戻し ◀❚ をタッチして、切り出したい場面を微調整できます。

5 SNAPSHOT ボタンを押す



メモ :

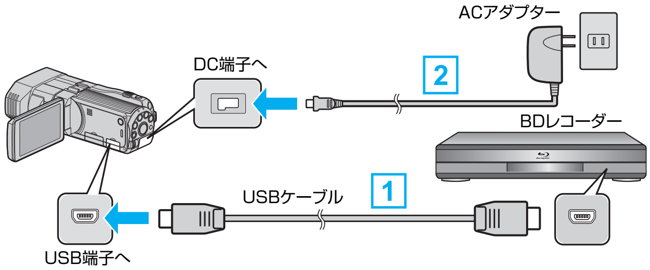
- 切り出した静止画のサイズは、1920×1080 になります。
- 切り出した静止画は、再生している動画と同じメディアに保存されます。
- 3D の動画からは静止画を切り出せません。

ブルーレイレコーダーと接続してディスクを作る

ブルーレイレコーダーと USB ケーブルで接続すると、ブルーレイレコーダーでディスクを作成できます。

1 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

- 電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して、電源を切ってください。

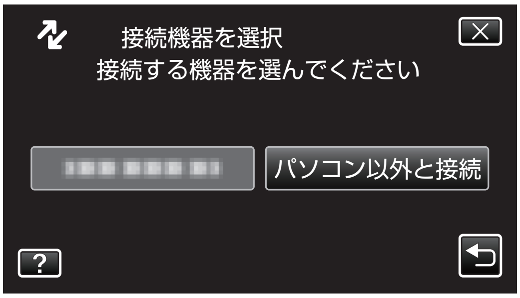


1 付属の USB ケーブルでつなぐ

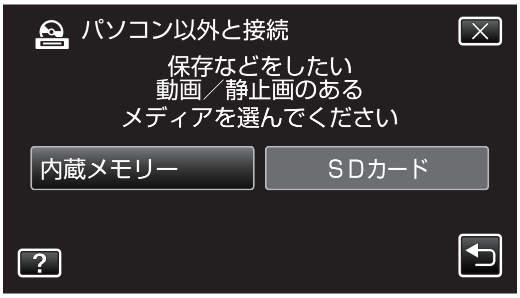
2 本機に AC アダプターをつなぐ

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。
- 付属の AC アダプターを使用してください。
- "接続機器を選択"画面が表示されます。

2 "パソコン以外と接続"をタッチする



3 設定したいメディアをタッチする



4 ブルーレイレコーダー側でダビングする

- ブルーレイレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意 :

- MP4(MVC)の動画は保存できません。

メモ :

- 作成したディスクは AVCHD 対応機器(ブルーレイレコーダーなど)でのみ再生できます。
- 下記のホームページもご覧ください。

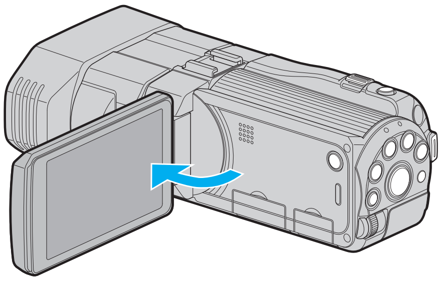
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/

DVD レコーダーにつないでダビングする

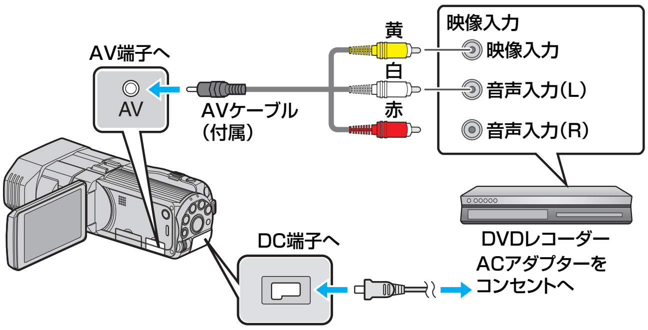
DVD レコーダーに接続して、動画を標準画質でダビングできます。

- テレビや DVD レコーダーの取扱説明書もご覧ください。

1 液晶モニターを開き、電源ボタンを 2 秒以上押して、電源を切る



2 DVD レコーダーに接続する



1 付属のＡＶケーブルでつなぐ
2 本機に AC アダプターをつなぐ

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

3 [●⇔▶] をタッチして、再生モードにする

4 テレビ･DVD レコーダーの録画の準備をする

- 対応する外部入力に切り換えます。
- DVD レコーダーにディスク（DVD-R など）を入れます。

5 本機の再生の準備をする

- "共通"メニューの "ビデオ出力"を接続するテレビの画面比（"４：３"または "１６：９"）に合わせます。

"ビデオ出力（2D モードのみ）" (☞ p. 115)

6 録画を開始する

- 本機で動画を再生し、DVD レコーダーの録画ボタンを押してください。

"動画を再生する" (☞ p. 57)

- 再生が終わったら、DVD レコーダーの録画を停止してください。

ご注意 :

- 3D の動画はダビングできません。

ビデオデッキで VHS テープにダビングする

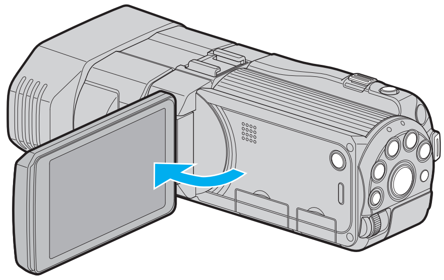
ビデオデッキに接続して、動画を標準画質でダビングできます。

- テレビやビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。

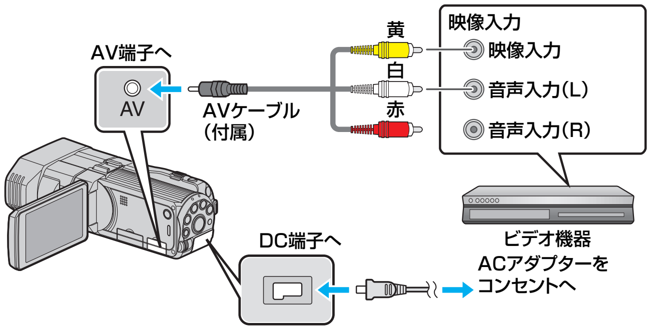
ご注意 :

- 3D 映像は VHS テープに保存できません。3D で記録した映像は 2D 映像で保存されます。

1 液晶モニターを開き、電源ボタンを 2 秒以上押して、電源を切る



2 ビデオ機器に接続する



1 付属のＡＶケーブルでつなぐ
2 本機に AC アダプターをつなぐ

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

3 [●⇔▶] をタッチして、再生モードにする

4 テレビ･ビデオ機器の録画の準備をする

- 対応する外部入力に切り換えます。
- ビデオデッキにビデオテープを入れます。

5 本機の再生の準備をする

- "共通"メニューの "ビデオ出力"を接続するテレビの画面比（"４：３"または "１６：９"）に合わせます。

"ビデオ出力（2D モードのみ）" (☞ p. 115)

6 録画を開始する

- 本機で動画を再生し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。

"動画を再生する" (☞ p. 57)

- 再生が終わったら、ビデオ機器の録画を停止してください。

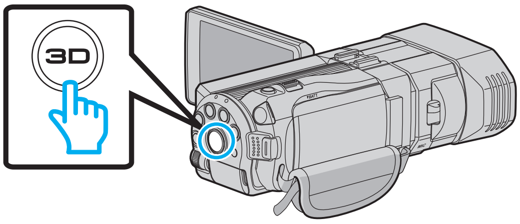
映像ファイルを SD カードにコピーする

動画や静止画は、内蔵メモリーから SD カードにコピーすることができます。
お店でプリント(現像)するときは、静止画を SD カードにコピーしておくと便利です。

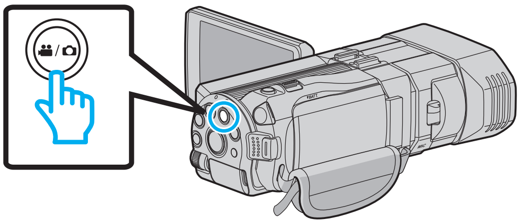
ご注意 :

- コピーする前に、SD カードに十分な空き容量があることを確認してください。
- 動画や静止画は、ＳＤカードから内蔵メモリーにコピーできません。

1 3D モードまたは 2D モードを選ぶ



2 動画または静止画を選ぶ



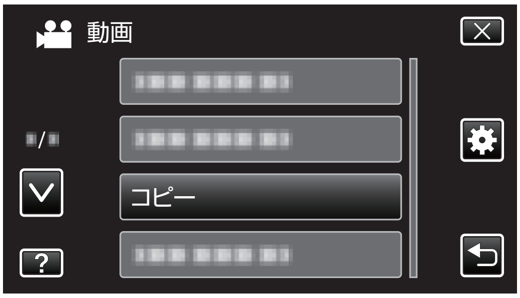
3 ●⇔▶ をタッチして、再生モードにする



4 "MENU"をタッチする



5 "コピー"をタッチする



6 コピーしたいファイル(映像)をタッチする

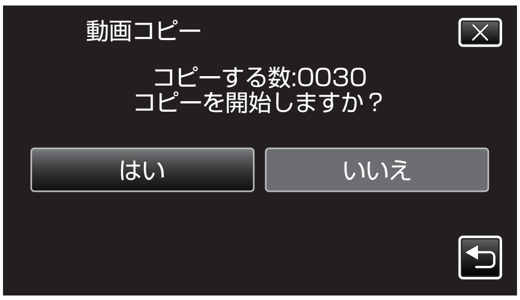


- タッチしたファイルに ✓ が表示されます。
  ✓ 表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。
- どのファイルも選択されていないと、"決定"を選択できません。

7 "決定"をタッチする



8 "はい"をタッチする



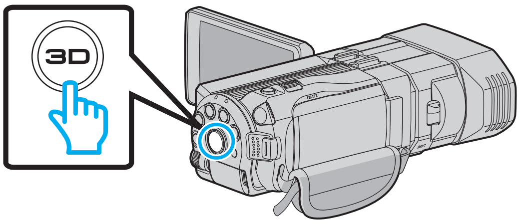
- コピーが始まります。
- 保存が完了したら、"ＯＫ"をタッチしてください。

映像ファイルを SD カードに移動する

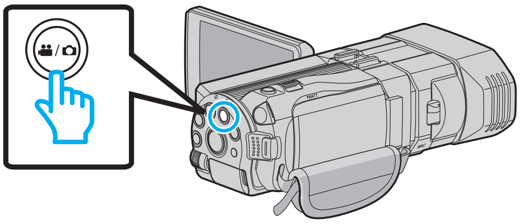
動画や静止画は、内蔵メモリーから SD カードに移動できます。
移動した映像は、内蔵メモリーから削除されます。
お店でプリント（現像）するときは、静止画を SD カードに移動すると便利です。

ご注意：
- 移動する前に、SD カードに十分な空き容量があることを確認してください。
- 動画や静止画は、ＳＤカードから内蔵メモリーに移動できません。

1 3D モードまたは 2D モードを選ぶ



2 動画または静止画を選ぶ



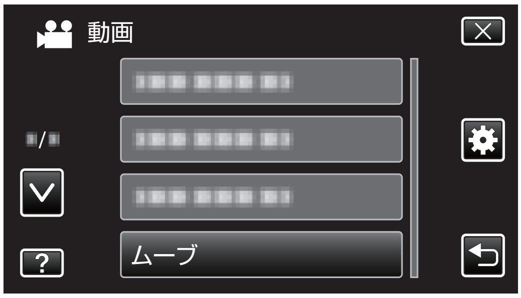
3 ●↔▶ をタッチして、再生モードにする



4 "MENU"をタッチする



5 "ムーブ"をタッチする



6 移動したいファイル（映像）をタッチする

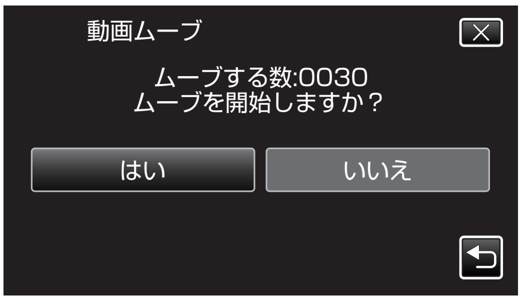


- タッチしたファイルに ✓ が表示されます。
  ✓ 表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。
- どのファイルも選択されていないと、"決定"を選択できません。

7 "決定"をタッチする



8 "はい"をタッチする

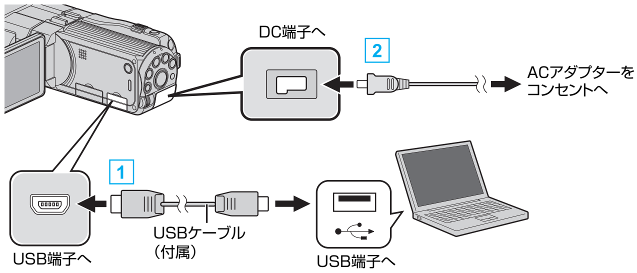


- 映像の移動が始まります。
- 移動が完了したら、"ＯＫ"をタッチしてください。

コンピューターに保存する

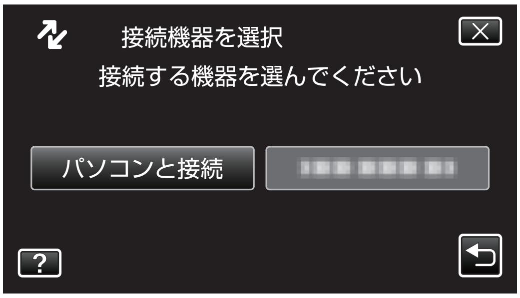
本機とコンピューターを USB ケーブルで接続することで、内蔵メモリーと SD カードのファイルを読み出したり、コピーすることができます。

1 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

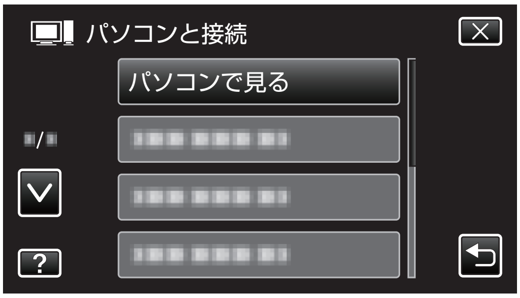


1 付属の USB ケーブルでつなぐ
2 本機に AC アダプターをつなぐ
- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。
- 付属の AC アダプターを使用してください。
- "接続機器を選択"メニューが表示されます。

2 "パソコンと接続"をタッチする



3 "パソコンで見る"をタッチする



- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⮌ をタッチすると、前画面に戻ります。
- 以降の手順は、コンピューターで操作してください。

4 Windows の場合
"スタート"メニューから "コンピューター"(Windows Vista)/ "マイコンピューター"(Windows XP)/ "コンピュータ"(Windows 7)を選んで、"JVCCAM_MEM"または "JVCCAM_SD"アイコンをクリックする
Mac の場合
"名称未設定" アイコンをダブルクリックし、"JVCCAM_MEM" または "JVCCAM_SD" アイコンをクリックする

- 保存したいファイルがあるフォルダを開きます。

"ファイルとフォルダの一覧について" (☞ p. 80)

5 コンピューターの任意のフォルダにファイルをコピーする(デスクトップなど)

メモ：

- ファイルを編集･鑑賞するには、AVCHD(動画)／MP4(動画)／MPO(3D 静止画)／JPEG(2D 静止画)に対応したソフトウェアを使用してください。
- 上記のコンピューターでの操作は、システムによって異なることがあります。

本機をコンピューターから取りはずす（Windows の場合）

1 "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする



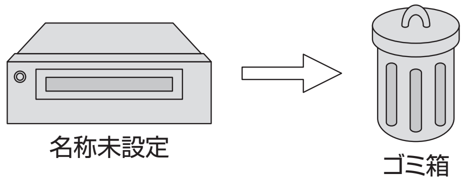
2 "USB 大容量記憶装置～"をクリックする

3 （Windows Vista の場合）"OK"をクリックする

4 USB ケーブルをコンピューターから取りはずし、本機の画面を閉じる

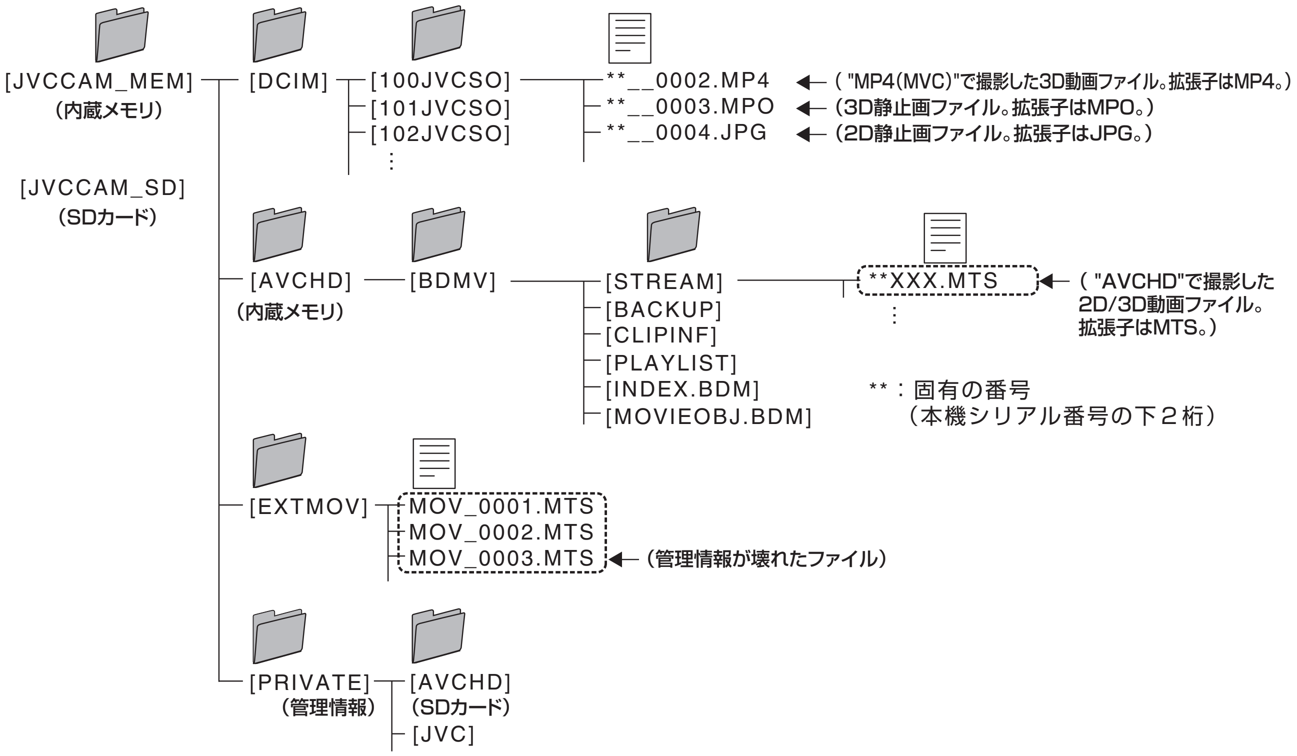
本機をコンピューターから取りはずす（Mac の場合）

"名称未設定" アイコンをゴミ箱に捨てる



ファイルとフォルダの一覧について

内蔵メモリー、または SD カードには、フォルダとファイルが次のように作成されています。
フォルダとファイルは必要になったときに作成されます。



ご注意：

- フォルダやファイルの削除・移動・名前の変更などをコンピューターで行うと、本機で再生できなくなります。

付属ソフトをインストールする

パソコンの性能(目安)を確かめる

■ 動作環境

	Windows	Mac
CPU	Intel Pentium 4 以上	―
RAM	1 GB 以上(2 GB 以上を推奨)	2 GB 以上
OS	● Microsoft Windows XP Service Pack 3 - Professional (32 ビット) ● Microsoft Windows Vista Service Pack 2 - Business (32 ビット/64 ビット) - Ultimate (64 ビット) ● Microsoft Windows 7 Service Pack 1 - Home Premium (32 ビット/64 ビット) - Professional (32 ビット/64 ビット) - Ultimate (64 ビット) 上記各 OS の日本語版 ※本ソフトウェアのインストールには管理者権限(Administrator)でログインしている必要があります。 ※仮想 OS 環境内での動作は保証しません。	Mac OS X 10.6.7 以降 ※最新の対応 OS 情報は、(株)ピクセラのホームページをご覧ください。
対応機種	上記 OS がプリインストールされた IBM PC/AT 互換機	Intel 製 CPU 搭載の Mac
HDD	インストールに 20MB 以上の空き容量が必要	インストールに 20MB 以上の空き容量が必要
ディスプレイ	1024x768 ピクセル、16 ビット(High color)以上で表示可能なもの (1280×1024 ピクセル、32 ビット以上、Intel G965(オンボード VGA)以上推奨) Direct 3D 9.0c 以降	解像度 1280x800 以上
光学ドライブ	インストールに CD-ROM ドライブが必要	インストールに CD-ROM ドライブが必要
その他	非圧縮で保存するためには QuickTime 7.6 以降が必要	―

メモ :

- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。
- 上記の動作環境は、すべての動作を保証するものではありません。
- ご利用のコンテンツ数やデータ容量などにより、推奨以上の環境が必要になる場合があります。
- 将来的に機能のアップデートなどがあったときは、推奨以上の環境が必要になる場合があります。

付属ソフトをインストールする

付属ソフトを使うとＭＰ４（ＭＶＣ）で撮影された 3D 映像を、L と R の 2 つの 2D 映像に分離することができます。

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

Windows Vista / Windows 7 の場合

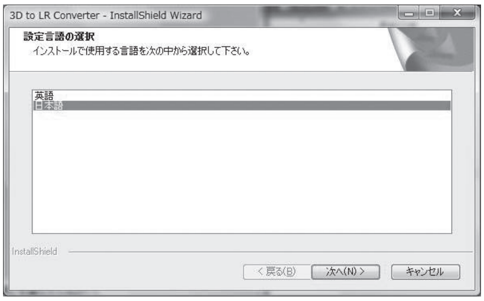
1. 自動再生画面で "INSTALL.EXE の実行"をクリックする。
2. ユーザーアカウント制御画面で "続行"をクリックする。

- しばらくすると "設定言語の選択" 画面が表示されます。
- 表示されないときは、"コンピュータ"のなかの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

Windows XP の場合

- 手順 2 へ進みます。

2 設定言語を選択し、"次へ" をクリックする

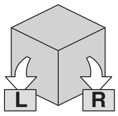


- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

3 "完了"をクリックする



- インストールが完了し、デスクトップにアイコンが表示されます。

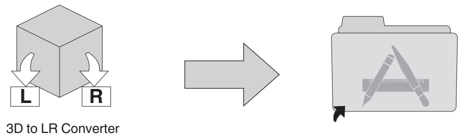


3D to LR Converter

- "3D to LR Converter" の操作方法は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [PIXELA] - [3D to LR Converter] の取扱説明書をご覧ください。

Mac の場合

1. 付属の CD-ROM をパソコンにセットする
2. "3D to LR Converter.dmg" アイコンをダブルクリックする
3. 表示されたウインドウ内の "3D to LR Converter" アイコンを右側にあるアプリケーションフォルダアイコンにドラッグ＆ドロップしてコピーする



- "3D to LR Converter" の操作方法は、[ヘルプ] - [3D to LR Converter ヘルプ] をご覧ください。

付属ソフトの操作などで困ったときは

下記のお問い合わせ先へご相談ください。

- ピクセラユーザーサポートセンター

電話番号	受付時間：月曜日～日曜日　10:00～18:00（年末年始、祝日を除く） 固定電話でご利用の場合：フリーダイヤル ：0120-727-231(無料) 携帯電話でご利用の場合：ナビダイヤル ：0570-064-246（通話料がかかります） フリーダイヤルやナビダイヤルをご利用できない場合 FAX：06-6633-2992　(通信料がかかります) 24 時間受付（回答にお時間をいただく場合があります）
ホームページ	Windows: http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/3d_to_lr_converter/j/win Mac: http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/3d_to_lr_converter/j/mac

メニュー操作のしかた

本機には 2 種類のメニューがあります。

- メインメニュー:
  動画/静止画の撮影、再生に関する項目を表示します。
- メインメニュー(共通メニュー)内の ⚙ メニュー:
  動画/静止画の撮影、再生に関する項目のうち共通する項目を表示します。

メインメニューの操作のしかた

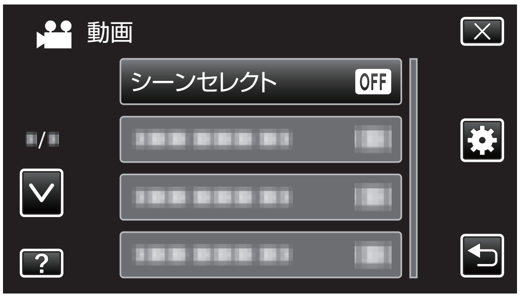
メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 "MENU"をタッチする

- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。



2 設定したいメニューをタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。

3 設定したい設定項目をタッチする



メモ :

- 設定を終了するとき
"✕" (終了)をタッチする
- 一つ前の画面に戻るとき
"⮌"(戻る)をタッチする
- ヘルプを表示するとき
"?"(ヘルプ)をタッチし、項目をタッチする
- ヘルプの表示がない場合があります。

共通メニューの操作のしかた

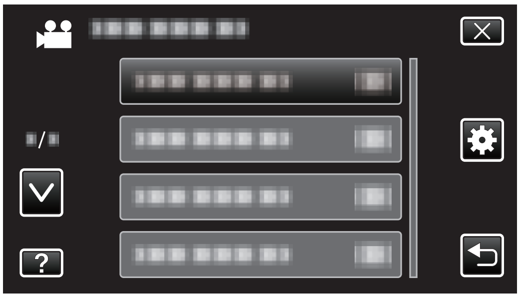
選択しているモードにかかわらず、共通項目を変更することができます。

1 "MENU"をタッチする

- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。



2 "⚙"をタッチする



3 設定したい設定項目をタッチする



- ∧ または ∨ をタッチすると、画面をスクロールできます。

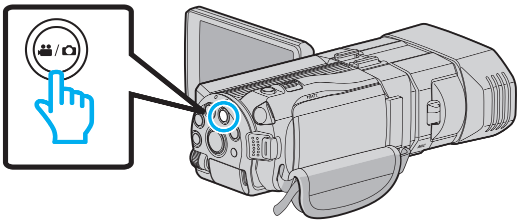
メモ :

- 設定を終了するとき
"✕" (終了)をタッチする
- 一つ前の画面に戻るとき
"⮌"(戻る)をタッチする
- ヘルプを表示するとき
"?"(ヘルプ)をタッチし、項目をタッチする
- ヘルプの表示がない場合があります。

撮影メニュー(動画)

明るさやホワイトバランスなどを、被写体や目的に合わせて調節したり、画質や感度アップなどの設定を変えたりできます。

1 動画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



設定	内容
シーンセレクト	状況に合わせた撮影ができます。 "シーンを選んで撮影する" (☞ p. 35) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
フォーカス	手動でピントを合わせます。 "手動でピントを合わせる" (☞ p. 36) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
フォーカスアシスト	ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。 "フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (☞ p. 37) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
アシストカラー	「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定します。 " アシストカラー " (☞ p. 87) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。

設定	内容
明るさ補正	画面全体の明るさを補正します。 "明るさ補正を設定する" (☞ p. 38) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
シャッタースピード	シャッタースピードを調節できます。 "シャッタースピードを設定する" (☞ p. 39) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
絞り優先ＡＥ	絞り値を調節できます。 "絞りを設定する" (☞ p. 40) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
ホワイトバランス	光源に合わせて、色合いを調節します。 "ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 41) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
逆光補正	逆光で被写体が暗くなるのを補正します。 "逆光補正を設定する" (☞ p. 42) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
ゼブラ	被写体の明るい部分にゼブラ模様を表示するかどうかを選択します。 "ゼブラパターンを表示する" (☞ p. 42) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
テレマクロ	ズームの望遠（T）側のときに接写できるようになります。 "接写で撮影する" (☞ p. 43) ※2D モードでマニュアル撮影時のみ表示されます。
シネマ	映画のような映像表現にします。 " シネマ " (☞ p. 89)
タッチ優先ＡＥ／ＡＦ	人物の顔やタッチしたエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。 "被写体をきれいに撮影する（タッチ優先ＡＥ／ＡＦ）" (☞ p. 47)
手ぶれ補正	動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。 "手ぶれを補正して撮影する" (☞ p. 46)
感度アップ	暗いところで自動的に明るく調節します。 " 感度アップ " (☞ p. 90)
ウィンドカット	風の音を低減します。 " ウィンドカット " (☞ p. 91)
グリッド	被写体の傾きがわかるように格子状の線（グリッド）を表示します。 " グリッド " (☞ p. 91)
タイムラプス撮影	一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間をかけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。 "微速度撮影をする（タイムラプス撮影）" (☞ p. 50)

設定	内容
システムセレクト	映像の記録方式を設定します。 " システムセレクト " (☞ p. 92)
３Ｄ動画記録形式	3D 動画の記録形式を設定します。 "３Ｄ動画記録形式（3D モードのみ）" (☞ p. 92) ※3D モードで撮影時のみ表示されます。
動画画質	撮影する動画の画質を設定します。 " 動画画質 " (☞ p. 93)
ズーム倍率	ズームの最大倍率を設定します。 "ズーム倍率（2D モードのみ）" (☞ p. 94) ※2D モードで撮影時のみ表示されます。
ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ	より忠実に色を記録します。 （再生するときは、x.v.Color 対応テレビをお使いください） "ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ（2D モードのみ）" (☞ p. 95) ※2D モードで撮影時のみ表示されます。
ＵＳＥＲボタン設定	よく使う機能を USER ボタンに割り当てます。 "USER ボタンを設定する" (☞ p. 44)
３Ｄサウンド	内蔵マイクで臨場感のある音で録音したいときに設定します。 "３Ｄサウンド"を "入"に設定して撮影した映像は、視聴時に通常より臨場感のある 3D サウンドがお楽しみいただけます。 " ３Ｄサウンド " (☞ p. 95)
マイクレベル表示	"マイクレベル表示"が赤くならないように調節してください。 " マイクレベル表示 " (☞ p. 96)
マイクレベル設定	マイクレベルを設定できます。 " マイクレベル設定 " (☞ p. 96)
ヘッドホン音量調整	接続するヘッドホンの音量を設定します。 " ヘッドホン音量調整 " (☞ p. 97)

シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。
操作方法はこちら
"シーンを選んで撮影する" (☞ p. 35)

フォーカス

手動でピント合わせできます。
操作方法はこちら
"手動でピントを合わせる" (☞ p. 36)

フォーカスアシスト

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。
操作方法はこちら
"フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (☞ p. 37)

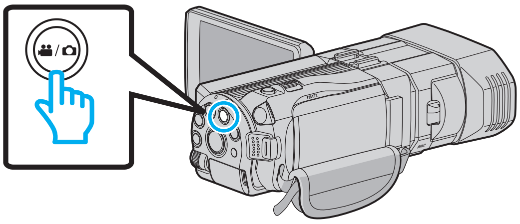
アシストカラー

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定します。

設定	内容
赤	輪郭線の色を赤に設定します。
緑	輪郭線の色を緑に設定します。
青	輪郭線の色を青に設定します。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



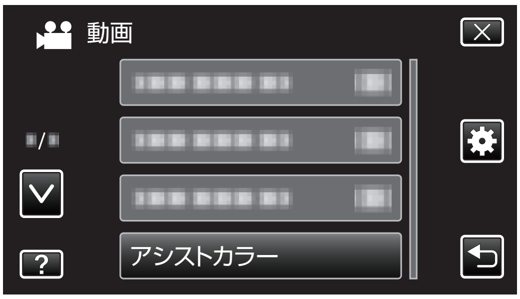
2 をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "アシストカラー"をタッチする



明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。
操作方法はこちら
"明るさ補正を設定する" (☞ p. 38)

シャッタースピード

シャッタースピードを調節できます。
操作方法はこちら
"シャッタースピードを設定する" (☞ p. 39)

絞り優先ＡＥ

絞り値を調節できます。
操作方法はこちら
"絞りを設定する" (☞ p. 40)

ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節できます。
操作方法はこちら
"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 41)

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。
操作方法はこちら
"逆光補正を設定する" (☞ p. 42)

ゼブラ

被写体の明るい部分にゼブラ模様を表示するかどうかを選択します。
操作方法はこちら
"ゼブラパターンを表示する" (☞ p. 42)

テレマクロ（2D モードのみ）

ズームの望遠（T）側のときに接写できるようになります。
操作方法はこちら
"接写で撮影する" (☞ p. 43)

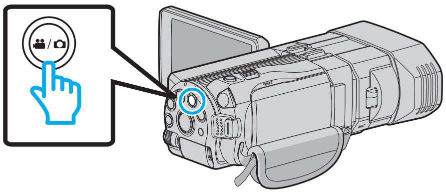
シネマ

映画のような映像表現にします。

設定	内容
切	シネマ効果をつけません。
入	映画のような映像表現にします。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



2 ●⇔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "シネマ" をタッチする



メモ：

- "シネマ" を "入" にして２４ｐ モードで撮影すると､より シネマ効果が得られます。

" システムセレクト " (☞ p. 92)

タッチ優先ＡＥ／ＡＦ

人物の顔やタッチしたエリアに合わせて､フォーカスと明るさが自動的に調節されます。
操作方法はこちら
"被写体をきれいに撮影する(タッチ優先ＡＥ／ＡＦ)" (☞ p. 47)

手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。
操作方法はこちら
"手ぶれを補正して撮影する" (☞ p. 46)

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。

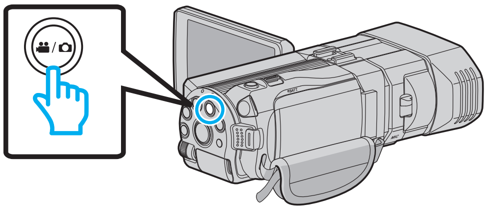
設定	内容
切	調節しません。
入	暗いところで電気的に明るく調節します。
スローシャッター	暗いところで自動的に明るく調節します。

メモ：

- スローシャッターでは入より明るくなりますが、被写体の動きが不自然になることがあります。
- 静止画とは、別に設定できます。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "感度アップ"をタッチする



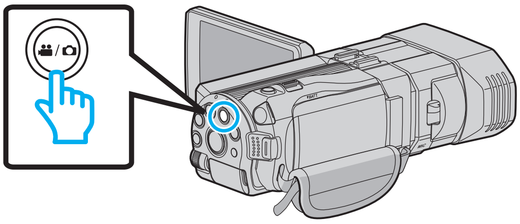
ウィンドカット

風の音を低減します。

設定	内容
切	低減しません。
入	低減します。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "ウィンドカット"をタッチする



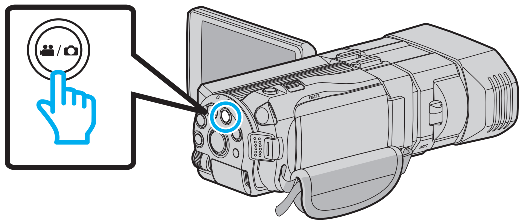
グリッド

被写体の傾きがわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。

設定	内容
切	グリッドを表示しません。
入	グリッドを表示します。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "グリッド"をタッチする



タイムラプス撮影

一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。
花のつぼみが開く様子を観察するときなどに便利です。
操作方法はこちら
"微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (☞ p. 50)

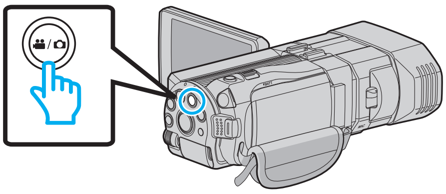
システムセレクト

映像の記録方式を設定します。

設定	内容
６０ｉ	通常撮影時に設定します。
２４ｐ	フィルムカメラで撮影した映画のような映像を記録できます。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



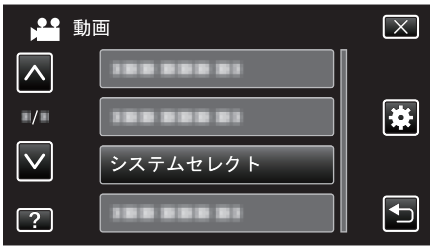
2 [●↔▶] をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "システムセレクト"をタッチする



メモ：

"２４ｐ"モードのときは、次のような制限事項があります。

- 3D 動画の記録形式は、"ＭＰ４（ＭＶＣ）"に固定されます。
- 3D ボタンを押しても 2D モードへの切り替えはできません。
- 静止画モードへの切り替えはできません。
- AV 端子からは "６０ｉ" で出力されます。
- "動画画質"は選択できません。
- 2D モードまたは 3D 動画記録形式が "ＡＶＣＨＤ" のときは、"システムセレクト" の変更はできません。("６０ｉ" に固定されます)

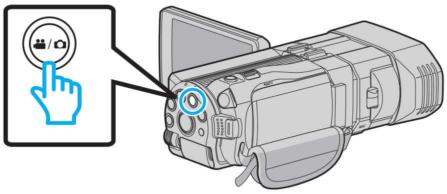
３Ｄ動画記録形式（3D モードのみ）

3D 動画の記録形式を設定します。

設定	内容
ＡＶＣＨＤ	AVCHD 方式で録画します。互換性を優先したいときに設定してださい。
ＭＰ４（ＭＶＣ）	MP4（MVC）形式で録画します。画質を優先したいときに設定してください。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



2 [●↔▶] をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "３Ｄ動画記録形式"をタッチする



動画画質

動画画質を設定します。

■ 3D モード(ＭＰ４(ＭＶＣ)形式)の場合

設定	内容
ＴＨＲ	高画質で撮影できます。
ＴＳＲ	長時間撮影ができます。

■ 3D モード(ＡＶＣＨＤ形式)の場合

設定	内容
ＴＸＰ	高画質で撮影できます。
ＴＳＰ	長時間撮影ができます。

■ 2D モードの場合

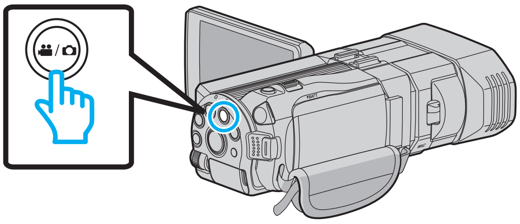
設定	内容
ＵＸＰ	最高画質で撮影できます。 • ブルーレイディスク向けです。ハイビジョン画質では、DVD に保存できません。
ＸＰ	高画質で撮影できます。
ＳＰ	標準画質で撮影できます。
ＥＰ	長時間撮影ができます。

メモ :

- 動作が速いシーンや明るさが変化しやすいシーンを撮影するときは、ノイズを避けるため、3D モード時: "ＴＨＲ"または "ＴＸＰ"、2D モード時: "ＵＸＰ"または "ＸＰ"に設定してください。
- 残量時間表示からも、動画画質を変更できます。動画画質を選んで、タッチしてください。
- "システムセレクト"が２４ｐモードのときは、"動画画質"は選択できません。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



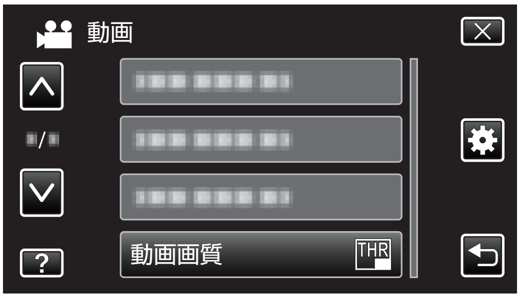
2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "動画画質"をタッチする



ズーム倍率（2D モードのみ）

ズームの最大倍率を設定します。

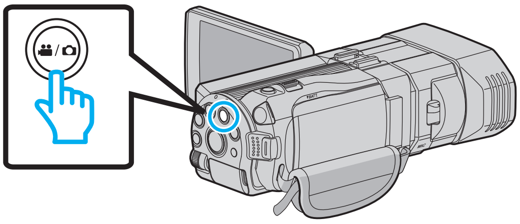
設定	内容
10 倍光学	1～10 倍の光学ズームで撮影できます。デジタルズームを使いたくないときに設定してください。
40 倍デジタル	1～10 倍の光学ズーム、および 11～40 倍のデジタルズームで撮影できます。
200 倍デジタル	1～10 倍の光学ズーム、および 11～200 倍のデジタルズームで撮影できます。

メモ：

- デジタルズームでは映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "ズーム倍率"をタッチする



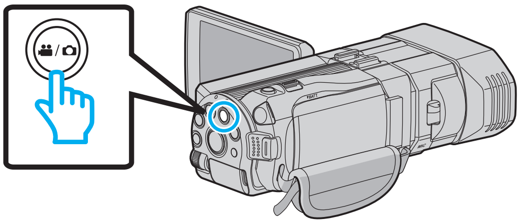
x.v.Color（2D モードのみ）

より忠実に色を記録します。
（再生するときは、x.v.Color 対応テレビをお使いください）

設定	内容
切	テレビ放送と同じ規格で、色を記録します。
入	より忠実に色を記録します。（x.v.Color 対応のテレビ用）

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



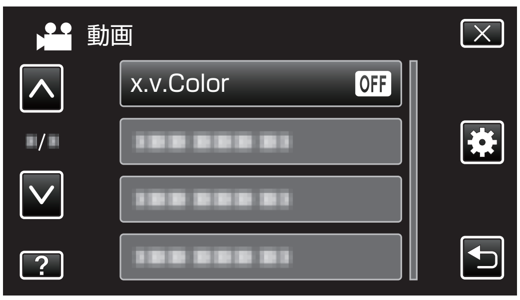
2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "x.v.Color"をタッチする



USERボタン設定

よく使う機能を USER ボタンに割り当てます。
操作方法はこちら
"USER ボタンを設定する" (☞ p. 44)

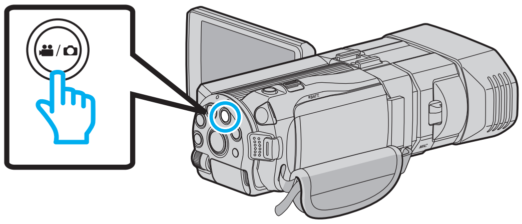
3Dサウンド

内蔵マイクで臨場感のある音で録音したいときに設定します。

設定	内容
切	3D サウンドの効果をかけません。
入	3D サウンドの効果をかけて記録します。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "3Dサウンド"をタッチする



マイクレベル表示

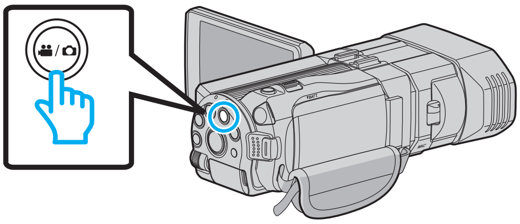
"マイクレベル表示"が赤くならないように調節してください。

設定	内容
切	マイク入力レベル表示をしません。
入	マイク入力レベル表示をします。

ご注意：
- "３Ｄ動画記録形式"をＭＰ４（ＭＶＣ）に設定しているときに、HDMI に出力しながら撮影を行うと、マイク入力レベルは表示されません。（撮影を停止すると表示されます。）

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



2 ●⇔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "マイクレベル表示"をタッチする



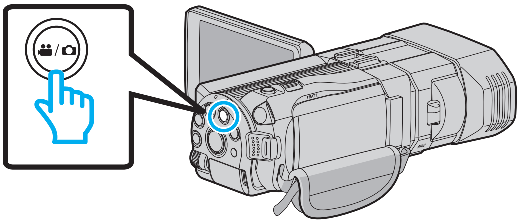
マイクレベル設定

マイクレベルを設定します。
"マイクレベル表示"が赤くならないように調節してください。

設定	内容
＋2	マイクの入力レベルを上げます。
＋1	マイクの入力レベルを少し上げます。
0	マイクの入力レベルを変更しません。
－1	マイクの入力レベルを少し下げます。
－2	マイクの入力レベルを下げます。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ



2 ●⇔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "マイクレベル設定"をタッチする

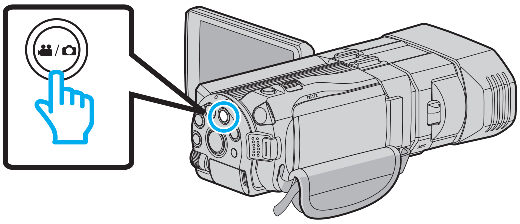


ヘッドホン音量調整

接続するヘッドホンの音量を設定します。

撮影時にヘッドホンの音量を調節するには

1 動画を選ぶ



2 ●⇔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "ヘッドホン音量調整"をタッチする



- 音量調節画面が表示されます

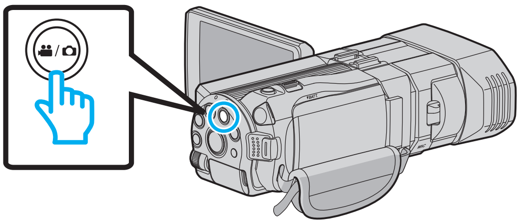
5 ヘッドホンの音量を調整する



- 音量を大きくしたいときは、タッチパネルの "+" をタッチします。
- 音量を小さくしたいときは、タッチパネルの "-" をタッチします。
- × をタッチすると、音量調節画面を閉じます。

再生時にヘッドホンの音量を調節するには

1 動画を選ぶ



2 ●⇔▶ をタッチして、再生モードにする



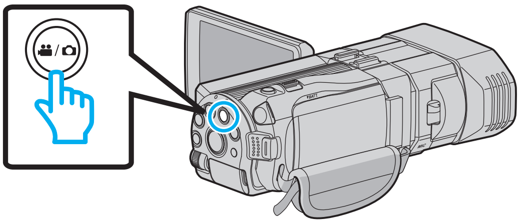
3 ヘッドホンの音量を調整する

- 音量を大きくしたいときは、T 側にズームレバーを倒してください。
- 音量を小さくしたいときは、W 側にズームレバーを倒してください。

撮影メニュー（静止画）

明るさやホワイトバランスなどを、被写体や目的に合わせて調節したり、画質や感度アップなどの設定を変えたりできます。

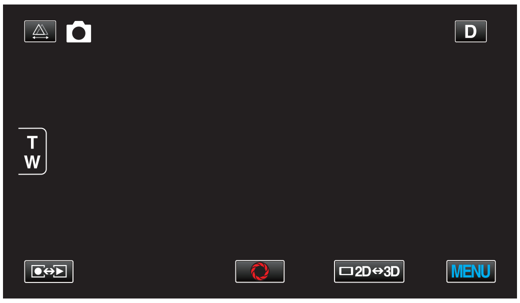
1 静止画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



設定	内容
シーンセレクト	状況に合わせた撮影ができます。 "シーンを選んで撮影する" (☞ p. 35) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
フォーカス	手動でピントを合わせます。 "手動でピントを合わせる" (☞ p. 36) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
フォーカスアシスト	ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。 "フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (☞ p. 37) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
アシストカラー	「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定します。 " アシストカラー " (☞ p. 100) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
明るさ補正	画面全体の明るさを補正します。 "明るさ補正を設定する" (☞ p. 38) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。

設定	内容
シャッタースピード	シャッタースピードを調節できます。 "シャッタースピードを設定する" (☞ p. 39) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
絞り優先ＡＥ	絞り値を調節できます。 "絞りを設定する" (☞ p. 40) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
ホワイトバランス	光源に合わせて、色合いを調節します。 "ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 41) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
逆光補正	逆光で被写体が暗くなるのを補正します。 "逆光補正を設定する" (☞ p. 42) ※マニュアル撮影時のみ表示されます。
テレマクロ	ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。 "接写で撮影する" (☞ p. 43) ※2D モードでマニュアル撮影時のみ表示されます
タッチ優先ＡＥ／ＡＦ	人物の顔やタッチしたエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。 "被写体をきれいに撮影する（タッチ優先ＡＥ／ＡＦ）" (☞ p. 47)
スマイルショット	笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。 "笑顔を自動で撮影する（スマイルショット）" (☞ p. 48)
スマイル%	顔を検出したときに表示する内容を設定します。 "スマイル%表示を設定する（静止画のみ）" (☞ p. 49)
セルフタイマー	記念撮影するときなどに使います。 "記念写真を撮影する（セルフタイマー）" (☞ p. 52)
感度アップ	暗いところで自動的に明るく調節します。 " 感度アップ " (☞ p. 101)
グリッド	被写体の傾きがわかるように格子状の線（グリッド）を表示します。 " グリッド " (☞ p. 102)
シャッターモード	連写を設定できます。 " シャッターモード " (☞ p. 102)
連写スピード	連写の速度を設定します。 " 連写スピード " (☞ p. 103)
静止画サイズ	記録する静止画の大きさ（ピクセル数）を設定します。 " 静止画サイズ " (☞ p. 104) ※2D モードで撮影時のみ表示されます。
ＵＳＥＲボタン設定	よく使う機能を USER ボタンに割り当てます。 "USER ボタンを設定する" (☞ p. 44)

シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。
操作方法はこちら
"シーンを選んで撮影する" (☞ p. 35)

フォーカス

手動でピント合わせできます。
操作方法はこちら
"手動でピントを合わせる" (☞ p. 36)

フォーカスアシスト

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。
操作方法はこちら
"フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (☞ p. 37)

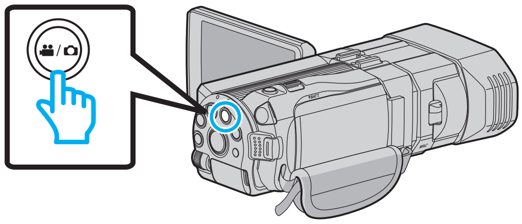
アシストカラー

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定します。

設定	内容
赤	輪郭線の色を赤に設定します。
緑	輪郭線の色を緑に設定します。
青	輪郭線の色を青に設定します。

項目を表示するには

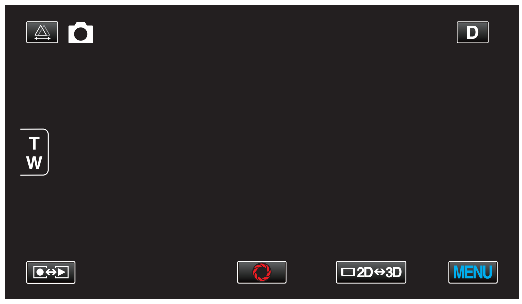
1 静止画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "アシストカラー"をタッチする



明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。
操作方法はこちら
"明るさ補正を設定する" (☞ p. 38)

シャッタースピード

シャッタースピードを調節できます。
操作方法はこちら
"シャッタースピードを設定する" (☞ p. 39)

絞り優先ＡＥ

絞り値を調節できます。
操作方法はこちら
"絞りを設定する" (☞ p. 40)

ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節できます。
操作方法はこちら
"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 41)

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。
操作方法はこちら
"逆光補正を設定する" (☞ p. 42)

テレマクロ（2D モードのみ）

ズームの望遠（T）側のときに接写できるようになります。
操作方法はこちら
"接写で撮影する" (☞ p. 43)

タッチ優先ＡＥ／ＡＦ

人物の顔やタッチしたエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。
操作方法はこちら
"被写体をきれいに撮影する（タッチ優先ＡＥ／ＡＦ）" (☞ p. 47)

スマイルショット

笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。
操作方法はこちら
"笑顔を自動で撮影する（スマイルショット）" (☞ p. 48)

スマイル%

顔を検出したときに表示する内容を設定します。
操作方法はこちら
"スマイル%表示を設定する（静止画のみ）" (☞ p. 49)

セルフタイマー

記念撮影するときに使います。
操作方法はこちら
"記念写真を撮影する（セルフタイマー）" (☞ p. 52)

感度アップ

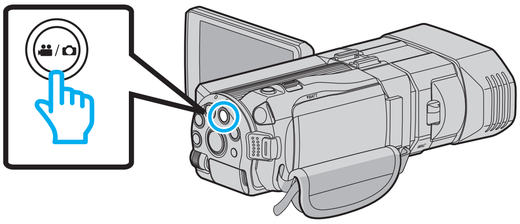
暗いところで自動的に明るく調節します。

設定	内容
切	調節しません。
入	暗いところで電気的に明るく調節します。

メモ：
- 動画とは、別に設定できます。

項目を表示するには

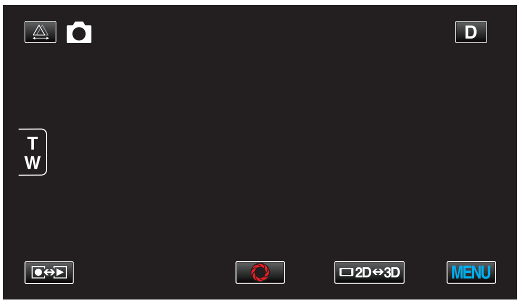
1 静止画を選ぶ



2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "感度アップ"をタッチする



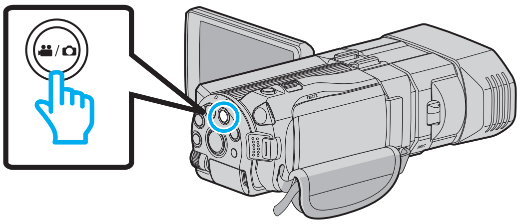
グリッド

被写体の傾きがわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。

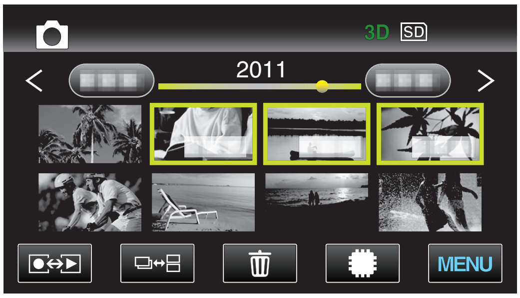
設定	内容
切	グリッドを表示しません。
入	グリッドを表示します。

項目を表示するには

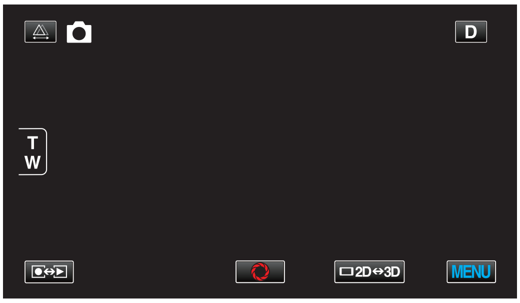
1 静止画を選ぶ



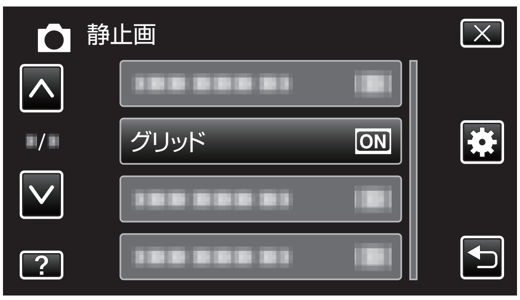
2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "グリッド"をタッチする



シャッターモード

連写を設定できます。

設定	内容
1 枚撮影	連写しません。
連写	SNAPSHOT ボタンを押し続けている間、連写します。

メモ :

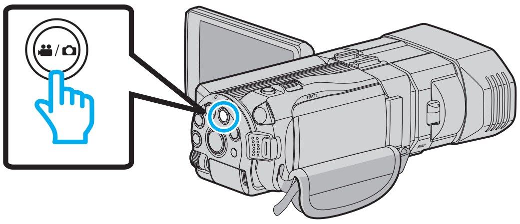
- "共通"メニューの "連写スピード"で連射速度を変更できます。

" 連写スピード " (☞ p. 103)

- SD カードによっては、連写できないことがあります。
- 連写を続けると、連写速度が低下します。

項目を表示するには

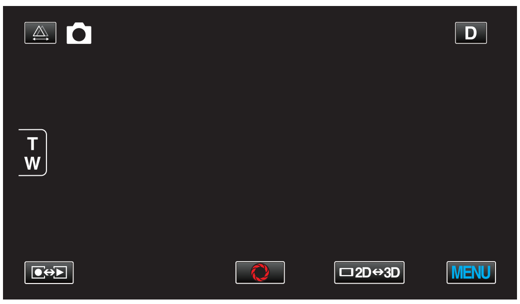
1 静止画を選ぶ



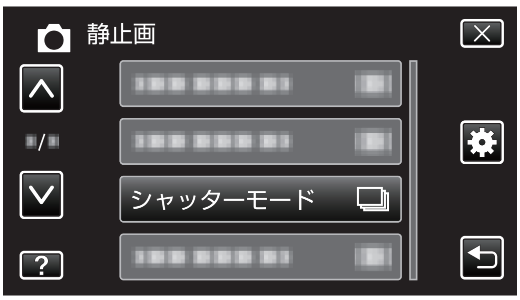
2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "シャッターモード"をタッチする



連写スピード

連写の速度を設定します。

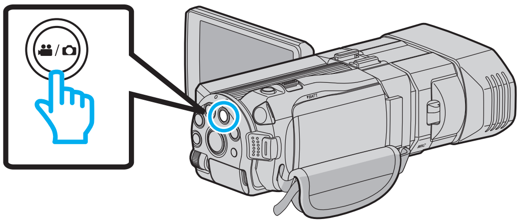
設定	内容
高速	• 3D の静止画撮影のとき、約 12 枚/秒で最大 11 枚の静止画を連写できます。 • 2D の静止画撮影のとき、約 12 枚/秒で最大 40 枚の静止画を連写できます。
低速	記録メディアが一杯になるまで連写できます。

メモ :

- "低速"での連続撮影では、撮影速度が徐々に遅くなります。

項目を表示するには

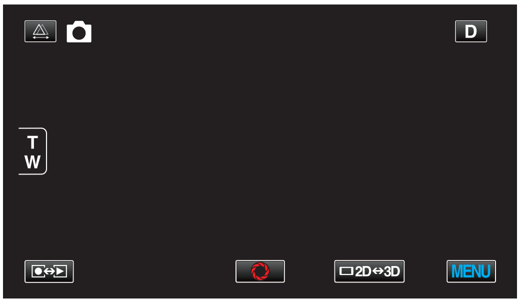
1 静止画を選ぶ



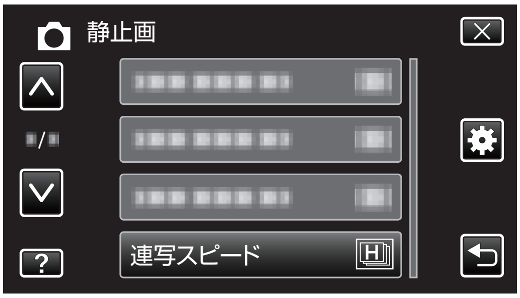
2 ●↔▶ をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "連写スピード"をタッチする



静止画サイズ

記録する静止画の大きさ（ピクセル数）を設定します。

■ 3D モードの場合

設定	内容
1920X1080(2M) (16:9)	画面比「16：9」の静止画を撮影します。

メモ：

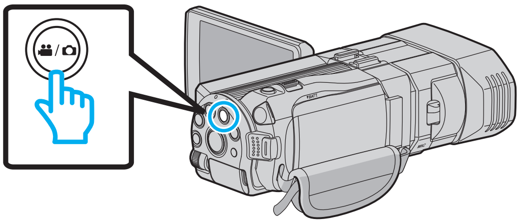
- 3Ｄモード時は、静止画サイズの設定が 1920X1080(2M)(16:9)に固定され、変更できません。
- 3D モードで静止画を撮影すると、3D の静止画と 2D の静止画を同時に保存します。その場合、静止画サイズは、3Ｄと２Ｄ共に 1920X1080(2M)(16:9)となります。

■ 2D モードの場合

設定	内容
2304X1296(2.9M) 1920X1080(2M) (16:9)	画面比「16：9」の静止画を撮影します。 • 16：9 の静止画をお店などでプリントすると、両端が切られることがあります。
1728X1296(2.2M) 640X480(0.3M) (4:3)	画面比「4：3」の静止画を撮影します。

項目を表示するには

1 静止画を選ぶ



2 [●↔▶] をタッチして撮影モードを選択する



3 "MENU"をタッチする



4 "静止画サイズ"をタッチする



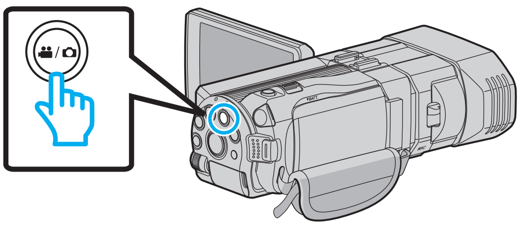
ＵＳＥＲボタン設定

よく使う機能を USER ボタンに割り当てます。
操作方法はこちら
"USER ボタンを設定する" (☞ p. 44)

再生メニュー(動画)

動画の削除や検索ができます。

1 動画を選ぶ



2 ●⇔▶ をタッチして、再生モードにする



3 "MENU"をタッチする



設定	内容
日付検索	撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。 " 日付検索 " (☞ p. 105)
プロテクト／解除	誤消去防止のプロテクトを付けます。 "表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する" (☞ p. 72) "選んで保護する/選んで保護を解除する" (☞ p. 73)
コピー	内蔵メモリーから SD カードにコピーします。 " コピー " (☞ p. 105)
ムーブ	内蔵メモリーから SD カードに移動します。 " ムーブ " (☞ p. 105)
特殊ファイル再生	管理情報の壊れた動画ファイルなどを再生します。 "管理情報が壊れた動画を再生する" (☞ p. 59)

日付検索

撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。
操作方法はこちら
"撮影日から探す" (☞ p. 64)

プロテクト／解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。
操作方法はこちら
"表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する" (☞ p. 72)
"選んで保護する/選んで保護を解除する" (☞ p. 73)

コピー

内蔵メモリーから SD カードにコピーします。
操作方法はこちら
"映像ファイルを SD カードにコピーする" (☞ p. 77)

ムーブ

内蔵メモリーから SD カードに移動します。
操作方法はこちら
"映像ファイルを SD カードに移動する" (☞ p. 78)

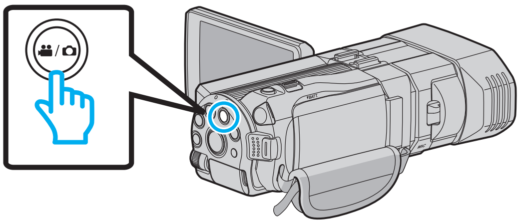
特殊ファイル再生

管理情報の壊れた動画ファイルなどを再生します。
操作方法はこちら
"管理情報が壊れた動画を再生する" (☞ p. 59)

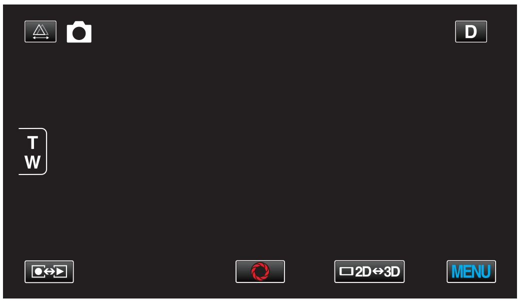
再生メニュー(静止画)

静止画の削除や検索ができます。

1 静止画を選ぶ



2 ●⇔▶ をタッチして、再生モードにする



3 "MENU"をタッチする



設定	内容
日付検索	撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。 "撮影日から探す" (☞ p. 64)
プロテクト／解除	誤消去防止のプロテクトを付けます。 "表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する" (☞ p. 72) "選んで保護する/選んで保護を解除する" (☞ p. 73)
コピー	内蔵メモリーから SD カードにコピーします。 " コピー " (☞ p. 106)
ムーブ	内蔵メモリーから SD カードに移動します。 " ムーブ " (☞ p. 106)

日付検索

撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。
操作方法はこちら
"撮影日から探す" (☞ p. 64)

プロテクト／解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。
操作方法はこちら
"表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する" (☞ p. 72)
"選んで保護する/選んで保護を解除する" (☞ p. 73)

コピー

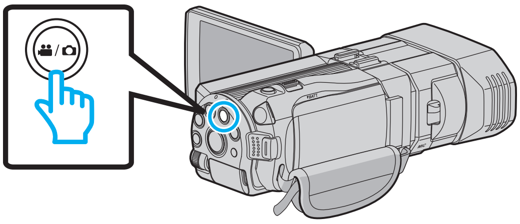
内蔵メモリーから SD カードにコピーします。
操作方法はこちら
"映像ファイルを SD カードにコピーする" (☞ p. 77)

ムーブ

内蔵メモリーから SD カードに移動します。
操作方法はこちら
"映像ファイルを SD カードに移動する" (☞ p. 78)

共通メニュー

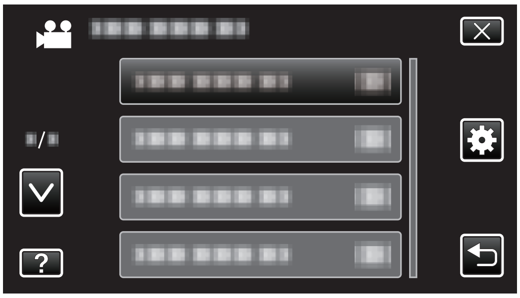
1 動画または静止画を選ぶ



2 "MENU"をタッチする



3 "⚙"をタッチする



設定	内容
時計合わせ	現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。 "時計を合わせる" (☞ p. 14) "時差のある地域で使うとき" (☞ p. 20) "旅行先がサマータイムのとき" (☞ p. 21)
日付表示配列	年月日の並び順と時間表示(24h/12h)を設定することができます。 " 日付表示配列 " (☞ p. 109)
ＬＡＮＧ.／言語	メニューなどで表示する言語を設定します。 "表示言語を変更する" (☞ p. 16)
モニター明るさ	画面の明るさを調整します。 " モニター明るさ " (☞ p. 110)
動画記録メディア	動画の記録/再生するメディアを設定します。 " 動画記録メディア " (☞ p. 111)
静止画記録メディア	静止画の記録/再生するメディアを設定します。 " 静止画記録メディア " (☞ p. 111)
操作音	操作音を鳴らすかどうか設定します。 " 操作音 " (☞ p. 112)
オートパワーオフ	電源の切り忘れ防止のために設定します。 " オートパワーオフ " (☞ p. 112)

高速起動	高速起動を使えば、画面を閉じてから 5 分間、消費電力が撮影時の約 1/3 になります。 " 高速起動 " (☞ p. 113)
リモコン	リモコンで操作できるようにします。 " リモコン " (☞ p. 113)
タッチパネル調整	タッチパネルのボタンをタッチしたときの反応位置を調整します。 " タッチパネル調整 " (☞ p. 114)
３Ｄ注意表示（３Ｄモード時のみ）	3D 視聴時の注意事項を表示するか設定します。 "３Ｄ注意表示（3D モードのみ）" (☞ p. 115)
ビデオ出力（２Ｄモード時のみ）	接続するテレビに合わせて画面比（16:9 または 4:3）に設定します。 "ビデオ出力（2D モードのみ）" (☞ p. 115)
ＨＤＭＩ出力	HDMI 端子を接続したときに設定します。 " ＨＤＭＩ出力 " (☞ p. 116)
ＨＤＭＩ機器制御	HDMI CEC 規格に対応するテレビと接続して、電源のオン･オフを連動させるときに設定します。 " ＨＤＭＩ機器制御 " (☞ p. 117)
自動ファイナライズ	作成する DVD を対応機器で再生できるように自動的にファイナライズします。 " 自動ファイナライズ " (☞ p. 118)
工場出荷	すべての設定をお買い上げ時に戻します。 " 工場出荷 " (☞ p. 118)
ファームウェア更新	本機の機能を最新版に更新できます。 " ファームウェア更新 " (☞ p. 118)
メモリーフォーマット	内蔵メモリーのすべてのファイルを消去します。 " メモリーフォーマット " (☞ p. 119)
ＳＤフォーマット	SD カードのすべてのファイルを消去します。 " ＳＤフォーマット " (☞ p. 120)
メモリーデータ消去	本機を廃棄または譲渡するときに実行します。 " メモリーデータ消去 " (☞ p. 120)

時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。
操作方法はこちら
"時計を合わせる" (☞ p. 14)
"時差のある地域で使うとき" (☞ p. 20)
"旅行先がサマータイムのとき" (☞ p. 21)

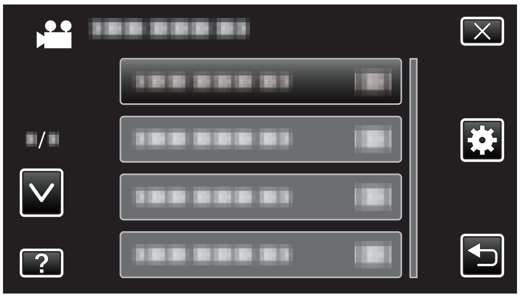
日付表示配列

年月日の並び順と時間表示(24h／12h)を設定します。

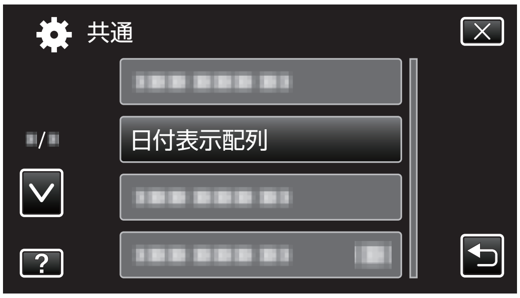
1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "日付表示配列"をタッチする



4 日付表示と時間表示をタッチして、スタイルを設定する

- "配列"の下枠をタッチして、∧ または ∨ をタッチすると、年月日の並び順が設定できます。
- 時間の下枠をタッチして、∧ または ∨ をタッチすると、時間表示が設定できます。
- 並び順は、"月. 日. 年"、"年. 月. 日"、"日. 月. 年"のどれかに設定します。
- 時間表示は、"12h"、"24h"のどちらかに設定します。
- 設定が終わったら、"決定"をタッチしてください。タッチすると、年月日の並び順と時間表示を設定します。
- 設定を変更せずに中止したいときは、"✕"または"⮌"をタッチしてください。

仕向けによる日付表示の違い

本機の日時表示は仕向けによって異なります。







- “年、月、日、時間” の順序は日付表示配列によって換わります。

ＬＡＮＧ.／言語

メニューなどで表示する言語を設定します。
操作方法はこちら
"表示言語を変更する" (☞ p. 16)

モニター明るさ

画面の明るさを調整します。

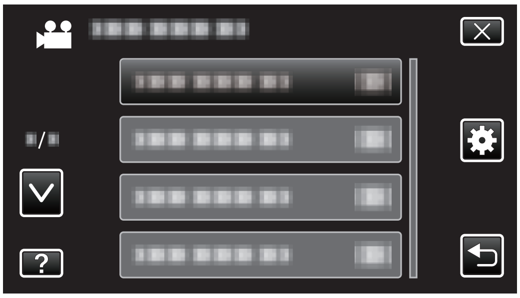
設定	内容
4	画面を常に明るくしたいときに設定します。
3	標準の明るさ設定です。
2	画面を常に暗くしたいときに設定します。
1	一番暗い設定です。 バッテリーの消費を抑えたいときに設定します。
オート	屋外では "4"に、屋内では "3"に、自動的に切り換わります。

項目を表示するには

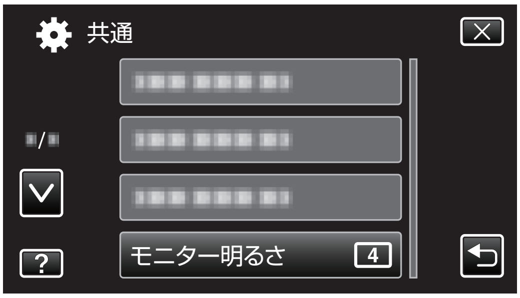
1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "モニター明るさ"をタッチする



動画記録メディア

動画を記録するメディアを設定します。

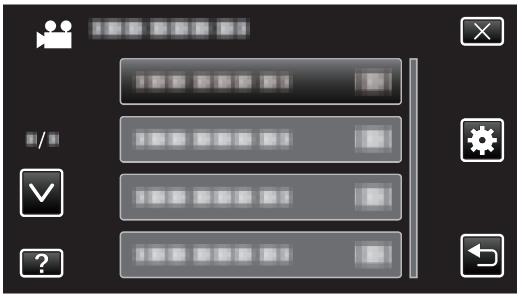
設定	内容
内蔵メモリー	動画を本機の内蔵メモリーに保存します。
ＳＤカード	動画を SD カードに保存します。

項目を表示するには

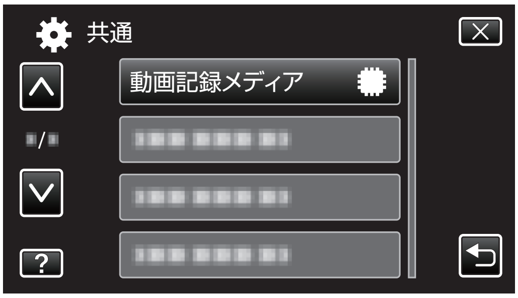
1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "動画記録メディア"をタッチする



静止画記録メディア

静止画を記録するメディアを設定します。

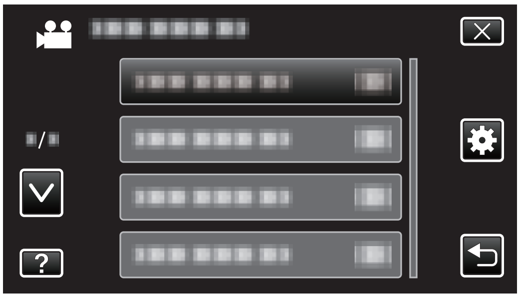
設定	内容
内蔵メモリー	静止画を本機の内蔵メモリーに保存します。
ＳＤカード	静止画を SD カードに保存します。

項目を表示するには

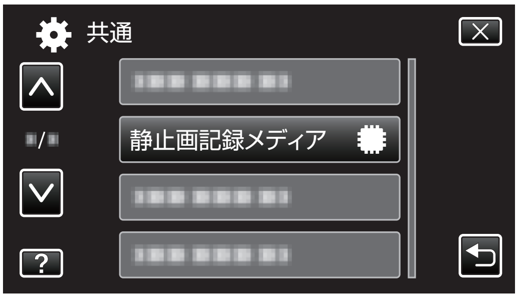
1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "静止画記録メディア"をタッチする



操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

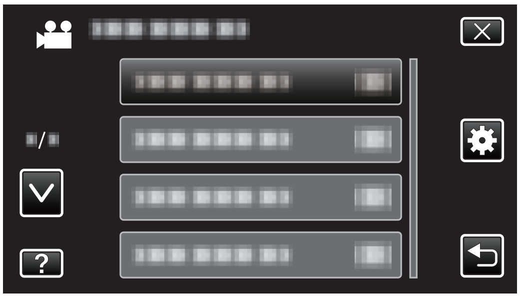
設定	内容
切	操作音を消します。
入	操作音を鳴らします。

項目を表示するには

1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "操作音"をタッチする



オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5 分放置でバッテリー使用時は電源を切り、AC アダプター使用時は待機状態になります。

設定	内容
切	5 分放置しても電源が切れません。
入	5 分放置すると、自動的に電源が切れます。

メモ :

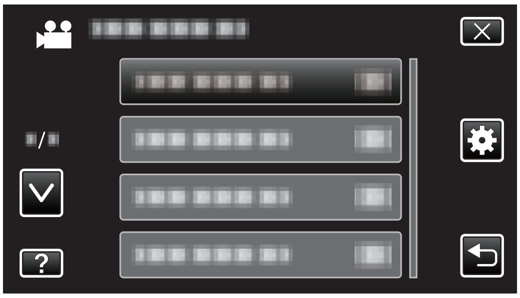
- バッテリー使用時は、5 分間放置すると自動的に電源が切れます。
- AC アダプター使用時は、待機状態になります。

項目を表示するには

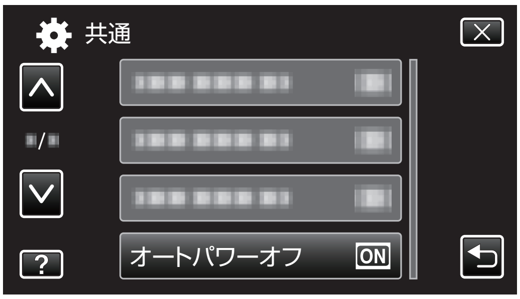
1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "オートパワーオフ"をタッチする



高速起動

5 分以内に再び画面を開くと、すぐに起動できます。

設定	内容
切	高速起動しません。
入	5 分以内に再び画面を開くと、すぐに電源が入ります。

メモ :

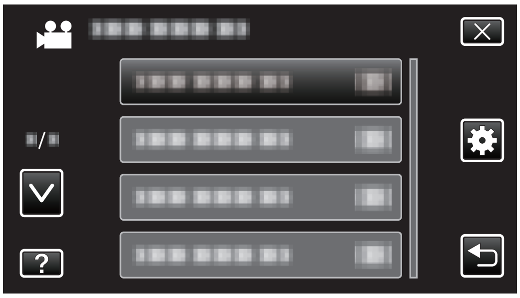
- 画面を閉じてから 5 分間、電力の消費を抑えます。

項目を表示するには

1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "高速起動"をタッチする



- 画面を閉じてから 5 分間、電力の消費を抑えます。

リモコン

リモコンで操作できるようにします。

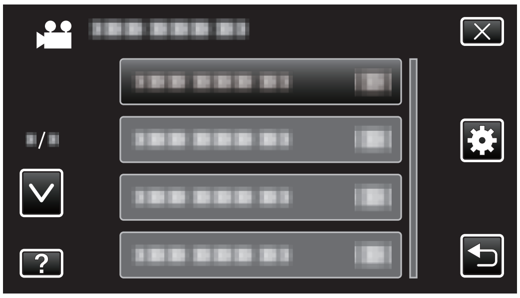
設定	内容
切	リモコンで操作できなくなります。
入	リモコンで操作できるようになります。

項目を表示するには

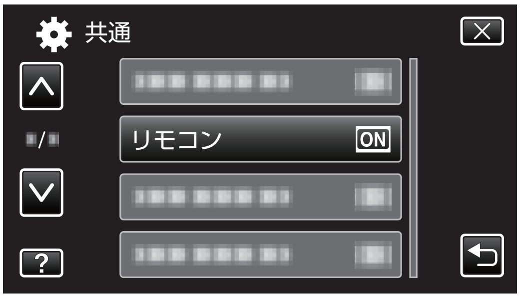
1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "リモコン"をタッチする



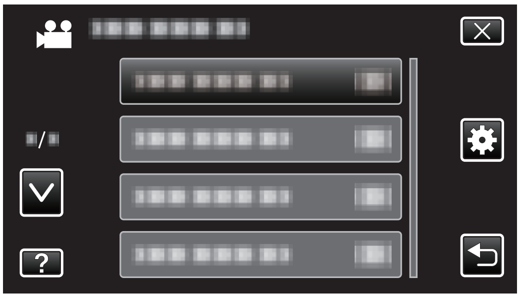
タッチパネル調整

タッチパネルのボタンをタッチしたときの反応位置を調整します。

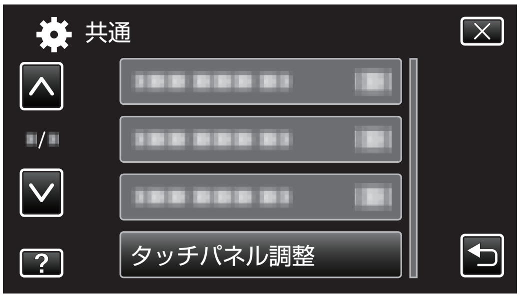
1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "タッチパネル調整"をタッチする



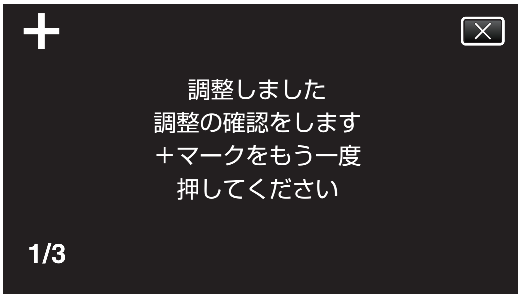
- タッチパネルの調整画面が表示されます。

4 "+"をタッチする（合計 3 回）



- "+"をタッチすると、"+"の位置が移動しますので、続けてタッチしてください。

5 調整された位置を確認するため、再度 "+"をタッチする（合計 3 回）



- "+"をタッチすると、"+"の位置が移動しますので、続けてタッチしてください。
- 調整確認画面で "+"マーク以外の場所をタッチすると、エラーが検出されます。その場合は、手順４からやり直してください。

6 "ＯＫ"をタッチする



- 設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

ご注意：

- タッチパネルの調整中（手順 4〜5）は、"+"マーク以外の場所をタッチしないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる可能性があります。

メモ：

- SD カードの角などで軽くタッチして調整してください。
- 先の鋭い物で押したり、強く押したりしなでください。

３Ｄ注意表示（3D モードのみ）

3D 視聴時の注意事項を表示するか設定します。

設定	内容
切	3D に関する注意文を表示しない代わりに、3D 注意表示アイコン(※)のみ表示します。
入	3D に関する注意文を、一定時間ごとに表示します。

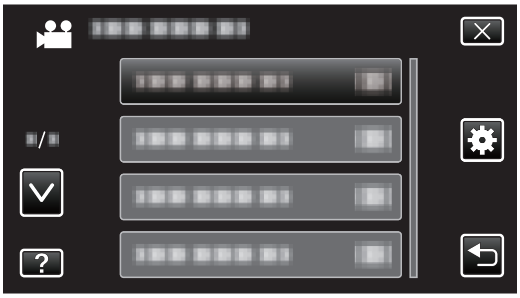
※3D 注意表示アイコン：

項目を表示するには

1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "３Ｄ注意表示"をタッチする



ビデオ出力（2D モードのみ）

接続するテレビに合わせて画面比（4:3 または 16:9）に設定します。

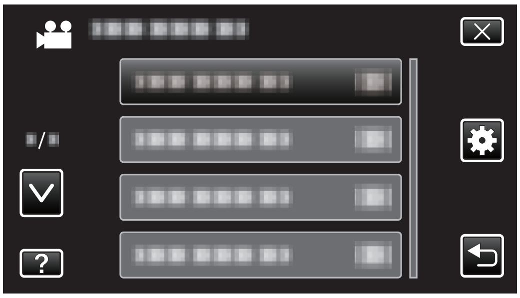
設定	内容
４：３	従来型のテレビ（4:3）に接続するときに設定します。
１６：９	ワイドテレビ（16:9）に接続するときに設定します。

項目を表示するには

1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "ビデオ出力"をタッチする



ＨＤＭＩ出力

テレビの HDMI 端子に接続するときに、本機の HDMI 端子の出力を設定します。

■ 3D モードの場合

設定	内容
オート	モニターの入力可能な対応形式に応じて、映像を出力します。
サイドバイサイド	モニターの入力可能な対応形式に関わらず、HDMI 端子から映像を "サイドバイサイド"（960x1080ix2ch）で出力します。
一部のテレビ用	モニターの入力可能な対応形式に "１０８０ｉ"がある場合は、HDMI 端子から映像を "サイドバイサイド"（960x1080ix2ch）で出力します。"１０８０ｉ"がない場合は、HDMI 端子から映像を "２Ｄ"（４８０ｐまたは４８０ｉ）で出力します。
２Ｄ出力	モニターの入力可能な対応形式に関わらず、HDMI 端子から映像を "２Ｄ"（"１０８０ｉ"、"４８０ｐ"または "４８０ｉ"）で出力します。

記録した 3D 動画記録形式と HDMI 出力でのテレビ表示について

■ ＨＤＭＩ出力を "２Ｄ出力"に設定した場合

３Ｄ動画記録形式	映像出力先		
	2D テレビ	3D 対応テレビ	本機の液晶モニター
ＡＶＣＨＤ	２Ｄ	２Ｄ	３Ｄ
ＭＰ４（ＭＶＣ）	２Ｄ	２Ｄ	３Ｄ

■ ＨＤＭＩ出力を "オート"に設定した場合

３Ｄ動画記録形式	映像出力先		
	2D テレビ	3D 対応テレビ	本機の液晶モニター
ＡＶＣＨＤ	２Ｄ	３Ｄ	３Ｄ
ＭＰ４（ＭＶＣ）	２Ｄ	３Ｄ	３Ｄ

- 3D 対応テレビに接続しても 3D 映像が見られない場合は、"ＨＤＭＩ出力"の設定を "サイドバイサイド"、または "一部のテレビ用"にしてください。
- 24p モードのときは、"サイドバイサイド"、"一部のテレビ用"は選択できません。
- 2D テレビに接続したときに "ＨＤＭＩ出力"の設定を "一部のテレビ用"にすると、左右に並んだ映像になります。
- テレビの設定については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

■ 2D モードの場合

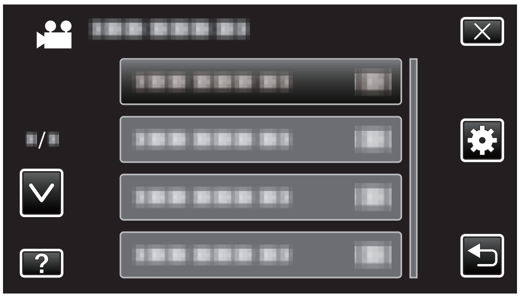
設定	内容
オート	通常は "オート"に設定します。
４８０ｐ	"オート"で正常に表示されないとき設定します。

項目を表示するには

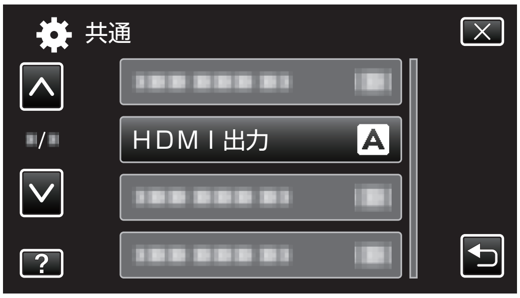
1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "ＨＤＭＩ出力"をタッチする



ＨＤＭＩ機器制御

HDMI CEC 規格に対応するテレビと連動します。

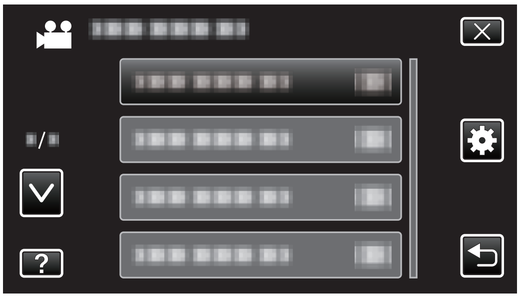
設定	内容
切	連動しません。
入	連動します。

項目を表示するには

1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "ＨＤＭＩ機器制御"をタッチする



自動ファイナライズ

作成する DVD を対応機器で再生できるように自動的にファイナライズします。

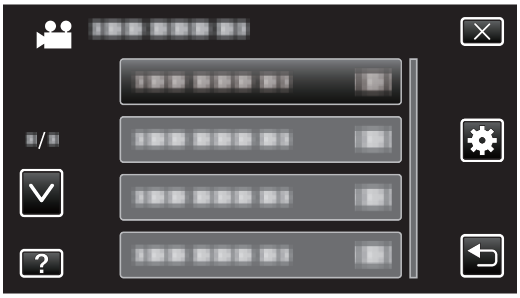
設定	内容
切	ファイナライズせずに、ディスクの最後に追記できるようにします。
入	ファイナライズし、ディスクをすべて読める状態にします。

項目を表示するには

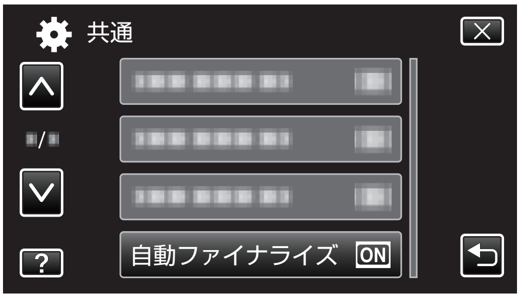
1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "自動ファイナライズ"をタッチします。



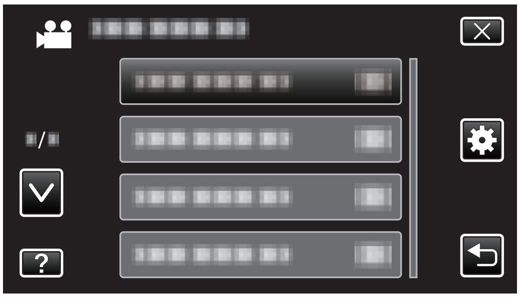
工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

1 "MENU"をタッチする



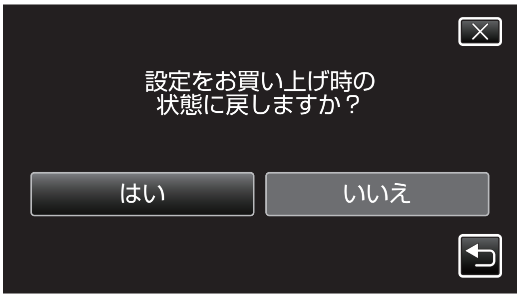
2 "⚙"をタッチする



3 "工場出荷"をタッチする



4 "はい"をタッチする



- すべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。
詳しくは、ビクターのホームページをご覧ください。
(本体ソフトウェアをアップデートするためのプログラムが提供されるまで、ホームページに説明はありません)

メモリーフォーマット

内蔵メモリーのファイルをすべて消去(初期化)します。

設定	内容
ファイル	内蔵メモリーのすべてのファイルを消去します。
ファイル+管理番号	内蔵メモリーのすべてのファイルを消去し、フォルダ番号とファイル番号を「1」から始めます。

ご注意 :

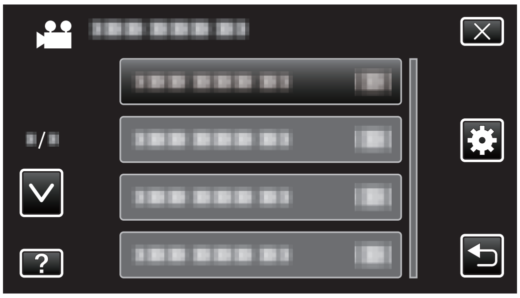
- フォーマットすると、内蔵メモリー内のデータはすべて消えます。
  フォーマットする前に、内蔵メモリー内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。
- フォーマットに時間がかかることがありますので、十分に充電したバッテリーをお使いになるか、AC アダプターを接続してください。

項目を表示するには

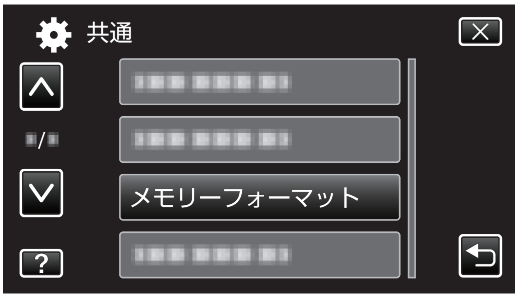
1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "メモリーフォーマット"をタッチする



ＳＤフォーマット

SD カードのファイルをすべて消去(初期化)します。

設定	内容
ファイル	SD カードのすべてのファイルを消去します。
ファイル+管理番号	SD カードのすべてのファイルを消去し、フォルダ番号とファイル番号を「1」から始めます。

ご注意 :

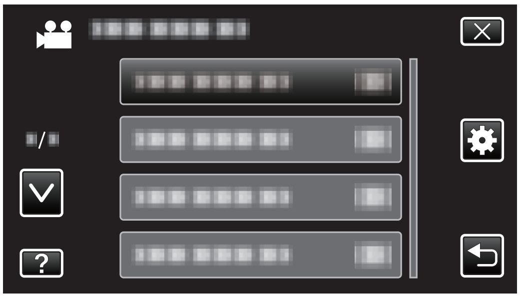
- SD カードが入っていないときは選べません。
- フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。
  フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。
- フォーマットに時間がかかることがありますので、十分に充電したバッテリーをお使いになるか、AC アダプターを接続してください。

項目を表示するには

1 "MENU"をタッチする



2 "⚙"をタッチする



3 "ＳＤフォーマット"をタッチする



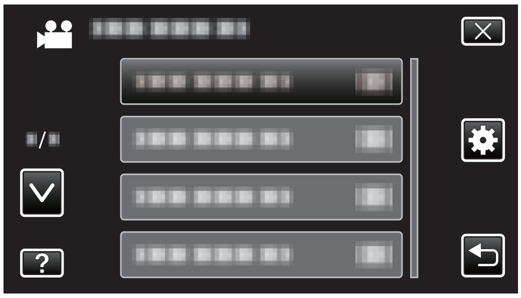
メモリーデータ消去

本機を廃棄または譲渡するときに実行します。

1 "MENU"をタッチする



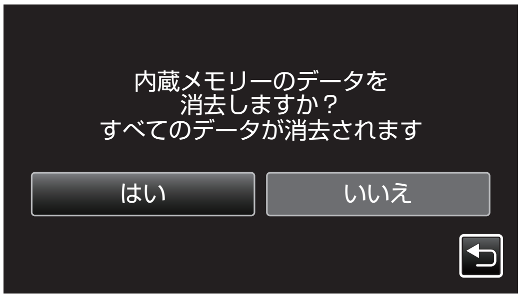
2 "⚙"をタッチする



3 "メモリーデータ消去"をタッチする



4 "はい"をタッチする



- 削除が終了したら、"ＯＫ"をタッチしてください。

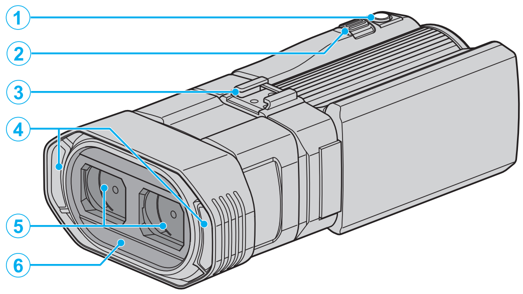
ご注意 :

- データ消去に時間がかかることがありますので、AC アダプターを接続してください。

メモ :

- 繰り返すことで、データの復元をさらに困難にできます。

本体前面



1 SNAPSHOT(静止画撮影)ボタン
- 静止画を撮影します。

2 ズーム/音量レバー
- 撮影中:撮影の範囲を調節できます。
- 再生中(一覧表示):前または後ろのページに移動します。
- 動画再生中:音量を調節します。

3 シュー
- オーディオユニットや別売の外部マイクを取り付けます。
ファントムマイクは対応していません。プラグインパワー対応のマイクをお使いください。

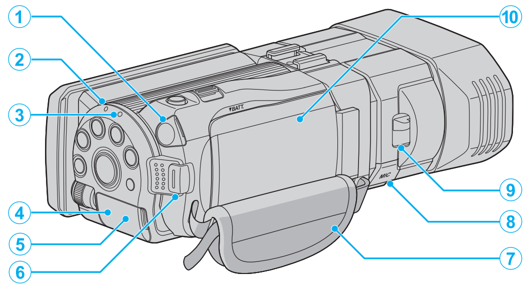
"オーディオユニットを取り付ける" (☞ p. 7)

4 ステレオマイク
- 動画の撮影中に、マイクを指などでふさがないようにしてください。

5 レンズカバー
- レンズは、さわらないでください。
- 撮影中に、レンズを指などでふさがないようにしてください。

6 リモコン受光部

本体後面



1 ヘッドホン端子
- 別売のヘッドホンを接続するときに使用します。

"ヘッドホンの取り付けかた" (☞ p. 17)

2 ACCESS(アクセス)ランプ
- 記録中や再生中に点灯/点滅します。
バッテリーや AC アダプター、SD カードは取りはずさないでください。

3 POWER/CHARGE(電源/充電)ランプ
- 点灯:電源「入」
- 点滅:充電中
- 消灯:充電完了

4 HDMI 端子
- HDMI テレビと接続するときに使用します。

5 DC 端子
- AC アダプターとつないで充電をします。

6 START/STOP(動画録画)ボタン
- 動画の撮影を開始/停止します。

7 グリップベルト
- グリップベルトに手を通して、しっかりと固定します。

"グリップベルトを調節する" (☞ p. 9)

8 マイク端子
- 別売のマイクを接続するときに使用します。

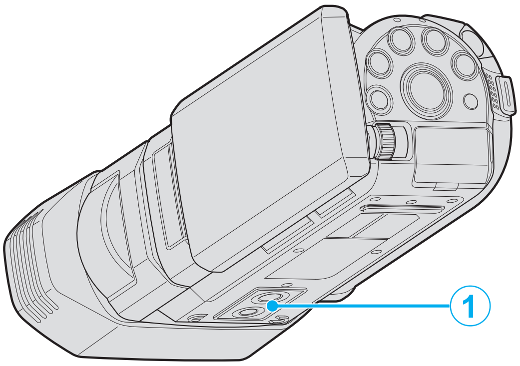
"外部マイクを取り付ける" (☞ p. 7)

9 レンズカバースイッチ
- レンズカバーを開閉します。

10 バッテリーカバー

"バッテリーを取り付ける" (☞ p. 8)

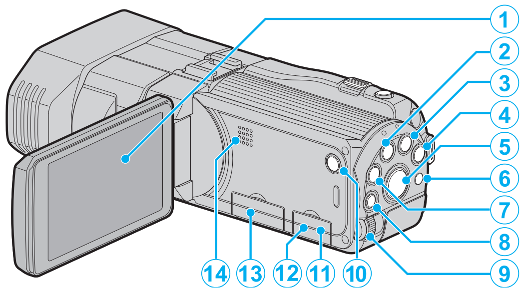
本体底面



1 三脚取り付け穴

"三脚の取り付けかた" (☞ p. 17)

本体内側



1 液晶モニター

- 開閉すると、電源を入/切できます。
- 自分を撮るときは、回転させて使用します。

2 USER ボタン

"USER ボタンを設定する" (☞ p. 44)

3 🎥 / 📷(動画/静止画)ボタン

- 動画と静止画を切り換えます。

4 i.AUTO ボタン

- インテリジェント・オートとマニュアル・モードを切り換えます。

5 3D ボタン

- 3D モードと 2D モードを切り換えます。
- ボタンの LED が点灯/消灯するまで押してください。

6 リモコン受光部

7 INFO(情報)ボタン

- 撮影:残量時間(動画のみ)やバッテリー残量を表示します。
- 再生:撮影日などのファイル情報を表示します。

8 ADJ(調整)ボタン

- "フォーカス"、"明るさ補正"などの調整をします。

9 コントロールダイヤル

"コントロールダイヤルを使って撮影する" (☞ p. 45)

10 ⏻(電源)ボタン

- 長押しすると、液晶モニターを開いたまま、電源を入/切できます。

11 AV 端子

- テレビなどと接続するときに使用します。

12 USB 端子

- USB ケーブルを使ってパソコンとつなげます。

13 SD カードスロット

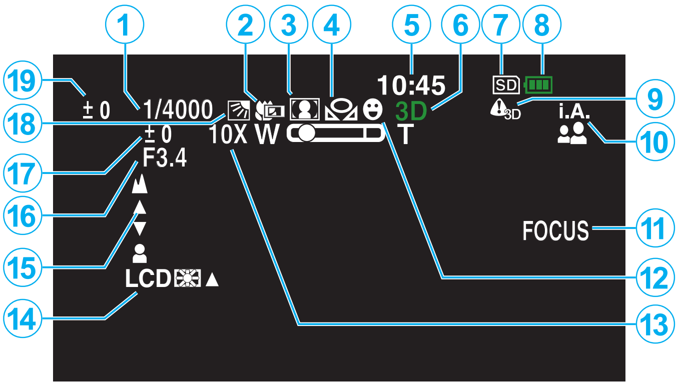
- 別売の SD カードを入れてください。

"SD カードを入れる" (☞ p. 10)

14 スピーカー

- 動画の再生中に音が出ます。

撮影共通



1 シャッタースピード
"シャッタースピードを設定する" (☞ p. 39)

2 テレマクロ（２Ｄモード時のみ）
"接写で撮影する" (☞ p. 43)

3 シーンセレクト
"シーンを選んで撮影する" (☞ p. 35)

4 ホワイトバランス
"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 41)

5 日付と時刻
"時計を合わせる" (☞ p. 14)

6 ３Ｄモード／２Ｄモード
"3D ボタン" (☞ p. 122)

7 メディア
" 動画記録メディア " (☞ p. 111)
" 静止画記録メディア " (☞ p. 111)

8 バッテリー残量
"残量時間/バッテリー残量" (☞ p. 54)

9 ３Ｄ注意表示（３Ｄモード時のみ）
"３Ｄ注意表示（3D モードのみ）" (☞ p. 115)

10 撮影モード
"動画をインテリジェントオートで撮影する" (☞ p. 26)
"マニュアルで設定を変えて撮影する" (☞ p. 33)

11 フォーカスアシスト
"フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (☞ p. 37)

12 タッチ優先ＡＥ／ＡＦ
"被写体をきれいに撮影する（タッチ優先ＡＥ／ＡＦ）" (☞ p. 47)

13 ズーム
"ズーム倍率（2D モードのみ）" (☞ p. 94)

14 モニターバックライト
" モニター明るさ " (☞ p. 110)

15 フォーカス
"手動でピントを合わせる" (☞ p. 36)

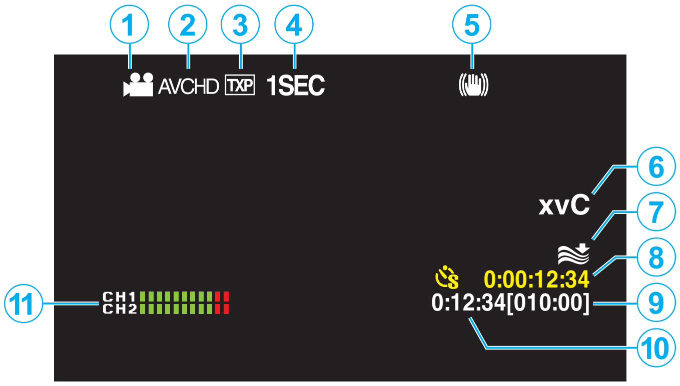
16 絞り優先ＡＥ
"絞りを設定する" (☞ p. 40)

17 明るさ補正
"明るさ補正を設定する" (☞ p. 38)

18 逆光補正
"逆光補正を設定する" (☞ p. 42)

19 視差調整量（３Ｄモード時のみ）
"撮影時の視差調整をする" (☞ p. 32)

動画撮影



1 動画モード
"/ (動画/静止画)ボタン" (☞ p. 122)

2 ３Ｄ動画記録形式
"３Ｄ動画記録形式 (3D モードのみ)" (☞ p. 92)

3 動画画質
" 動画画質 " (☞ p. 93)

4 タイムラプス撮影
"微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (☞ p. 50)

5 手ぶれ補正
"手ぶれを補正して撮影する" (☞ p. 46)

6 x.v.Color (２Ｄモード時のみ)
"ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ (2D モードのみ)" (☞ p. 95)

7 ウィンドカット
" ウィンドカット " (☞ p. 91)

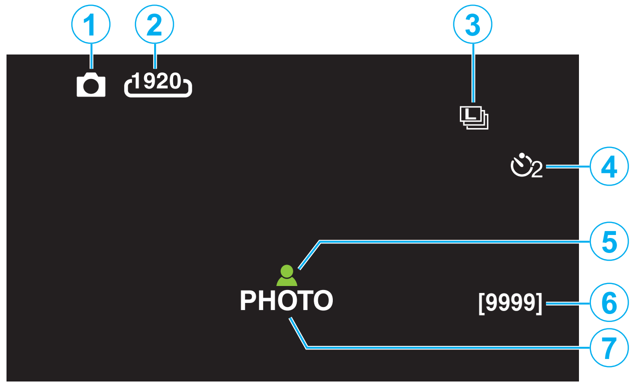
8 タイムラプス撮影カウンタ
"微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (☞ p. 50)

9 撮影可能時間
"残量時間/バッテリー残量" (☞ p. 54)

10 シーンカウンタ

11 マイクレベル表示
" マイクレベル表示 " (☞ p. 96)

静止画撮影



1 静止画モード
"/ (動画/静止画)ボタン" (☞ p. 122)

2 静止画サイズ
" 静止画サイズ " (☞ p. 104)

3 連写
" シャッターモード " (☞ p. 102)
" 連写スピード " (☞ p. 103)

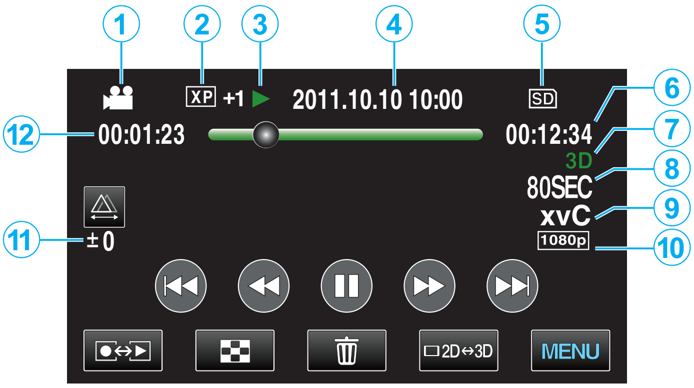
4 セルフタイマー
"記念写真を撮影する(セルフタイマー)" (☞ p. 52)

5 ピント合わせ
"静止画をインテリジェントオートで撮影する" (☞ p. 29)

6 撮影可能枚数

7 静止画記録中

動画再生



1 動画モード
" / (動画/静止画)ボタン" (☞ p. 122)

2 動画画質
- "２４ｐ" で撮影したときは 24P が表示されます。

" 動画画質 " (☞ p. 93)

3 操作表示
"動画を再生する" (☞ p. 58)

4 日付と時刻
"時計を合わせる" (☞ p. 14)

5 メディア
" 動画記録メディア " (☞ p. 111)

6 再生時間
"動画を再生する" (☞ p. 57)

7 ３Ｄモード／２Ｄモード
"3D ボタン" (☞ p. 122)

8 タイムラプス再生
- タイムラプス撮影の撮影間隔がアイコンで表示されます。

"タイムラプス撮影の設定内容" (☞ p. 51)

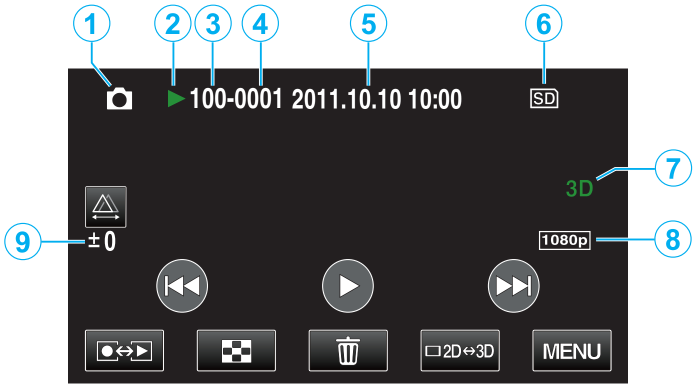
9 x.v.Color (2D モード時のみ)
"ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ (2D モードのみ)" (☞ p. 95)

10 1080p 出力
" ＨＤＭＩ出力 " (☞ p. 116)

11 視差調整量 (３Ｄモード時のみ)
"再生時の視差調整をする" (☞ p. 62)

12 シーンカウンタ

静止画再生



1 静止画モード
" / (動画/静止画)ボタン" (☞ p. 122)

2 操作表示
"静止画を再生する" (☞ p. 61)

3 フォルダ番号

4 ファイル番号

5 日付と時刻
"時計を合わせる" (☞ p. 14)

6 メディア
" 静止画記録メディア " (☞ p. 111)

7 ３Ｄモード／２Ｄモード
"3D ボタン" (☞ p. 122)

8 1080p 出力
" ＨＤＭＩ出力 " (☞ p. 116)

9 視差調整量 (３Ｄモード時のみ)
"再生時の視差調整をする" (☞ p. 62)

バッテリー

バッテリー使用時に電源が入らない

バッテリーを充電してください。
"バッテリーを充電する" (☞ p. 8)
本体とバッテリーの端子が汚れている場合は、綿棒のようなもので拭取ってください。
ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

充電しても使用時間が短い

繰り返し充電することでバッテリーの性能が劣化します。新しいバッテリーをお買い求めください。
"別売アクセサリー" (☞ p. 22)

バッテリーの充電ができない

バッテリーが満充電されていると、ランプは点滅しません。
本体とバッテリーの端子が汚れている場合は、綿棒のようなもので拭取ってください。
純正品以外のバッテリーを使用すると本機が破損する可能性があります。純正品のバッテリーを使用してください。

バッテリー残量が正しく表示されない

AC アダプターを接続すると、バッテリー残量は表示されません。
高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがあります。

AC アダプターの接続時でも、バッテリー容量が減少する

ビクター製の AC アダプター(AP-V20)をお使いください。

撮影

撮影できない

🎥 / 📷 ボタンを確認してください。
"本体内側" (☞ p. 122)
●⇔▶ ボタンで撮影モードにしてください。
"液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき" (☞ p. 12)

自動的に撮影が停止した

仕様上、12 時間以上の連続撮影ができませんので、自動的に撮影が停止します。(撮影の再開には、多少時間がかかる場合があります。)
電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。)

静止画の連写速度が遅い

連写を続けると、連写速度が低下します。
使用する SD カードや撮影条件によって、連写速度が低下します。

自動でピントが合わない

暗いところや明暗差の少ないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスをお使いください。
"手動でピントを合わせる" (☞ p. 36)
レンズの表面をクリーニングクロスできれいに拭いてください。
マニュアル撮影メニューでマニュアルフォーカスを解除してください。
"手動でピントを合わせる" (☞ p. 36)

ズームができない

静止画の撮影では、デジタルズームは使えません。
微速度撮影中は、ズーム操作ができません。(また、写真同時撮影、および手ぶれ補正もできません)
デジタルズームをするには、メニューの "ズーム倍率"を "40 倍デジタル"または "200 倍デジタル"にしてください。
"ズーム倍率 (2D モードのみ)" (☞ p. 94)

速い動作や明るさが非常に変わるシーンを撮影するとき、モザイクノイズが発生する

"動画画質"を 3D モード時: "ＴＨＲ"または "ＴＸＰ"、2D モード時: "ＵＸＰ"または "ＸＰ"にして撮影してください。
" 動画画質 " (☞ p. 93)

撮影した映像に縦線が表示される

被写体を明るい照明の下で撮影するときに発生します。故障ではありません。

カード

SD カードが入らない

カードの入れる向きを間違えないようにしてください。
"SD カードを入れる" (☞ p. 10)

SD カードに保存できない

カードに記録するには、メディアの設定が必要です。
" 動画記録メディア " (☞ p. 111)
ほかの機器で使っていたカードをはじめて使うときは、メディア設定の "ＳＤフォーマット"でカードをフォーマット(初期化)する必要があります。
" ＳＤフォーマット " (☞ p. 120)

再生

音や映像が途切れる

シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。

同じ映像が長く止まって見える

SD カードを交換してください。（SD カードに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、この状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。）

"共通"メニューの "ＳＤフォーマット"を実行してください。（データはすべて消えます。）

" ＳＤフォーマット " (☞ p. 120)

映像がカクカクした動きに見える

SD カードを交換してください。（SD カードに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、この状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。）

"共通"メニューの "ＳＤフォーマット"を実行してください。（データはすべて消えます。）

" ＳＤフォーマット " (☞ p. 120)

撮影したはずの動画や静止画が一覧表示されない

3D ボタンを押して、再生したいモードに切り換えてください。

"動画を再生する" (☞ p. 57)

動画撮影メニューの "３Ｄ動画記録形式"を、"ＭＰ４（ＭＶＣ）"または "ＡＶＣＨＤ"に切り替えてください。

"３Ｄ動画記録形式 (3D モードのみ)" (☞ p. 92)

動画撮影メニューの"システムセレクト"を"60i"または"24p"に切り換えてください。

" システムセレクト " (☞ p. 92)

一覧表示の /SD をタッチして、再生メディアを切り換えてください。

"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 58)

"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 61)

メニューの "特殊ファイル再生"を選んでください。（管理情報の壊れた動画などを再生できます。）

"管理情報が壊れた動画を再生する" (☞ p. 59)

日付表示が出ない

3D モードで撮影した動画をバックアップしたディスクの再生を行っても、撮影日時の表示はできません。
ＤＶＤ－Ｖｉｄｅｏ形式で作成したディスクを再生する場合は、画面に日時や情報が表示されません。

テレビに正常に表示されない

ケーブルを抜き差ししてください。

"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 68)

本機の電源を入れ直してください。

テレビに縦長に映る

"共通"メニューの "ビデオ出力"を "４：３"に変更してください。

"ビデオ出力 (2D モードのみ)" (☞ p. 115)

テレビ側で画面を調整してください。

テレビに表示される画面が小さい

"共通"メニューの "ビデオ出力"を "１６：９"に変更してください。

"ビデオ出力 (2D モードのみ)" (☞ p. 115)

画像を削除できない

保護（プロテクト）されている映像（動画/静止画）は削除できません。プロテクトを解除してから、削除してください。

"映像を保護する" (☞ p. 72)

HDMI ミニケーブルでテレビに接続したとき、正常な映像表示や音声が出ない

お使いのテレビの機種によっては、映像や音声が正常に出力されない場合があります。このときは、以下の操作をしてください。

①HDMI ミニケーブルを抜き差ししてください。

② 本機の電源を入れ直してください。

"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 68)

3D 対応テレビで正しく 3D に見えない

"共通"メニューの "ＨＤＭＩ出力"を変更してください

" ＨＤＭＩ出力 " (☞ p. 116)

編集/保存

画像を削除できない

保護(プロテクト)されている映像(動画/静止画)は削除できません。プロテクトを解除してから、削除してください。
"映像を保護する" (☞ p. 72)

SD カードにコピー/移動できない

SD カードがライトプロテクトされている場合は OFF にしてください。

コンピューター

パソコンで DVD に保存できない

ディスクに記録するには、お使いのパソコンに記録型 DVD ドライブが必要です。

画面/映像

画面が見えにくい

直射日光下など周囲が明るいと見えにくくなります。
3D 映像に見せる方式上、3D 映像のときは液晶モニターが暗くなります。屋外などで見づらいときは、2D 映像に切り換えてください。

画面に明るい光の帯が現れる

本機の向きを変え、光源を画面に入れないようにしてください。(明るい光源が画面周辺にあると光の帯が現われることがありますが、故障ではありません。)

被写体が暗い

背景が明るくて被写体が暗いときは、逆光補正を使ってください。
"逆光補正を設定する" (☞ p. 42)
シーンセレクトの "ナイトアイ"を使ってください。
"シーンを選んで撮影する" (☞ p. 35)
メニューの "感度アップ"を使ってください。
" 感度アップ " (☞ p. 90)
撮影メニューの "明るさ補正"を「+」側に設定してください。
"明るさ補正を設定する" (☞ p. 38)

被写体が明るい

逆光補正を "切"にしてください。
"逆光補正を設定する" (☞ p. 42)
撮影メニューの "明るさ補正"を「−」側に設定してください。
"明るさ補正を設定する" (☞ p. 38)

被写体の色が不自然 (赤っぽい、青っぽいなど)

自然な色合いになるまで、しばらく待ってください。(ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります。)
撮影メニューの "ホワイトバランス"を "マニュアル"に設定してください。光源に合わせて "５２００K"／ "６０００K"／ "３２００K"のいずれかを選んでください。"ワンタッチ"を選んで調整してください。
"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 41)

色合いが違って見える

撮影メニューの "ホワイトバランス"を "マニュアル"に設定してください。光源に合わせて "５２００K"／ "６０００K"／ "３２００K"のいずれかを選んでください。"ワンタッチ"を選んで調整してください。
"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 41)
"ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ"が "入"の状態で撮影した映像を再生するとき、必要に応じてテレビを設定してください。
"ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ(2D モードのみ)" (☞ p. 95)

その他

タッチパネルのボタンがきかない

タッチパネルのボタンは、指でタッチしてください。
爪や手袋などでは、正しく反応しないことがあります。

動画モードと静止画モードの切り替えや電源の入/切などが遅い

動画や静止画をパソコンなどに保存し、本機から削除することをおすすめします。（撮影したファイルが本機に多数あると、本機の反応が遅くなります。）

画質が粗い

デジタルズームでは映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。

本機が熱くなる

故障ではありません。（長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。）

免責事項

重要な記録内容（データ）を DVD や他の記録メディアに保存用としてコピーするのをおすすめ致します。
万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。

HDMI ミニケーブルでテレビに接続したとき、正常な映像表示や音声が出ない

お使いのテレビの機種によっては、映像や音声が正常に出力されない場合があります。このときは、以下の操作をしてください。
①HDMI ミニケーブルを抜き差ししてください。
② 本機の電源を入れ直してください。
"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 68)

表示言語が換わった

違う言語に設定したテレビと HDMI ミニケーブルで接続するときに発生する場合があります。
"テレビとの HDMI 連動機能を使う" (☞ p. 67)

HDMI CEC が正常に動作せずに、本機とテレビが連動しない

HDMI CEC 規格に対応したテレビに接続した場合、テレビの仕様によっては、本機の動作に予期せぬ影響を及ぼすことがあります。すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。"ＨＤＭＩ機器制御"を "切"にしてください。
"テレビとの HDMI 連動機能を使う" (☞ p. 67)

エラー表示

レンズカバーを 確認してください

レンズカバーを開けてください。

時計を合わせてください

AC アダプターを取り付けて、24 時間以上充電してから、時計を設定してください。（設定しても表示が消えないときは、時計用電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。）
"時計を合わせる" (☞ p. 14)

通信エラー

USB ケーブルを接続し直してください。
本機を接続している機器の電源と、本機の電源を入れ直してください。
バッテリーをもう一度付け直してください。

フォーマットエラー

操作手順を確認し、もう一度繰り返してください。
" メモリーフォーマット " (☞ p. 119)
本機の電源を入れ直してください。

データ消去エラー

操作手順を確認し、もう一度繰り返してください。
" メモリーデータ消去 " (☞ p. 120)
本機の電源を入れ直してください。

内蔵メモリーエラー

本機の電源を入れ直してください。
上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"共通"メニューの "メモリーフォーマット"を実行してください。（データはすべて消えます。）
" メモリーフォーマット " (☞ p. 119)

カードエラー

本機の電源を入れ直してください。
AC アダプターとバッテリーを取りはずし、SD カードを入れ直してください。
SD カードの端子の汚れを取り除いてください。
上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"共通"メニューの "ＳＤフォーマット"を実行してください。（データはすべて消えます。）
" ＳＤフォーマット " (☞ p. 120)

フォーマットされていません

"ＯＫ"を選び、"フォーマットしますか？"の画面で "はい"を選んでください。

記録できませんでした

本機の電源を入れ直してください。

再生に失敗しました

SD カードを入れ直してください。
"SD カードを入れる" (☞ p. 10)
SD カードの端子の汚れを取り除いてください。
SD カードを入れてから、電源を入れてください。
振動や衝撃を与えないようにしてください。

動画管理ファイルが壊れて いるため修復します

"ＯＫ"を選んで修復してください。（修復に失敗した動画は一覧表示されませんが、メニューの "特殊ファイル再生"で再生できることがあります。）
"管理情報が壊れた動画を再生する" (☞ p. 59)

未対応のシーンです

本機で記録したファイルをお使いください。（他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。）

未対応のファイルです

本機で記録したファイルをお使いください。（他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。）

プロテクトがかかっています

メニューの "編集"の "プロテクト／解除"で解除してください。
"映像を保護する" (☞ p. 72)

カードがライトプロテクト されています

SD カードのライトプロテクトスイッチを解除してください。

空き容量がありません

ファイルを削除するか、パソコンなどに移してください。
新しい SD カードに交換してください。

シーン数が 制限を超えています

① パソコンなどにファイルまたはフォルダを移してください。（バックアップします。）
② "共通"メニューの "メモリーフォーマット"または "ＳＤフォーマット"で、"ファイル＋管理番号"を選んでください。（内蔵メモリーまたは SD カード内のデータは、すべて消えます。）

フォルダ数が 制限を超えています

① パソコンなどにファイルまたはフォルダを移してください。（バックアップします。）
② "共通"メニューの "メモリーフォーマット"または "ＳＤフォーマット"で、"ファイル＋管理番号"を選んでください。（内蔵メモリーまたは SD カード内のデータは、すべて消えます。）

ファイル数が 制限を超えています

① パソコンなどにファイルまたはフォルダを移してください。（バックアップします。）
② "共通"メニューの "メモリーフォーマット"または "ＳＤフォーマット"で、"ファイル＋管理番号"を選んでください。（内蔵メモリーまたは SD カード内のデータは、すべて消えます。）

カメラの温度が低すぎます カメラの電源を入れたまま お待ちください

電源を入れた状態でしばらく放置してください。
それでも表示が消えないときは一度電源を切り、急激な温度変化を避けて暖かい場所に移動して、しばらくしてから電源を入れてください。

記録を中止しました

"動画記録メディア"を "ＳＤ"にし、SD カードに記録してください。
" 動画記録メディア " (☞ p. 111)
本機の電源を入れ直してください。
振動や衝撃を与えないようにしてください。

正しく３Ｄで撮影できません ２Ｄに切り替えて撮影してください

お買い上げの販売店、またはビクターサービス修理受付センターにご相談ください。

左右の映像が違いすぎるため ３Ｄの映像として見れない 可能性があります

3D 撮影時の撮影距離をご確認いただき、最適ゾーンの範囲で撮影してください。
"3D 映像の撮影や視聴のご注意" (☞ p. 4)

本機を末永くお使い頂くためにお手入れをおすすめします。

ご注意 :

- お手入れの前に、バッテリーや AC アダプター、電源プラグをはずしてください。

本体

- 乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ります。
- 汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取ります。

ご注意 :

- 損傷や故障の原因となりますので、ベンジンやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従ってください。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

レンズ・液晶画面

- 市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭いてください。
  汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因となります。

カメラ本体

項目	内容
電源	AC アダプター使用時:DC 11 V バッテリー BN-VF823 使用時:DC 7.2 V
消費電力	• 3D モード(ＡＶＣＨＤ) 4.8 W (液晶モニター表示が "３Ｄ"、"モニター明るさ"が "標準"の場合)、 定格消費電流:1.0 A 4.5 W (液晶モニター表示が "２Ｄ"、"モニター明るさ"が "標準"の場合)、 定格消費電流:1.0 A • 3D モード(ＭＰ４(ＭＶＣ)) 5.5 W (液晶モニター表示が "３Ｄ"、"モニター明るさ"が "標準"の場合)、 定格消費電流:1.0 A 5.2 W (液晶モニター表示が "２Ｄ"、"モニター明るさ"が "標準"の場合)、 定格消費電流:1.0 A • 2D モード 3.8 W ("モニター明るさ"が "標準"の場合)、定格消費電流:1.0 A
外形寸法(mm)	102 × 66 × 186 (幅×高さ×奥行き:オーディオユニット非装着時) 134 × 154 × 234 (幅×高さ×奥行き:オーディオユニット装着時)
質量	約 605 g(オーディオユニット非装着時)、約 730 g(付属バッテリー含む) 約 850 g(オーディオユニット装着時)、約 975 g(付属バッテリー含む)
動作環境	許容動作温度:0°C 〜 40°C 許容保存温度:-20°C 〜 50°C 許容相対湿度:35 % 〜 80 %
映像素子	1/4.1 型 332 万画素 プログレッシブ CMOS x2
撮像エリア(動画)	• 3D モード 236 万画素("手ぶれ補正"が "切"時) 207 万画素("手ぶれ補正"が "通常モード"時) 182 万画素("手ぶれ補正"が "アクティブモード"時) • 2D モード 298 万画素("手ぶれ補正"が "切"時) 207 万画素〜298 万画素("手ぶれ補正"が "通常モード"時) 207 万画素〜236 万画素("手ぶれ補正"が "アクティブモード"時)
撮像エリア(静止画)	• 3D モード 207 万画素(16:9) • 2D モード 298 万画素(16:9) 224 万画素(4:3)

項目	内容
レンズ	• 3D モード F1.2 ～ F2.28、f=3.76 mm ～ 18.8 mm 35 mm カメラ換算：44.8 mm ～ 224 mm（ "手ぶれ補正"が "通常モード"時） 35 mm カメラ換算：42 mm ～ 210 mm（ "手ぶれ補正"が "切"時） • 2D モード F1.2 ～ F2.8、f=3.76 mm ～ 37.6 mm 35 mm カメラ換算：37.3 mm ～ 373 mm（ "手ぶれ補正"が "通常モード"時） 35 mm カメラ換算：37.3 mm ～ 373 mm（ "手ぶれ補正"が "切"時） 35 mm カメラ換算：42.0 mm ～ 420 mm（ "手ぶれ補正"が "アクティブモード"時）
最低照度	8 ルクス（ "感度アップ"： "入"） 4 ルクス（ "感度アップ"：スローシャッター） 1 ルクス（ "シーンセレクト"： "ナイトアイ"モード）
ズーム（動画撮影時）	光学ズーム：等倍～ 5 倍（３Ｄ撮影時）、等倍～ 10 倍（２Ｄ撮影時） デジタルズーム：11～ 200 倍（２Ｄ撮影時）
ズーム（静止画撮影時）	光学ズーム：等倍～ 5 倍（３Ｄ撮影時）、等倍～ 10 倍（２Ｄ撮影時）
連写スピード （静止画撮影時）	• 3D モード 高速：約 12 枚/秒（最大 11 枚） 低速：約 1.4 枚/秒（最大値） • 2D モード 高速：約 12 枚/秒（最大 40 枚） 低速：約 1.4 枚/秒（最大値）
液晶画面	3.5 型、92.16 万画素、ポリシリコンカラー液晶
記録メディア	内蔵メモリー（64 GB）、SD/SDHC/SDXC カード（市販） "本機で使える SD カードの種類" (☞ p. 11)
時計用電池	二次電池

端子

項目	内容
HDMI 出力端子	HDMI ミニ端子（x.v.Color 対応)
AV 出力端子	ビデオ出力：1.0 V（p-p）、75 Ω 音声出力：300 mV（rms）、1 K Ω
USB 端子	ミニ USB AB タイプ, USB 2.0 対応
ヘッドホン出力端子	Φ3.5 mmミニジャック：ステレオ、アナログ出力
マイク入力端子	Φ3.5 mmミニジャック：ステレオ、アナログ入力、プラグインパワー対応 • 使用可能なマイク 電池駆動式マイク • 推奨するマイク仕様 出力インピーダンス:1.5 K Ω 以下 感度:-33 dB at 1 kHz (0 dB = 1 V/Pa) 最大音圧入力:110 dB SPL (1 kHz at 1 % T.H.D) • セット仕様 入力インピーダンス:10 K Ω マイク入力感度:-60 dBV (記録レベル:-20 dBFs)

動画

■ 3D モード (ＡＶＣＨＤ)

項目	内容
録画/再生方式	AVCHD 規格準拠 映像：MPEG-4 AVC/H.264 音声：Dolby Digital 2ch
拡張子	.MTS
信号方式	デジタルハイビジョン方式（1080/60i x2）NTSC 日米標準信号方式
画質（動画）	ＴＸＰ 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 17 Mbps ＴＳＰ 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 12 Mbps
音質（音声）	48 kHz、256 kbps

■ 3D モード (ＭＰ４（ＭＶＣ）)

項目	内容
録画/再生方式	MP4 規格準拠 映像：MPEG-4 MVC (独自規格) /H.264 音声：AAC 2ch
拡張子	.MP4
信号方式	デジタルハイビジョン方式（1080/60i x2）、（1080/24p x2）
画質（動画）	ＴＨＲ 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 34 Mbps ＴＳＲ 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 22 Mbps
音質（音声）	48 kHz、192 kbps (Max 192kbps, 平均 128kbps)

■ 2D モード

項目	内容
録画/再生方式	AVCHD 規格準拠 映像：MPEG-4 AVC/H.264 音声：Dolby Digital 2ch
拡張子	.MTS
信号方式	デジタルハイビジョン方式（1080/60i）
画質（動画）	UXP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 24 Mbps XP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 17 Mbps SP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 12 Mbps EP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 5 Mbps
音質（音声）	48 kHz、256 kbps

静止画

■ 3D モード

項目	内容
記録方式	MPF 準拠(立体視対応)
拡張子	.MPO
画像サイズ	"静止画の撮影可能枚数の目安（単位：枚）" (☞ p. 55)

■ 2D モード

項目	内容
記録方式	JPEG 準拠
拡張子	.JPG
画像サイズ	"静止画の撮影可能枚数の目安（単位：枚）" (☞ p. 55)
画質	ファイン

AC アダプター（AP-V20)

項目	内容
電源	AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 11 V、1.0 A
許容動作温度	0°C 〜 40°C （充電時は 10°C 〜 35°C）
外形寸法（mm）	78 × 34 × 46（幅×高さ×奥行き：ケーブルと AC プラグを含まず）
質量	約 100 g

バッテリー(BN-VF823)

項目	内容
電圧	7.2 V
容量	2190 mAh
外形寸法(mm)	30.5 x 46.5 x 52 (幅×高さ×奥行き)
質量	約 125 g

バッテリーチャージャー(AA-VF8)

項目	内容
電源	AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 7.2 V、1.12 A
許容動作温度	0°C ～ 35°C
外形寸法(mm)	61 x 31 x 100 (幅×高さ×奥行き)
質量	約 120 g

ワイヤレスリモコン(RM-V760U)

項目	内容
電源	DC 3 V(ボタン電池 CR2025)
電池寿命	約 1 年(使用頻度により変わります)
動作距離	約 5 m(正面軸上)
許容動作温度	0°C ～ 40°C
外形寸法(mm)	32.5 x 15.6 x 68 (幅×高さ×奥行き)
質量	約 16 g(電池を含む)

"別売アクセサリー" (☞ p. 22)

メモ :

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

用語から探す

JVC

C1KW 0711HOH-SW-VM